No.	図面名称	No.	図面名称	No.	図面名称	No.	図面名称
M-00	機械設備　図面リスト	MP-01	給排水衛生設備　機器表				
M-01	機械設備工事特記仕様書-1	MP-02	給排水衛生設備　器具表				
M-02	機械設備工事特記仕様書-2	MP-03	給排水衛生設備　系統図				
M-03	機械設備工事特記仕様書-3	MP-04	給排水衛生設備　外構図-1				
M-04	機械設備工事特記仕様書-4	MP-05	給排水衛生設備　外構図-2				
M-05	機械設備法適合確認共通図面	MP-06	給排水衛生設備　ピット平面図				
M-06	凡例表	MP-07	給排水衛生設備　1階平面図				
		MP-08	給排水衛生設備　2階平面図				
MA-01	空調設備　機器表-1	MP-09	給排水衛生設備　R階平面図				
MA-02	空調設備　機器表-2	MP-10	給排水衛生設備　詳細図-1				
MA-03	空調設備　機器表-3	MP-11	給排水衛生設備　詳細図-2				
MA-04	空調配管設備　系統図	MP-12	給排水衛生設備　詳細図-3				
MA-05	空調配管設備　ピット平面図						
MA-06	空調配管設備　1階平面図	MJ-01	浄化槽設備　平面図				
MA-07	空調配管設備　2階平面図	MJ-02	浄化槽設備　断面図				
MA-08	空調配管設備　R階平面図	MJ-03	浄化槽設備　機械室詳細図				
MA-09	空調配管設備　詳細図	MJ-04	浄化槽設備　電気動作図				
MA-10	空調ダクト設備　制気口リスト	MJ-05	浄化槽設備　制御盤図				
MA-11	空調ダクト設備　系統図	MJ-06	浄化槽設備　2次側動力配線図				
MA-12	空調ダクト設備　1階平面図	MJ-07	浄化槽設備　配筋図				
MA-13	空調ダクト設備　2階平面図						
MA-14	空調ダクト設備　2階見下げ平面図						
MA-15	空調ダクト設備　R階平面図						
MA-16	空調ダクト設備　詳細図						
MA-17	床放射設備　1階床下平面図						
MA-18	自動制御設備　中央監視システム図(1)						
MA-19	自動制御設備　中央監視システム図(2)						
MA-20	自動制御設備　中央監視システム図(3)						
MA-21	自動制御設備　中央管理点入出力一覧表(1)						
MA-22	自動制御設備　中央管理点入出力一覧表(2)						
MA-23	自動制御設備　計装図(1)						
MA-24	自動制御設備　計装図(2)						
MA-25	自動制御設備　計装図(3)						
MA-26	自動制御設備　計装図(4)						
MA-27	自動制御設備　機器表、盤表、バルブ表						
MA-28	自動制御設備　外構図						
MA-29	自動制御設備　1階平面図						
MA-30	自動制御設備　2階平面図						
MA-31	自動制御設備　2階+4800平面図						

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○　○○
担当者 ○○　○○

完成図承認
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○　○○
担当者 ○○　○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西　重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井 智樹
担当者 山邊　正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事
業務契約コード 108557-02
図面名称 機械設備　図面リスト
縮尺 A1: ー　A3: ー

図面番号 M-00

管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

機械設備工事特記仕様書

01.特記仕様書各章の取扱い及び適用項目の取り扱い

a. 本特記仕様書と共に「共通特記仕様書」を適用する。
b. 各章は章名の右側に「本章は本工事に適用せず」と明記されていない限り適用する。
c. 各節は節名の右側に「本節は本工事に適用せず」と明記されていない限り適用する。
d. 節中の番号「01.」は番号の左側に×印が明記されていない限り適用する。
e. 番号「01.」は番号の左側に×印が明記されていない限り適用する。
f. a. b. c. ／1)／: 印は事項を表わし、事項中の項目は全て適用し「×」印又は「・」は適用しない。
g. 各節及び番号に記載の（ ）内の表示番号は標準仕様書の項目、表、図を示す。
h. 品質性能上、製造所名を記入する場合は「株式会社」等の記載は省略する。（ ）内は製品名を示す。
i. 特記仕様書中に示す数字の単位は数字の後に特記がない限り「mm(ミリ)」とする。

0章：工事概要

01. 工事種目

a. 空調　※ 熱源機器設備　※ 床放射空調設備
※ 空気調和機設備　・
※ ダクト設備　・
※ 配管設備　・
※ 換気設備　・
・ 排煙設備　・
※ 自動制御設備　・

b. 衛生　※ 給水設備　・
※ 給湯設備　・
※ 排水設備　・
※ 衛生器具設備　・
※ 消火設備　・
※ ガス設備　・
※ 浄化槽設備　・

02. 設備方式

a. 空調換気設備
1)熱源方式　※ 空冷ヒートポンプモジュールチラー
2)空調方式　※（アリーナ）空気調和機、(他)空冷ヒートポンプパッケージ
3)換気方式　※ 全熱交換器、1～3種換気
× 4)排煙方式　・自然排煙　※ 機械排煙
5)自動制御方式　※ 電気式・電子式・DDC式

b. 給排水衛生設備
1)給水方式　・高架水槽方式　・加圧給水方式　※ 水道直結方式　・増圧給水方式
※ 計画給水量　60.0　m^3/日（　※ 上水　60.0　m^3/日　・中水　　m^3/日）
2)給湯方式　※ 局所給湯方式　※ 中央給湯方式
3)排水方式　・公共下水道
※ 建物内排水　（　※ 合流　・分流 ）
・雨水流出抑制　（　・有　※ 無　）
※ 浄化槽　495　人槽　80　m^3/日
4)消火方式　※ 屋内消火栓　・スプリンクラー　・水噴霧消火　・泡消火
・不燃性ガス消火　・粉末消火　・屋外消火栓　・連結散水
・連結送水管　・フード消火　※ 消火器　・
5)ガス方式　・都市ガス　※ プロパンガス

03. 設計条件

a. 温湿度条件

	外気条件 福岡		屋内条件							
			一般系統		体育館		エントランス・更衣室			
	温 度	湿 度	温 度	湿 度	温 度	湿 度	温 度	湿 度	温 度	湿 度
夏　期	35.1 ℃	57.3 %	26 ℃	50 %	25 ℃	55 %	26 ℃	50 %		
冬　期	1.6 ℃	58.4 %	22 ℃	40 %	18 ℃	50 %	22 ℃	成行		

※ 屋内条件の温度条件は、計算目標値とする。
・ 屋内条件の湿度条件は、成り行きとする。

b. 室内騒音基準

室　名	一般室	体育館				
基　準	NC40	－				

※ 露出型空調装置が設置されている場合は、空調装置による。

04. 耐震安全性の分類

a.「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説」令和3年版による分類。
1)建築設備　・甲　※ 乙

05. 耐震措置

a. 耐震措置の計算及び施工方法は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説」令和3年版、および、「建築設備耐震設計・施工指針（日本建築センター）」2014年度版による。
※ 設備機器の設計用標準水平震度は次表による。　・ 別表による。
※ 設備機器の設計用鉛直震度は、設計用標準水平震度の1/2とする。

設置場所	機器種別	耐震安全性の分類						時刻歴水平震度計算値	
		・耐震クラスS		※ 耐震クラスA		・耐震クラスB		・耐震クラスA	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋（床レベル）	機器	2.0	**2.0**	2.0	**1.5**	1.5	**1.0**	0.6	0.6
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	0.6	0.6
	水槽類(重要)	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0
中間階（床レベル）	機器	2.0	**1.5**	1.5	**1.0**	1.0	**0.6**	0.6	0.6
	防振設置機器	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	0.6	0.6
	水槽類(重要)	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6	0.6
地階・1階（床レベル）	機器	1.5	**1.0**	1.0	**0.6**	0.6	**0.4**	0.6	0.6
	防振設置機器	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6	0.6
	水槽類(重要)	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6	0.6

※上層階の定義　※中間階の定義
・ 2～ 6階建ての建築物では最上階を上層階とする。　・地階、1階を除く各階で、上層階に該当しない階。
・ 7～ 9階建ての建築物では上層の2層を上層階とする。
・10～12階建ての建築物では上層の3層を上層階とする。
・13階建て以上の建築物では上層の4層を上層階とする。

b. 重要機器は以下のものを示す。
※ 天吊10kgを超える機器、床固定で壁(乾式壁、ブロック壁は不可)支持が出来ない機器。
※ 防振架台のうち、吊についてはゴム防振は防振架台とみなさない。

※ 下記による。
※ 給水設備　・排水装置　※ 換気機器　※ 空調機器　※ 熱源機器
※ 防災設備　※ 監視制御装置　※ 危険物貯蔵装置　・
※ 火を使用する設備　※ 避難経路上に設置する機器　・

c. 配管等の耐震処置について(配管、ダクト、電気配線、ケーブルラック　指針表6.2-1)
※ 平均吊り長さが20cm以下の場合を除き、すべてを対象とする。
※ 横走り管及びダクトは、地震による軸直角方向の過大な変位を抑制するよう耐震支持を行う。
※ 配管・、ダクトの軸方向にも耐震支持を設ける。
※ 軸直角方向と、軸方向の支持は兼用しても可とする。

d. 天井吊りされる設備機器の耐震支持
※ 機器類は、吊り長さが500mm以上の場合、全て四方に X型に耐震振れ止め(斜材合計8本)を設置する。
※ 斜材の角度は、原則45度±15度とする。防振吊の場合、防振部分の上部に振れ止めを設置する。
※ 斜材の設置に用いる金具は、ボルト緊結型とする。
※ 2本の振れ止め斜材の中央にも緊結金具を用いること。

× 06. 免震建物のクリアランス

a. 免震建物の基準、クリアランス等は、免震工事特記仕様書の記載による。

b. クリアランスの基準値(躯体・仕上材と設備機器・配管・配線間、設備機器・配管・配線間)は以下とする。

	施工クリアランス	設計クリアランス	最小クリアランス
水平クリアランス	mm	mm	mm
鉛直クリアランス	mm	mm	mm

施工クリアランス：　施工計画時に用いる基準値。設計クリアランスに施工誤差を加えている。
設計クリアランス：　竣工検査時の計測基準値。竣工時に確保されるべき値。
最小クリアランス：　維持管理上の計測基準値。建物供用中に確保すべき値。

c. 竣工時検査前に設計クリアランスが確保されていることを確認し、検査記録を提出すること。

第1編　一般共通事項
第1章　一般事項

第1節　総則

00. 一般事項

a. 一般共通事項は本編記載以外は特記仕様書(共通編)による。

01. 仕様書の適用

※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)（令和4年版）
※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)（令和4年版）
・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(機械設備工事編)（令和4年版）
・
・
・

02. 機材の仕様

※ 公共建築工事標準仕様　・メーカー標準仕様

03. 機材の検査等

a. 工場立会検査　※ 不要　・ 要（対象機器：　　）

04. 機材の検査に伴う試験

a. 機材の検査に伴う試験(1.4.6)標準仕様書による。

05. 完成時の提出図等

a. 完成時の提出図書（竣工引渡し後、1ヶ月以内に提出すること）
※ 特記仕様書（共通編）によるもの。　※ 設計計算書（最終的な仕様により修正のうえ提出すること（データ共））。
※ 機器取扱い説明書、保守管理要領書　・ 長期修繕計画書

06. 案内板

a. 機器等の取扱方法及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の案内板を機械室に設置する。
1)サイズ　A3程度
2)箇所数　※ 機械×2　・ 特記（　　）

07. 仕様変更

a. 機器類の選定に伴う動力等の仕様変更は他の工事受注者との調整を、受注者の責任において行う。

08. 費用負担

a. 本仕様書及び図面に記載がなくても当然必要と思われるものは、受注者の負担で施工しなければならない。

× 09. 実験・シミュレーション

a. 下記の実験又はシミュレーションを行い、報告書を提出すること。
1)特記

10. 引渡後の運転調整・運転指導

a. 竣工引渡し後、夏、冬の各1回シーズンインの調整と運転の指導を行うこと。

× 11. エネルギー消費量調査

a. 竣工後のエネルギー消費量を調査し、報告書を1年検査及び2年検査時に提出すること。
調査期間　・ 1年間　・ 2年間
調査項目　・ 電気使用量　・ 水使用量　・ ガス使用量　・

12. 躯体等に係る設備工事について

a. スリーブ間隔等は構造規準によること。

13. 建築設備の耐震性等について（設計が該当する場合※、該当しない場合・）

建築基準法施行令第129条の2の4の事項について、建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。尚、支持構造部等の計算は「建築設備耐震設計・施工指針　2014年版」による。
※ 建築設備(昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
※ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
※ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は下記による。
※ 1.風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
※ 2.建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
※ 3.管の伸縮その他変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を設けること。
※ 4.管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
※ 建築基準法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。
※ 給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝突に対して安全上支障のない構造とすること。
満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、国土交通省告示第1447号第5に規定する構造方法によること。
(給湯設備：建築物に設ける電気温水器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの)

14.その他

※ はつり及び穿孔作業を行う場合、事前に走査式埋設部調査を行い報告すること。
※ 穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工すること。
・

第2編　共通工事
第1章　一般事項

第1節　規格等

01. 規格

a. 規格は(1.1.1)引用規格、(1.1.2)材料・機材等の呼称及び規格　による。
なお、これに拠る事が困難な場合、資料を監理者に提出し、承諾を得る。

第2節　電動機及び制御盤

01. 電動機(1.2.1)／誘導電動機の規格及び保護方式(1.2.1.1)　誘導電動機の指導方式(1.2.1.2)

a. 誘導電動機の規格　※ 公共建築工事標準仕様　・ 製造者標準仕様
b. 誘導電動機の保護方式　※ JIS C 4034-5
1)屋外は全閉防まつ形とする。(IP44)
2)多湿箇所(　※ 浴室　・ 厨房　・　　)は全閉防まつ形とする。(IP44)
3)その他（　※ 一般室　※ 機械室　・　　)は防滴保護形とする。(IP22)
c. 誘導電動機の始動方式
1)直入始動　（ ※ 11kW未満　・ 図示）
2)始動装置による始動（ ※ 11kW以上　・ 図示）

02. 制御及び操作盤(1.2.2)／制御及び操作盤(1.2.2.1)

a. 仕様　※ 公共建築工事標準仕様(表2.1.6～2.1.8を満たすものとする。但し表中注記は機器表による)
・ 製造者標準仕様

03. インバーター用制御及び操作盤(1.2.2.2)

a. 仕様　※ 公共建築工事標準仕様　・ 製造者標準仕様
b. 制御及び操作盤　※ 特記については機器表による

第3節　総合試運転調整等

01. 一般事項(1.3.1)

a. 総合試運転調整に先立ち、調整方法、調整時期、日程、人員及び安全対策を含む総合試運転調整計画書を提出し、承諾を受けること。

02. 各機器の個別運転調整(1.3.2)

a. 総合試運転調整に先立ち、各機器の個別運転調整を行う。

03. 総合試運転調整(1.3.3)

a. 各設備における装置全体が設計図書の意図した機能を満足させることを目的とし、次により総合試運転調整を行なう。
総合試運転調整完了後に系統ごとにまとめた測定表を提出すること。
測定表には測定器名、測定日時及び測定者名を記入し、測定点を示した図面を添付する。
(測定箇所等は監理者の指示による)
※ 風量調整　※ 水量調整　※ 室内外空気の温湿度の測定　・ 室内気流及びじんあいの測定
※ 騒音の測定　※ 飲料水の水質の測定　・ 雑用水の水質の測定

第2章　配管工事

第1節　配管材料

配管材料は下記とし、規格は表2.2.1～2.2.9による。

01. 冷温水管

a.屋内　※ 配管用炭素鋼管(白管)　・ 圧力配管用炭素鋼管(白管Sch40)
・ 水道用耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　・ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管(継手:　　)
・　・
b.屋外　※ 配管用炭素鋼管(白管)　・ 圧力配管用炭素鋼管(白管Sch40)
・ 水道用耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　・ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管(継手:　　)
・　・

× 02. 冷却水管

a.屋内　※ 配管用炭素鋼管(白管)　・ 圧力配管用炭素鋼管(白管Sch40)
・ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VA)　・ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管(継手:　　)
・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-PA)　・
・　・
b.屋外　※ 配管用炭素鋼管(白管)　・ 圧力配管用炭素鋼管(白管Sch40)
・ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VA)　・ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管(継手:　　)
・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-PA)　・
・　・

× 03. 蒸気管

a.蒸気給気管　※ 配管用炭素鋼管(黒管)　・ 圧力配管用炭素鋼管(黒管Sch40)
・　・
b.蒸気給気管　※ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管(継手:　　)　・ 圧力配管用炭素鋼管(黒管Sch40)
・　・

× 04. 高温水管

a.屋内　※ 圧力配管用炭素鋼管(黒管Sch40)　・ 圧力配管用炭素鋼管(黒管Sch80)
・　・

× 05. 油管

a.屋内　※ 配管用炭素鋼管(白管)　・
・　・
b.ﾋﾟｯﾄ内・多湿箇所　・　・
・　・

× 06. ブライン管

a.水蓄熱用　※ 配管用炭素鋼管(黒管)　・
・　・

07. 冷媒管

a.一般　※ 冷媒用断熱材被覆銅管(液管10mmｶﾞｽ管20mm)　・ 冷媒用断熱材被覆銅管(製造者標準品)
・ 銅及び銅合金継目無管　・

08. 給水管

a.上水(屋内)　※ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ※ VA　・ VB　・ VD ）
・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ PA　・ PB　・ PD ）
・ 水道用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管(継手:　　)　・ 水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
・ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(HIVP)　・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管
・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・
・　・
b.上水(屋外)　※ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ※ VA　・ VB　・ VD ）
・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ PA　・ PB　・ PD ）
・ 水道用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管(継手:　　)　・ 水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
・ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(HIVP)　・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管
・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・
・　・
c.上水(給水引込)　・ 水道用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管(継手:　　)　※ 水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管
・ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ VD ）
・
d.上水(ﾋﾟｯﾄ内)　※ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ VA　・ VB　※ VD ）
(多湿箇所)　・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ PA　・ PB　・ PD ）
・ 水道用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管(継手:　　)　・ 水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
・ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(HIVP)　・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管
・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・
・　・
e.上水(地中埋設)　・ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ※ VD ）
・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ PD ）
・ 水道用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管(継手:　　)　※ 水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
・ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(HIVP)　・
・　・

× f.雑用水(屋内)　・ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ VA　・ VB　・ VD ）
・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ PA　・ PB　・ PD ）
・ 水道用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管(継手:　　)　・ 水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
・ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(HIVP)　・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管
・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・
・　・
× g.雑用水(屋外)　※ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ VA　・ VB　・ VD ）
・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ PA　・ PB　・ PD ）
・ 水道用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管(継手:　　)　・ 水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
・ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(HIVP)　・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管
・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・
・　・
× h.雑用水(ﾋﾟｯﾄ内)　※ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ VA　・ VB　・ VD ）
(多湿箇所)　・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ PA　・ PB　・ PD ）
・ 水道用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管(継手:　　)　・ 水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
・ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(HIVP)　・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管
・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・
・　・
× i.雑用水(地中埋設)　・ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ VD ）
・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ PD ）
・ 水道用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管(継手:　　)　※ 水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
・ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(HIVP)　・
・　・

09. 給湯管

a.屋内　※ 水道用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管(継手:拡管式)　・ 水道用耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(HVA)
・ 耐熱性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(HTVP)　・ 保温付被覆銅管
・ 銅及び銅合金継目無管　・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管　・
・　・
b.屋外　※ 水道用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管(継手:拡管式)　・ 水道用耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(HVA)
・ 耐熱性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(HTVP)　・ 保温付被覆銅管
・ 銅及び銅合金継目無管　・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管　・
・　・
c.ﾋﾟｯﾄ内　※ 水道用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管(継手:拡管式)　・ 水道用耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(HVA)
多湿箇所　・ 耐熱性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(HTVP)　・ 保温付被覆銅管
・ 銅及び銅合金継目無管　・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管　・
・　・

10. 消火管

a.屋内　※ 配管用炭素鋼管(白管)　・ 圧力配管用炭素鋼管(白管Sch40)
・ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管(継手:　　)　・ 圧力配管用炭素鋼管(白管Sch80)
・　・
b.屋外　・ 消火用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ外面被覆鋼管　・ 消火用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ外面被覆鋼管
※ 配管用炭素鋼管(白管)　・

11. 排水管

a.汚水　・ 排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(DVLP)　・ 排水用ﾊﾝﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ塗装鋼管
(屋内立管)　・ 排水用鋳鉄管　・ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　※ 耐火二層管(VP)
・ 建物用耐火性硬質ﾎﾟﾘ塩化ビニル管　・
b.汚水　・ 排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(DVLP)　・ 排水用ﾊﾝﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ塗装鋼管
(屋内横管)　・ 排水用鋳鉄管　・ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　※ 耐火二層管(VP)
・ 建物用耐火性硬質ﾎﾟﾘ塩化ビニル管　・
c.汚水　・ 排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(DVLP)　・ 排水用ﾊﾝﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ塗装鋼管
(ﾋﾟｯﾄ内)　・ 排水用鋳鉄管　※ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
(多湿箇所)　・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　・ 耐火二層管(VP)
・ 建物用耐火性硬質ﾎﾟﾘ塩化ビニル管　・
d.汚水　※ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　・ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
(地中埋設)　・　・
e.雑排水　・ 排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(DVLP)　・ 排水用ﾊﾝﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ塗装鋼管
(屋内立管)　・ 排水用鋳鉄管　・ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　※ 耐火二層管(VP)
・ 建物用耐火性硬質ﾎﾟﾘ塩化ビニル管　・
f.雑排水　・ 排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(DVLP)　・ 排水用ﾊﾝﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ塗装鋼管
(屋内横管)　・ 排水用鋳鉄管　・ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　※ 耐火二層管(VP)
・ 建物用耐火性硬質ﾎﾟﾘ塩化ビニル管　・
g.雑排水　・ 排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(DVLP)　・ 排水用ﾊﾝﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ塗装鋼管
(ﾋﾟｯﾄ内)　・ 排水用鋳鉄管　※ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
(多湿箇所)　・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　・ 耐火二層管(VP)
・ 建物用耐火性硬質ﾎﾟﾘ塩化ビニル管　・
h.雑排水　※ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　・ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
(地中埋設)　・　・
i.通気配管　・ 配管用炭素鋼管(白管)　・ 排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(DVLP)
(屋内立管)　※ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　・ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
・ 耐火二層管(VP)　・
・ 建物用耐火性硬質ﾎﾟﾘ塩化ビニル管　・
j.通気配管　・ 配管用炭素鋼管(白管)　・ 排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(DVLP)
(屋内横管)　※ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　・ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
・ 耐火二層管(VP)　・
・ 建物用耐火性硬質ﾎﾟﾘ塩化ビニル管　・
k.通気配管　・ 配管用炭素鋼管(白管)　・ 排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(DVLP)
(ﾋﾟｯﾄ内)　※ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　・ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
(多湿箇所)　・ 耐火二層管(VP)　・
・ 建物用耐火性硬質ﾎﾟﾘ塩化ビニル管　・
l.ﾎﾟﾝﾌﾟｱｯﾌﾟ配管　・ 配管用炭素鋼管(白管)　※ 排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(DVLP)
・ 排水用ﾊﾝﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ塗装鋼管　・ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(HIVP):TS継手
・　・
× m.高温排水管　・ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管(継手:　　)　・ 配管用炭素鋼管(白管)
・ 配管用炭素鋼管(黒管)　・ 強化ポリプロピレン二層管(GRP)
・　・
n.空調ドレン管　・ 配管用炭素鋼管(白管)　・ 排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(DVLP)
(屋内立管)　・ 耐火二層管(VP)　・ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　※ 空調ドレン用結露防止層付き硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管
・　・
o.空調ドレン管　・ 配管用炭素鋼管(白管)　・ 排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(DVLP)
(屋内横管)　・ 耐火二層管(VP)　・ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　※ 空調ドレン用結露防止層付き硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管
・　・
p.空調ドレン管　・ 配管用炭素鋼管(白管)　・ 排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(DVLP)
(ﾋﾟｯﾄ内)　・ 耐火二層管(VP)　※ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管(RF-VP)
(多湿箇所)　・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　・ 空調ドレン用結露防止層付き硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管
・　・
× q.厨房用排水管　・ 配管用炭素鋼管(白管)　・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)
・ 強化ポリプロピレン二層管(GRP)　・

12. その他配管

a.加湿給水管　※ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（ ・ VA　※ VB　・ VD ）
b.　・　・
c.　・　・

第2節　配管付属品

01. 一般用弁及び栓(2.2.1)

a. 一般用弁及び栓の規格は表2.2.10によるものとし、用途による種別は下記とする。

1)冷温水管　※ 青銅弁(50A以下)　※ ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁(ｱﾙﾐ65A以上)　・ 鋳鉄弁(50A以下)

× 2)冷却水管　・ 青銅弁(50A以下)　・ ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁(ｱﾙﾐ65A以上)　・ 給水用管端防食弁

× 3)蒸気管(給気管)　・ 鋳鉄弁

× 4) 蒸気管(還管)　・ 鋳鉄弁　・ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼弁

× 5)高温水管　・ 鋳鉄弁

× 6)油管　・ 鋳鉄弁

7)給水管　上水(屋内)　※ 給水用管端防食ﾗｲﾆﾝｸﾞ弁　・ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼弁

8)給水管　上水(屋外)　※ 給水用管端防食ﾗｲﾆﾝｸﾞ弁　・ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼弁

9)給水管　上水(ﾋﾟｯﾄ)　※ 給水用管端防食ﾗｲﾆﾝｸﾞ弁　・ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼弁

× 10)給水管　雑用水(屋内)　・ 給水用管端防食ﾗｲﾆﾝｸﾞ弁　・ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼弁

× 11)給水管　雑用水(屋外)　・ 給水用管端防食ﾗｲﾆﾝｸﾞ弁　・ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼弁

× 12)給水管　雑用水(ﾋﾟｯﾄ)　・ 給水用管端防食ﾗｲﾆﾝｸﾞ弁　・ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼弁

13)給湯管　・ 給湯用管端防食弁(50A以下)　・ 鋳鉄弁(65A以上)

※ 一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼弁

14)消火管(屋内)　※ 青銅弁(50A以下)　※ 鋳鉄弁(65A以上)

15)消火管(屋外)　※ 青銅弁(50A以下)　※ 鋳鉄弁(65A以上)

16)排水管(ﾎﾟﾝﾌﾟｱｯﾌﾟ)　※ 青銅弁(50A以下)　・ 鋳鉄弁(65A以上)

× 17)その他(　　)　・

× 18)その他(　　)　・

※ 65A以上はフランジタイプとする

※ 給水管は接水部が鋳鉄の場合、ライニング弁とする

※ 塩ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管及びﾎﾟﾘ粉体鋼管に取り付けるねじ込み式の弁は、JV5の給水用とする。

※ 耐熱性ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管の配管に取り付けるねじ込み式の弁は、JV5の給湯用、フランジ形の弁はJV8-1とする。

※ ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁は、蒸気給気管、蒸気還管、高温水管及び管端が解放された配管のバルブ止めに使用してはならない。

・蒸気用の場合、給気用及び還水用は玉形弁とする。ただし、ゲージ圧力0.1MPa未満は仕切弁としてもよい。

・高温水用は、　・ 仕切弁　又は、　・ 玉形弁　とする。

・油用は、　・ 仕切弁　又は、　・ コック　とする。

・ブライン用は、仕切弁とする。

b. 消火用の弁は消防法令に適合したものとする。

02. 伸縮管継手(2.2.7)

※ 鋼管用　※ ベローズ形(　※ SUS304L　・ SUS316L)　・ スリーブ形

・ 銅管用　・ ベローズ形(　・ SUS304L　・ SUS316L)

※ 種類は　・ 単式　※ 複式　または、　・ 機器表等による。

03. 絶縁継手(2.2.12)

a. 設置箇所及び仕様　2.5.16「異種間の接合」によるほか、下記特記による。

特記(　　)

04. 量水器(2.2.16)

a. 形式

給水装置　※ 計量法(H4.法律第51号)に定める検定合格品で、水道事業者の承認したもの

計量方式　・ 現地表示式(直読式)　(表示機構:　・ 乾式ﾃﾞｼﾞﾀﾙ式　・ 湿式ｱﾅﾛｸﾞ式　)

※ 遠隔表示式　(現地表示式に、　※ 電文式　・ ﾊﾟﾙｽ式　発信機を備えたものとする。)

05. ボールタップ(2.2.20)

a. 給水装置に使用する場合、水道事業者の承認したものとする。

06. 定水位調整弁(2.2.21)

a. 給水装置に使用する場合、水道事業者の承認したものとする。

× 07. 緊急遮断弁装置(2.2.22)

a. 駆動装置　・ 電気式　・ 機械式

b. 接液部は、「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」の承認したものとする。

08. スリーブ(2.2.27)

a. 外壁の地中部分で水密を要する部分　※ つば付鋼管　・ 特記(　　)

b. 外壁の地中部分で水密を要しない部分　※ ビニル管(VU)　・ 特記(　　)

c. 柱、梁　※ 亜鉛鉄板　※ 鋼管(白)　・ 特記(　　)

d. 柱、梁以外の箇所　・ 亜鉛鉄板

※ 紙製(開口補強不要かつ200mm以下)　・ 特記(　　)

e. 構造間連　※ 梁貫通スリーブについては、構造梁貫通要領図に準拠すること。

第3節　計器その他

× 01. 油面計(2.3.4)

a. 油面計　(　・ ゲージ式(側圧式)　・ ガラス管式(流出防止形)　・ 特記(　　))

× 02. 遠隔油量指示計(2.3.6)

a. 遠隔油量指示計　(　・ 抵抗変化式液面計　・ 磁歪式液面計　・ 特記(　　))

02. 瞬間流量計(2.3.8)

a. 取付箇所は図示による。(　※ 固定形　・ 着脱形　(計器は　・ 本工事　※ 含まない))

第4節　配管施工の一般事項

01. 一般事項(2.4.1)

a. 建物導入部の変位吸収配管(排水・通気を除く)は標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領(一))のフレキシブルジョイントを使用した方法で施工する。ただし、排水及び通気配管を除く。設置個所は図示による。

b. 機器接続部の金属材料と配管材料のイオン化傾向が大きく異なる場合(銅とステンレス、銅と鋼)は絶縁継手を使用し絶縁を行うものとし、設置箇所及び仕様は図示による。

02. 冷温水、ブライン及び冷却水管(2.4.2)

a. 空調機トラップの形式は図示による。

× b. ファンコイルユニットの流量調整弁又は定流量弁の設置は機器表による。

03. 排水及び通気配管(2.4.8)

a. 排水立て管の最下部は、支持台を設け固定する。

04. 給湯配管(2.4.9)

a. 湯沸器と給水管及び給湯管の接続は、　・ 銅製　又は、　※ ステンレス鋼製のフレキシブルチューブを使用する。((公社)日本水道協会認定品)

第5節　管の接合

01. 一般事項(2.5.1)

a. 管は直角に切断し、切り口は平滑に仕上げること。

b. ライニング鋼管はパイプカッターによる切断を禁ずる。

c. 配管施工の休止の際は管端部を適切に養生すること。

02. ビニル管(2.5.9)

a. 給水配管　※ 水道事業者の指定する接合方法　・ 接着接合　・ ゴム輪接合

b. 排水配管　※ 接着接合　・ ゴム輪接合

× 03. ポリエチレン管(2.5.10)

a. 接合方法　※ 電気融着接合　・ メカニカル接合

b. 建物導入部において、異種管と接合する場合は、接合部が用意に点検できるように点検用桝を設ける。

点検用桝を設ける場合は標準図(機材6　点検口、注油口樹及びフレキシブルジョイント樹及び点検ボックス)による。

× 04. 架橋ポリエチレン管(2.5.13)

a. 接合方法　※ 電気融着接合　・ メカニカル接合

× 05. ポリブデン管(2.5.12)

a. 接合方法　・ 熱融着接合　※ 電気融着接合　・ メカニカル接合

× 06. 溶接接合(2.5.15)

a. 溶接工(2.5.15.4)

1)自動溶接　・ 監督職員が認めた者　・ 特記(　　)

2)半自動溶接　・ JIS Z 3841「半自動溶接技術検定における試験方法及び判定基準」による資格者

3)手溶接　・ JIS Z 3801「溶接技術検定における試験方法及び判定基準」による資格者またはJIS Z 3821「ステンレス鋼溶接技術検定における試験方法及び判定基準」による資格者

b. 溶接部の検査(2.5.15.12)

1)非破壊検査　・ 適用　・ 不要

2)検査の種類

ｱ)突合せ溶接　・ 放射線透過検査(RT)　・ 浸透探傷検査　・ 磁粉探傷検査(PT又はMT)

ｲ)すみ肉溶接　・ 浸透探傷検査　・ 磁粉探傷検査(PT又はMT)

3)抜取率　・ 5%(一般配管及び蒸気1.0MPa未満)　・ 10%(蒸気1.0Mpa以上)

07. 異種管の接合(2.5.16)

a. 鋼管とステンレス鋼管　※ 接続要領は標準図(異種管の接合要領)による　・ 特記(図示)

b. 鋼管と銅管　※ 接続要領は標準図(異種管の接合要領)による　・ 特記(図示)

第6節　勾配、吊り及び支持

01. 一般事項(2.6.1)

a.　※ 配管支持要領は標準図による。

02. 勾配(2.6.2)

a. 屋内横走り排水管

1)65A以下　※ 最小1/50　2)75A,100A　※ 最小1/100

3)125A　※ 最小1/150　4)150A以上　※ 最小1/200

b. 蒸気給気管

1)先下り　※ 1/250　2)先上り　※ 1/80

c. 蒸気還管

1)先下り　※ 1/200～1/300

d. ドレン管　※ 1/100以上

03. 吊り及び支持(2.6.3)

a. 横走管の吊り及び振れ止め支持間隔は表2.2.20、立て管の固定及び振れ止め箇所は表2.2.21による。

b. 多湿個所の支持金物及び支持鋼材はSUS製とする。

(範囲:　※ 浴室　・ 厨房内　・ プール　※ ピット内　・　　)

第7節　地中配管

01. 一般事項(2.7.1)

a. 埋設給水本管　分岐・曲り部等の衝撃防護装置　※ 図示による　・

b. 地中埋設標　・ 図示による　※ 設置する(分岐部及び曲がり部)

02. 埋設深さ(2.7.2)

a. 管の地中埋設深さ

1)一般部　※ 管上端から300mm以上　・ 図示による

2)車道　※ 管上端から600mm以上　・ 図示による

×　3)凍結深度　・ 凍結深度以下への埋設　(道路内:GL-　1.20　m 、 宅地内:GL-　1.00　m)

03. 防食処置(2.7.3)

a. 腐食する恐れのある部分及び当該部分の材料に応じ腐食防止のために講じた措置

1)地中埋設　外面被覆のない鋼管(排水配管の鋼管類、ステンレス鋼管SUS316を除く。)

※ 防食テープ(　※ ペトロタタム系　・ プチルゴム系　)

・ 熱収縮シート又はチューブ　・ その他(　　)

2)コンクリート埋設　外面被覆のない鋼管

※ 防食テープ(　※ ペトロタタム系　・ プチルゴム系　)

・ その他(　　)

× 3)多湿箇所　外面被覆のない鋼管

・ アスファルトプライマー　・ 金属外装

・ 合成樹脂外装　・ その他(　　)

保温のある配管

・ 合成樹脂外装　・ 金属外装

・ その他(　　)

第8節　貫通部の処理

01. 一般事項(2.8.1)

a.　防火区画等を配管が貫通する場合は、国土交通省が定める工法又は国土交通大臣が認定した工法とし認定証の写しを監理者に提出する。

b.　配管、ダクト等が防火区画等を貫通する場合は、それらと防火区画等のすき間をモルタルその他の不燃材料で埋めること。

c.　給水管、配電管その他の管が、防火区画等を貫通する場合においてはこれらの管の構造は次のイからハまでの何れかに適合するものとすること。

イ)貫通部の両側の1mの部分を不燃材料で造ること。

ロ)当該管の外径が、当該管の用途、材質その他の事項に応じて国土交通大臣が定める数値未満であること。

(H12年建告1422)

ハ)国土交通大臣の認定を受けたもの。(大臣認定番号は別添リスト参照又は記載図面参照)

第9節　試験

01. 一般事項(2.9.1)

試験は、以下のいずれかの施工前におこなう。

a.　隠ぺい又は埋戻し

b.　配管完了後の塗装(ねじ部の錆止めペイントは除く)

c.　保温施工

02. 冷温水、冷却水、蒸気、油、ブライン、高温水及び冷媒配管(2.9.2)

a. 次の圧力値による耐圧試験を行う。保持時間は、冷媒管を除き、最小30分とする。

×　(ｱ) 蒸気管及び高温水管は水圧試験とし、最高使用圧力の2倍の圧力とする。

(値が0.2MPa未満の場合は、0.2MPaとする。)

×　(ｲ) 油管は空気圧試験とし、最大常用圧力の1.5倍の圧力とする。

(ｳ) 水配管は水圧試験とし、最高使用圧力の1.5倍の圧力とする。

(値が0.75MPa未満の場合は、0.75MPaとする。)

×　(ｴ) ブライン管は水圧試験とし、最高使用圧力の1.5倍の圧力とする。

(値が0.75MPa未満の場合は、0.75MPaとする。)

(ｵ) 冷媒管は配管接続終了後、気密試験を行う。気密試験後は、全系統の高真空蒸発脱水処理を行う。

また、電気配線が機器付属の場合は、配線終了後に動作試験を行う。

03. 給水及び給湯配管(2.9.3)

a. 給水管、給湯管は、次の圧力値による水圧試験を行う。保持時間は、最小60分とする。

(ｱ) 給水装置に該当する管は、1.75MPa以上(ポリエチレン管は製造者の規定による)とする。

水道事業者の試験圧力の規定がある場合は、それによる。

・ 水道事業者の規定(　　)MPa

×　(ｲ) 揚水管は、当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍の圧力とする。

(値が0.75MPa未満の場合は、0.75MPaとする。)

×　(ｳ) 高置タンク以下の配管は、静水頭に相当する圧力の2倍の圧力とする。

(値が0.75MPa未満の場合は、0.75MPaとする。)

×　(ｴ) 水道直結埋圧方式の配管は、水道事業者の規定による。

・ 水道事業者の規定(　　)MPa

04. 排水及び通気配管(2.9.4)

a. 排水管は、満水試験を行い、衛生器具等の取付け完了後、通水試験を行う。ドレン管は、通水試験を行う。

保持時間は、満水試験にあっては最小30分とする。

b. 排水ポンプ吐出し管は、2.9.3「給水及び給湯配管」による。

第3章　保温・塗装及び防錆工事

第1節　保温工事

01. 一般事項(3.1.1)

a. 適用する仕様　※ 公共建築工事標準仕様　・ 空気調和衛生工学会仕様

・ 保温保冷協会　・ 図示による

・　・

02. 材料(3.1.2)

a. 合成樹脂製支持受　下記の配管の支持部には表2.3.1に示す合成樹脂製支持受を使用する。

※ 冷水(冷温水)　・ 温水

03. 施工

a. 見本　・ 施工着手前にサンプルを作成する　※ 不要

04. 空気調和設備工事の保温(3.1.4)

× a. 共同溝の保温種別　・ 図示による

b. 冷媒管の保温外装　・ 保温化粧ケース　・ SUSﾗｯｷﾝｸﾞ　※ ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑﾗｯｷﾝｸﾞ　・ 図示による

× c. 水蓄熱等の冷水管の保温　・ 図示による

d. 表2.3.2の注記9～11に示すダクト、機器及び管等　※ 保温なし　・ 保温を行なう　(図示による)

e. ダクトの保温範囲

1)給気ダクト　※ 要(範囲: 全て　)　・ 不要

2)還気ダクト　※ 要(範囲: 非空調室及び非空調室天井内　)　・ 不要

3)外気ダクト　※ 要(範囲:　※ 全て　・ 外壁貫通部より屋内側2mまで)　・ 不要

4)排気ダクト　※ 要(範囲: 外壁貫通部より屋内側2mまで　)　・ 不要

f. 全熱交換ユニットのダクト保温範囲

1)給気ダクト　※ 要(範囲: 全て　)　・ 不要

2)還気ダクト　※ 要(範囲: 非空調室の天井内及び屋外　)　・ 不要

3)外気ダクト　※ 要(範囲: 全て　)　・ 不要

4)排気ダクト　※ 要(範囲: 外壁貫通部より屋内側2mまで　)　・ 不要

g. その他

※ SUSラッキングは、ヘアライン仕上げとする。

※ 屋内の断熱材被覆鋼管で結露のおそれがある箇所については、断熱材(GW25mm)を上巻きし、結露防止を図る。

05. 給排水衛生設備工事の保温(3.1.5)

× a. 共同溝の保温種別　・ 図示による

b. 消火配管　・ 保温なし　※ 保温を行なう　(範囲:　屋外　)

c. 鋼板製タンク　※ 保温なし　・ 保温を行なう　(図示による)

d. 表2.3.5の注記5及び6に示す管等及び機器　※ 保温なし　・ 保温を行なう　(図示による)

e. その他

・(　　)

・(　　)

06. 保温材の厚さ(3.1.6)

a. 保温材の厚さは表2.3.7による。

× b. 寒冷地の保温厚さ　・ 保温厚さ(　　mm)　・ 図示による

× c. その他

・(　　)

・(　　)

第2節　塗装及び防錆工事

01. 塗装(3.2.1)

a. 塗装は塗装(3.2.1)によるほか、標準仕様書(建築工事編)18章「塗装工事」による。

b. 屋内に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量は☆☆☆☆とする。

c. 下記の保温を施さない亜鉛めっきを施した露出ダクト及び露出配管は塗装を行わない。

※ 機械室　※ 倉庫　・ 電気室　・ 自家発電機室　・ ELV機械室　・ 屋内駐車場

d. その他

・

・

第4章　関連工事

第1節　仮設工事

01. 一般事項(4.1.1)

a. 標準仕様書(建築工事編)2章「仮設工事」による。

第2節　土工事

01. 一般事項(4.2.1)

a. 下記以外は標準仕様書(建築工事編)3章「土工事」による。

b. 地中埋設物は事前に調査する。

c. 地中埋設管を除く埋戻し・盛土　※ 根切り土の中の良質土　・ 山砂の類　・

d. 建設発生土の処理　※ 構内敷きならし　・ 構内指定場所へ堆積　・ 場外搬出

第3節　地業工事

01. 一般事項(4.3.1)

a. 標準仕様書(建築工事編)4章「地業工事」による。

第4節　コンクリート工事

01. 一般事項(4.4.1)

a. 標準仕様書(建築工事編)5章「鉄筋工事」及び6章「コンクリート工事」による。

第5節　左官工事

01. 一般事項(4.5.1)

a. 標準仕様書(建築工事編)15章「左官工事」による。

第6節　鋼材工事

01. 一般事項(4.6.1)

a. 各編の鋼製架台、はしご等の機器付属金物並びに配管及びダクトの支持金物に適用する。

02. 材料(4.6.2)

a. 鋼板、形鋼、棒鋼、平鋼又は軽量形鋼によるものとし、3.2.1.4「塗装」を施したものとする。

b. 屋外露出部分は、　※ 3.2.2.4「溶融亜鉛めっき」による2種35　・ ステンレス鋼製(SUS304)　とする。

03. 溶接(4.6.3)

a. 溶接工の技量

※ 溶接技術検定における試験方法及び判定基準(JIS Z 3801)による資格者。

※ 監理者が同等以上の技量を有すると認めた者。

※ その他、監理者が認めた者

第7節　電気設備工事

01. 一般事項(4.7.1)

a. 標準仕様書(電気設備工事編)の当該事項による。

第3編　空気調和設備工事

第1章　機材

× **第1節　ボイラー(1.1.1～1.1.7)**

a. 燃料装置の燃料制御方式　・ 図示による

b. 保温は、製造者の標準仕様とする。

c. 制御盤は、第2編1.2.2「制御及び操作盤」による。

d. ばい煙濃度計取付座、ばいじん測定口、伸縮継手、掃除口(1.1.3)　・ 図示による

e. 鋼板製煙道の厚さ(1.1.3)　※ 3.2mm以上　・ 図示による

f. ばい煙濃度計の投光器及び受光器(1.1.4)　※ 送風機付き　・ 図示による

g. 給水軟化装置イオン交換樹脂塔(1.1.6)　※ 1筒式　・ 図示による

× **第2節　温水発生機(1.2.1～1.2.5)**

a. 燃料装置.容量調整装置の燃料制御方式　・ 図示による

b. 保温は、製造者の標準仕様とする。

c. 制御盤は、第2編1.2.2「制御及び操作盤」による。

第3節　冷凍機(1.3.1～1.3.8)

× a. 氷蓄熱用冷凍機の仕様　・ 機器表による

b. チリングユニット、空気熱源ヒートポンプユニット、遠心冷凍機、　※ 機器表による

スクリュー冷凍機の冷媒の種別

c. チリングユニット、空気熱源ヒートポンプユニット、遠心冷凍機、　※ 機器表による

スクリュー冷凍機、直だき吸収冷温水機、小型吸収冷温水機ユニットの成績係数

d. チリングユニット、空気熱源ヒートポンプユニット、遠心冷凍機、　※ 機器表による

スクリュー冷凍機の電動機の始動方式

e. チリングユニット、空気熱源ヒートポンプユニット、遠心冷凍機、　※ 機器表による

スクリュー冷凍機(圧縮機等)のインバーター制御

f. チリングユニット、空気熱源ヒートポンプユニットの　※ 機器表による

モジュール形の適用

× g. スクリュー冷凍機の熱回収型の適用(1.3.4.1)　・ 機器表による

× h. 吸収冷凍機の成績係数　・ 機器表による

× i. 吸収冷温水機の排熱熱交換器、排熱投入型再生器 (1.3.6.1)　・ 機器表による

× j. 吸収冷温水機、吸収冷温水機ユニットの成績係数、燃料削減率　・ 機器表による

k. 保温は、製造者の標準仕様とする。

l. 制御盤は、第2編1.2.2「制御及び操作盤」による。

× **第4節　コージェネレーション装置(1.4.1～1.4.16)**

a. 放熱用の冷却塔(1.4.2)　・ 機器表による

b. 補機附属装置の適用(1.4.6)　・ 機器表による

c. 冷却塔及び冷却水ポンプの制御(1.4.7.5)　・ 機器表による

d. コージェネレーション装置の総合効率(1.4.14)　・ 機器表による

e. 保温は、製造者の標準仕様とする。

f. 負荷運転試験(1.4.16)　・ 気密試験　・ 水圧試験　・ 機器表による

f. 排ガス排出特性試験(燃料電池の場合は除く)(1.4.16)　・ 安全弁試験　・ 機器表による

× **第5節　水蓄熱ユニット(1.5.1～1.5.11)**

a. 冷媒の種別(1.5.5)　・ 機器表による

b. 氷生成装置の方式(1.5.6)　・ 機器表による

c. タンクの材質(1.5.7)　・ 機器表による

d. タンク設計用水平震度(1.5.7)　・ 機器表による

e. 氷蓄熱ユニットの成績係数(1.5.9)　・ 機器表による

f. 保温は、製造者の標準仕様とする。

× **第6節　冷却塔(1.6.1～1.6.8)**

a. 冷却塔用薬液注入装置(1.6.7)　・ 機器表による

第7節　空気調和機(1.7.1～1.7.8)

× a. 全静圧が1,000Paを越えるか風量が30,000㎥/hを越える場合の　・ 機器表による

許容騒音(1.7.1.1)及び吐出風速(1.7.1.7)

× b. 大温度差送風方式(冷房時14℃)のケーシング表面結露対策　・ 機器表による

保温厚さ等は、標準仕様とする。

c. ユニット形空調機　潜熱・顕熱分離形の適用　※ 機器表による

d. ユニット形空気調和機・加湿方式(1.7.1.4)　※ 機器表による

e. コンパクト形空調機　床吹出形の適用　・ 機器表による　※ 図示による

f. コンパクト形空気調和機・加湿方式(1.7.2.4)　※ 機器表による

g. コンパクト形空気調和機・エアフィルター種類(1.7.2.9)　※ 機器表による

h. コンパクト形空気調和機・制御盤(1.7.2.11)　・ 機器表による

× i. ファンコイルユニット・吹出口・吸込口・エアフィルターの有無(1.7.3.1)　・ 機器表による

× j. ファンコイルユニット(床置形及びローボーイ形)の流量調整弁　・ 機器表による

及び定流量弁の適用(1.7.3.1)

× k. ファンコイルユニットのサブドレンパン(1.7.3.6)　・ 機器表による

l. ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形,ﾏﾙﾁﾊﾟｯｹｰｼﾞ形,ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式空気調和機の　※ 機器表による

加熱器・加湿器(1.7.5.2) (1.7.6.8) (1.7.7.9)

m. ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形,ﾏﾙﾁﾊﾟｯｹｰｼﾞ形,ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式空気調和機の　※ 機器表による

冷媒種別(1.7.5.15)(1.7.6.17)(1.7.7.21)

n. ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形,ﾏﾙﾁﾊﾟｯｹｰｼﾞ形,ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式空気調和機の　※ 機器表による

高調波対策(1.7.5.17)(1.7.6.19)(1.7.7.24)

× o. ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式空気調和機の成績係数(1.7.7.23)　・ 機器表による

× p. ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式空気調和機の排熱温水取出機能及び　・ 機器表による

電源自立型の適用(1.7.7.1)

q. パッケージ型空気調和機及び屋外機と屋内機及びｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式

空気調和機の屋内機とリモコンの渡り配管と配線は本工事とする。

第8節　空気清浄装置(1.8.1～1.8.5)

a. パネル型フィルターのろ材ユニットの再生・非再生式及び　※ 機器表による

ろ材交換形の適用(1.8.1.2)

× b. 折込み形エアフィルターの形式(1.8.2.1) 及び性能(1.8.2.2)　・ 機器表による

× c. 折込み形エアフィルターのろ材ユニットのろ材交換形の適用(1.8.2.2)　・ 機器表による

第9節　全熱交換器(1.9.1～1.9.4)

a. 回転形全熱交換器回転数制御装置(1.9.2.3)　※ 機器表による

b. 全熱交換ユニット付属品(運転表示灯・操作スイッチ)(1.9.4.4)　※ 機器表による

× **第10節　放熱器及び放熱器付属品(1.10.1～1.10.11)**

a. ファンコンベクターの吹出口・吸込口・フィルター(1.10.1.1)　・ 機器表による

b. 床暖房の方式(電気式・温水式)(1.10.5.1)　・ 機器表による

c. 温水式床暖房の温熱源(1.10.5.2)　・ 機器表による

d. 電気式床暖房の発熱ユニット(1.10.5.3)　・ 機器表による

e. ガス温水熱源機の方式(単機能温水熱源機・給湯温水熱源機)(1.10.6)　・ 機器表による

f. ガス温水熱源機の形式(据置形・壁掛形)(1.10.6)　・ 機器表による

g. ガス温水熱源機の給水方式(自動・手動)(1.10.6)　・ 機器表による

第11節　送風機(1.11.1～1.11.4)

a. 耐湿形送風機のドレン(塩化ビニル管20A)は空調ドレンに接続すること。

第12節　ポンプ(1.12.1～1.12.6)
a. 電動機及び始動方式(1.12.1)　※ 機器表による
b. 空調用ポンプのケーシングの材質(1.12.1)　※ 機器表による
× c. ボイラー給水ポンプの形式(1.12.2)　・機器表による
× d. 真空給水ポンプユニット(真空ポンプ方式)の構成(1.12.4)　・機器表による
× e. 真空給水ポンプユニット(エゼクター方式)の構成(1.12.4)　・機器表による
× f. オイルポンプの形式(1.12.5)　・機器表による

第13節　タンク及びヘッダー(1.13.1～1.13.10)
× a. 還水タンクの蒸気管の接続口及び温度調節装置の取付座(1.13.2)　・機器表による
× b. ステンレス製還水タンクの材質(1.13.2)　・機器表による
× c.　開放形膨張タンクの材質(1.13.5)　・機器表による
d. 空調用密閉型隔膜式膨張タンクの溶解栓(1.13.6)　※ 機器表による
× e. オイルタンクの形式(1.13.7)　・機器表による
f. ヘッダーの還水管及び排水口の接続口(1.13.9)　※ 機器表による

第14節　ダクト及びダクト付属品(1.14.1～1.14.14)
a. ダクト用使用材料(1.14.2～1.14.9)
※ 亜鉛鉄板　(使用区分:　空調、換気　)
※ 鋼板製(1.5mm以上)　(使用区分:　区画貫通部　)
※ スパイラルダクト　(使用区分:　空調、換気　)
・グラスウール製ダクト　(使用区分:　)
・塩化ビニルダクト　(使用区分:　)
・塩化ビニル被覆ダクト　(使用区分:　)
・内外塩化ビニル被覆ダクト　(使用区分:　)
・ステンレスダクト　(使用区分:　)
・スチールフレキシブルダクト　(使用区分:　)
※ 断熱材付フレキシブルダクト　(使用区分:　器具接続部　)
・ステンレスフレキシブルダクト　(使用区分:　)
・アルミフレキシブルダクト　(使用区分:　)
・　(使用区分:　)
・　(使用区分:　)
・　(使用区分:　)
・　(使用区分:　)
b. 吹出口・吸込口ボックスの材質(1.14.7)　※ 亜鉛鉄板製　・グラスウール製　・図示
× c. 排気フード(1.14.8)　・ステンレス鋼板製(　・SUS430　・SUS304)ヘアライン仕上げ
× d. 排気フード(1.14.8)　・ダンパー類の点検口を設ける
× e. 排気フード(1.14.8)　・といに径10～20mmの黄銅製コック若しくはプラグ又はSUS製コック取付
× f. グリス除去装置の形式(1.14.11)　・図示による

第15節　制気口・ダンパー(1.15.1～1.15.14)
a. 外気取入れガラリ及び排気ガラリ　※ 建築工事　※ 本工事範囲(　ウェザーカバー　)
b. 吹出口　※ 結露防止対策品適用範囲　(　全て　)
(　　)
(　　)
c. ベンドキャップの仕様　(　※ SUS製　・アルミ製　・塩化ビニル製　・鋳鉄製　)
(　着色の有無　・無　※ 有　)

第2章　施工

第1節　機器の据付け及び取付け(2.1.1～2.1.20)
a. 設計用震度　※ 0章:工事概要　05. 耐震措置による
b. 冷凍機の基礎(2.1.8)　・標準基礎　・機器表による
× c. コージェネレーション装置排ガス管・ダクトの断熱厚さ(2.1.9)　・図示による
× d. 遠心送風機の基礎(2.1.19)　・標準基礎　・機器表による
e. 遠心送風機の防振材及び振動絶縁効率(2.1.19)　※ 機器表による
f. 天井吊り機器の防振
1)送風機(呼び番号2未満)　・防振ハンガ　・ゴム防振材　※ 機器表による
2)換気扇　・防振ハンガ　・ゴム防振材　※ 機器表による
3)全熱交換ユニット　・防振ハンガ　・ゴム防振材　※ 機器表による
4)パッケージ形空調機(電気又はガス)　・防振ハンガ　・ゴム防振材　※ 機器表による
g. ポンプの防振材及び振動絶縁効率(2.1.20)　・機器表による

第2節　ダクトの製作及び取付け(2.2.1～2.2.5.5)
a. 空調及び換気ダクト　※ 低圧ダクト　・図示による
・高圧ダクト
b. 長方形ダクト法(2.2.1)　※ コーナーボルト工法　・アングルフランジ工法
× c. アングルフランジ工法(2.2.2.2)　・厨房用排気ダクト板圧は仕様書より一番手厚いものとする
d. コーナーボルト工法(2.2.2.3)　※ 共板フランジ工法　・スライドオンフランジ工法
f. ダクトの吊り金具及び支持材には防振ゴムを取付ける。　※ 範囲　(　屋内露出部　)
e. ダクトの吊り金具は全ネジの場合にはメッキ仕上げのこと。
f. ダクトの吊り金具及び支持材、多湿箇所はSUS製とする。
(　範囲　:　※ 浴室　・厨房内　・プール　・湯沸室　・　)
g. サプライチャンバー、レタンチャンバー、外壁に面するチャンバー等、及び図示したチャンバーについては点検口(450W×600H程度)を設けること。
h. 外壁に面するチャンバーは外壁に向かって底面に水勾配を取り、底部は防錆塗料を塗ること。
i. ボックス類は内貼を行わない場合、内面に黒のつや消し塗装を施すこと。
j. 空気調和機及びこれに類する機器の出入口のダクトには、温度計・風量測定口を設けること。
k. 風量測定口を送風機に近接した部分、外気取入ダクト及び図示したダンパーの部分(前又は後)の位置に設ける。
(取付個数は共通仕様書(2.2.6.5)による)
l. 多湿箇所(厨房、湯沸室等)の排気ダクトに亜鉛鉄板を使用する場合は、内面は全面、外面はその室の天井内のみ防錆塗装を行うこと。
m. 多湿箇所(厨房、湯沸室等)の排気ダクト　※ 水抜管を設ける
× n. 火気使用室排気ダクトには、耐火被覆(RW50mm)を施すこと。
(　範囲　:　・厨房排気　・陶芸炉排気　・IHコンロ排気　・　)
× o. 厨房の排気ダクトは、ダクト内の点検が可能な処置を施すこと。
× p. 排煙ダクト　・アングルフランジ工法ダクトとし、ダクトのかどの継目はピッツバーグはぜとする。
・亜鉛鉄板製　(　・高圧1ダクト　・高圧2ダクト)
・鋼板製ダクト
・図示による
q. チャンバー消音内貼の有無　※ 図示による
r. フレキシブルダクトは、吹出口及び吸込口ボックスの接続用とし、1.5m以下で使用する。
上記にならない場合は、　・図示による　・使用範囲(　　)による。

第3節　制気口・ダンパー(2.3.1～2.3.4)
a. 防火ダンパー等の取付　※ 角型は4点吊、丸型は2点吊とする　・特記　(　　)

第4編　自動制御設備工事
第1章　機材

第1節　総則(1.1.1～1.1.2)
a. 自動制御設備のシステム構成、機能(1.1.1)　※ 図示による

第2節　自動制御機器(1.2.1～1.2.4)
a. 中央監視装置との通信機能(1.2.2)　※ 図示による
b. 電動弁の耐圧(1.2.3.1)　※ 図示による　・1.0MPa
c. 電動弁の開閉状態を遠方表示するための電気接点(1.2.3.1)　※ 図示による

第3節　自動制御盤(1.3.1～1.3.6)
a. 自動制御盤キャビネットの材質(1.3.3)　※ 図示による
第4節　中央監視制御装置(1.4.1～1.4.4)
a. 中央監視制御装置のシステム構成、機能(1.4.1)　※ 図示による
b. 中央監視盤のシステム構成、形式(1.4.2.1)　※ 図示による
c. 中央処理装置、監視制御装置の機能(1.4.2.2)　※ 図示による
d. 中央処理装置の補助記憶装置の容量(1.4.2.3)　※ 図示による
e. 表示装置の形式 (1.4.2.4)　※ 図示による
× f. グラフィックパネルの形式、表示項目及び点数(1.4.2.5)　・図示による
g. 中央処理装置の置台の寸法(1.4.2.7)　※ 図示による
h. 中央処理装置の電源装置の停電補償時間(1.4.2.9)　※ 図示による
i. 周辺装置の印字装置の方式(1.4.3.1)　※ 図示による
× j. アナンシエータの適用及び表示点数(1.4.3.2)　・図示による
× k. インターホンの通話方式及び設置場所(1.4.3.3)　・図示による
l. ダイレクトデジタルコントローラ(DDC)の制御機能(1.4.4)　※ 図示による

第5節　計装用機材(1.5.1)
a. 合成樹脂製可とう電線管(PF管)(1.5.1)　※ 単層管　・図示による

第6節　機材の試験(1.6.1)

第2章　施工

第1節　自動制御機器の取付け(2.1.1)
第2節　盤類の取付け(2.2.1)
第3節　配線(2.3.1)
第4節　試験調整等(2.4.1)

第5編　給排水衛生設備工事
第1章　機材

第1節　衛生器具
01. 一般事項(1.1.1)
衛生陶器の付属品及び水栓、洗浄弁、洗浄管の見え掛り部　※ ﾆｯｹﾙｸﾛｰﾑめっき2級以上　・ステンレス製
02. 衛生陶器及び付属品(1.1.2)
a. 小便器用節水装置　※ 図示による
× b. 便器の中水仕様　・図示による
c. 紙巻器のワンハンドカット機能　※ 図示による
× d. ステンレス製シートペーパーホルダーの設置　・図示による
e. 大便器の背もたれの設置　※ 図示による
03. 衛生器具ユニット(1.1.3)
a. 陶器の種類及び給水装置の組合せ(1.1.3.1～4)　※ 図示による
b. 配管材料(1.1.3.1～4)　※ 図示による
c. ケーシングの化粧前板、甲板の仕様(1.1.3.1～4)　※ 図示による
d. 洗面器ユニットの給湯(1.1.3.3)　※ 図示による
e. その他のユニットの種類及び組合せ等(1.1.3.5)　※ 図示による
× 04. 浴室ユニット及び複合浴室ユニット(1.1.4～5)
a. 壁・床・天井材の仕様　・図示による
b. 給水・給湯　・図示による
c. 浴槽の材質大きさ及び高断熱性能. 蓋の要否　・図示による
d. 照明の種類　・図示による
e. 付属品の仕様　・図示による
05. 自動水栓(1.1.7)
a. 電源供給方法及び手動スイッチの有無　※ 図示による
06. 大便器洗浄弁(1.1.8)
a. 操作方式の種別(手動又は電気開閉式)　※ 図示による
b. 洗浄機構の方式(センサー又はタッチ式)　※ 図示による
07. 鏡、化粧棚、水石鹸入れ(1.1.9～11)
a. 形状、型式　※ 図示による
08. 温水洗浄便座(1.1.13)
a. 温水洗浄機能、付加機能　※ 図示による

第2節　ポンプ
01. 小型給水ポンプユニット(1.2.3)
a. 制御方式、運転方式、ローテーション機能　※ 機器表による
b. フート弁(呼径)　※ 機器表による
× 02. 深井戸用水中モーターポンプ(1.2.5)
a. 低水位用電極及び制御ケーブル長さ　・機器表による
03. 汚水、雑排水、及び汚物用水中モーターポンプ(1.2.7)
a. ケーシング、羽根車の材質　※ 機器表による
b. 水中ケーブル長さ　※ 機器表による
c. 水中ポンプ着脱式のくさり、ガイドパイプはSUS製とする。
c. 立軸排水用ポンプは引抜きスペース及び吊上げフックを設けること。

第3節　温水発生機等
01. ガス湯沸器(1.3.6)
a. 給湯方式(瞬間式)　※ 機器表による
02. 潜熱回収型給湯器(1.3.7)
a. 給湯器の効率(基準総発熱量)　・機器表による　※ 90%以上
03. 貯湯式電気温水器(1.3.8)
a. 制御盤への節電機能の組込み　※ 機器表による
× 04.ヒートポンプ給湯機(1.3.9)
a. 貯湯タンクの容量　・機器表による
× 05. 排気筒(1.3.10)
a. 外気に開放する排気筒の形状　・機器表による
× 06. 太陽熱集熱器、太陽熱蓄熱槽(1.3.11～12)
a. 集熱器の形式、ｹｰｼﾝｸﾞの材質、補助熱源の有無　・機器表による

第4節　タンク
01. 一般事項(1.4.1)
a. 設計用水平震度　※ 0章:工事概要　07. 耐震措置による
× 02. タンク(1.4.2)
a. 給水栓用配管接続口　・機器表による
b. タンク外部の保温　・機器表による
× 03. 貯湯タンク(1.4.3)
a. 電気防食措置(本体SUS444製を除く)　・機器表による

第5節　消火機器
00. 消火器
a. 工事区分　※ 本工事　・別途工事
設置消火器　ABC　20型×6本　ABC　10型×30本
× 01. 連結送水管(1.5.3)
a. 送水口の型式　・図示による
b. 放水口の呼称及び材質　・図示による
× 02. 屋外消火栓(1.5.4)
a. 屋外消火栓開閉弁の材質　・図示による
b. 屋外消火栓ホース格納箱及び屋外消火栓箱の材質　・図示による　・鋼板製
× 03. スプリンクラー(1.5.5)
a. スプリンクラーヘッドの種別　・図示による
× 04. 泡消火(1.5.8)
a. 泡消火薬剤の種類　・図示による
b. 感知用ヘッドの種別　・図示による
× 05. 連結散水(1.5.10)
a. 散水ヘッドの種別　・図示による

× **第6節　厨房機器**
01. 一般事項(1.6.1)
a. 床壁固定を行う機器(補強及固定金具を設ける)　・燃焼機器、加熱調理機器、高さが1mを超える機器および機器表に記載のある機器
b. 安全装置の適用　立ち消え安全装置(ガス)　・図示による
自動消火装置(ガス)　・図示による
過熱防止装置　・図示による
過圧防止装置　・図示による
空焚き防止装置　・図示による
02. 器具の加熱方式
a. 加熱方式(ガス又は電気)　・図示による
× **第7節　排水金具**
01. グリース阻集器(1.7.8)
a. 材質　・器具表による

第8節　桝及びふた
01. 一般事項
a. 屋外会所マンホール蓋のくさりはSUS製とする。
× **第9節　雨水利用機器**
01. 雨水電動遮断弁(1.9.1)
a. 遮断弁の種類　・図示による
02. 薬液注入装置(1.9.4)
a. 仕様　・図示による

第2章　施工

第1節　衛生器具
01. 衛生器具(2.1.2)
a. 衛生器具ユニットの設計用震度　※ 0章:工事概要　05. 耐震措置による

第2節　給排水衛生機器
01. 一般事項(2.2.1)
a. 機器の設計用震度　※ 0章:工事概要　05. 耐震措置による
02. ポンプ(2.2.2)
a. ポンプ基礎　※ 防振架台を有するポンプは防振基礎とする。
b. 振動絶縁効率　・80%以上　※ 機器表による

特記事項
01. 設計及び構造
a. 給水装置　※ 水道法施行令5条及び、省令の基準に適合すること。
b. 排水設備　・下水道法施行令8条及び、条例の基準に適合すること。

第6編　ガス設備工事
第1章　一般事項

第1節　総則
01. 一般事項(1.1.1)
× a. 都市ガス設備　・ガス事業法、同施行令、同施行規則、「ガス工作物の技術上の基準を定める省令」(H12年通産省令第111号)、同告示及びガス事業者の規定する供給約款等に定めるところによる。
b. 液化石油ガス設備　※ 高圧ガス保安法、同施行令、同液化石油ガス保安規則及び同規則関係基準、同容器保安規則及び同規則関係基準並びに液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律、同施行令、同施行規則及び同規則の例示基準及びLPガス設備設置基準及び取扱容量に定めるところによる。

× **第2章　都市ガス設備**

第1節　機材
01. 管及び継手(2.1.1)
a. 材質　・ガス事業者の規定による
02. ガス漏れ警報機(2.1.3)
a. 警報機の外部出力端子　・図示による

第2節　施工
01. 配管(2.2.3)
a. 地中埋設標　・図示による　※ 設置する(分岐部及び曲がり部)

第3章　液化石油ガス設備

第1節　機材
01. 管及び継手(3.1.1)
a. 材質　※ 配管用炭素鋼鋼管(白):(一般　低圧)　・
※ ポリエチレン被覆鋼管(黒):(土中　低圧)　・

第2節　施工
01. 管の接合(3.2.2)
a. 溶接部の非破壊検査　・適用する　検査の種類　(　　)　抜取率(　　)
※ 適用しない

× **第7編　さく井設備工事**
第1章　一般事項

第1節　総則
第2節　事前調査
01. 特記事項
・　・

第2章　揚水井設備

第1節　機材及び施工
第2節　試験及び報告書
01. 特記事項
・　・

第3章　地中熱交換井設備

第1節　機材及び施工
第2節　試験及び報告書
01. 特記事項
・　・

第8編　浄化槽設備工事
第1章　総則

第1節　総則
01. 一般事項(1.1.1)
a. 型式　※ 図示による

× **第2章　現場施工形浄化槽**

第1節　機材
01. 消泡装置(2.1.11)
a. 消泡装置　・図示による
02. 消毒装置(2.1.14)
a. 消毒剤及び装置　・図示による

第2節　施工
01. 施工(2.2.1)
a. 土留等土工事　・図示による

第3章　ユニット形浄化槽

第1節　機材
01. 特記事項
※ 図示による

第2節　施工
01. 施工(3.2.1)
a. 基礎等の厚さ　※ 図示による

× **第9編　昇降機設備工事**
第1章　総則

第1節　総則
01. 一般事項(1.1.1)
a. 回生電力備蓄システム　・図示による

第2章　普及型エレベーター

第1節　総則
01. 一般事項(2.1.1)
a. ロープ式エレベーター構造(機械室の有無)　・図示による
第2節　機材及び施工
01. 電源盤及び制御盤(2.1.1.4)
a. 電源盤及び制御盤の位置、制御装置の機能　・図示による
02. かご(2.2.2)、乗場(2.2.3)
a. かご室の付加仕様、かご及び乗場の戸、三方枠の材質　・図示による
b.かご出入口の検出装置　・図示による
c.インジケーター　ホールランタンの材質　・図示による
d.到着するかごの昇降方向を知らせる音声装置　・図示による
e.非常着床用出入口の仕様　・図示による
03. 安全装置(2.2.5)
a. 釣合いおもり側に設置する非常止め装置　・図示による
04. 耐震措置(2.2.6)
a. 機器の設計用震度、耐震安全性の分類　・図示による
(「昇降機技術基準の解説」日本建築設備・昇降機センター)
05. 管制運転等(2.2.7)
a. 運転管制の適用　・図示による
06. エレベーター監視盤(2.2.8)
a. 監視盤の構成及び形式　・図示による
07. 塗装(2.2.10)
a.塗装の程度及び表面平面度の種別　・図示による
08. 電気配線(2.2.11)
a.保守遠隔監視用(電話回線)配管・配線　・図示による

第3章　一般エレベーター
第1節　総則
01. 一般事項
a. 仕様　・図示による

第4章　非常用エレベーター
第1節　総則
01. 一般事項
a. 仕様　・図示による

第5章　小荷物専用昇降機
第1節　総則
01. 一般事項
a. 仕様　・図示による

第6章　エスカレーター
第1節　総則
01. 一般事項
a. 仕様　・図示による

× 第10編　機械式駐車設備工事
第1章　総則
第1節　総則
01. 一般事項(1.1.1)
a. 仕様　・図示による

× 第11編　医療ガス設備工事
第1章　総則
第1節　総則
01. 一般事項(1.1.1)
a. 供給設備、ガス種別等　・図示による

その他特記事項

換気設備

※　外壁で延焼の恐れがある部分は、100cm^{2}以下の場合は防火覆いのある防火設備、又、100cm^{2}の場合はFD付とする。
※　防火区画貫通部分は、空調換気ダクト用FD(通常72℃、火気使用120℃)、排煙ダクト用HFD(280℃)を設置。FD、HFDについては日本防排煙工業会構造基準適合認定品等とすること。
・　排気フード材質は不燃材料とすること。
　　※　SUS(ヘアライン仕上げ)　・　鋼板　・　その他(　　　)
・　排気筒の頂部は防雨型とすること。
※　換気扇の給気口、排気口には、ウェザーカバー、ベントキャップ又はガラリとすること。
※　外気に面する給気口、排気口等の開口部には、防鳥網、防虫網などの措置を行うこと。
※　シックハウス対策として該当室の換気機器は24時間対応可能とすること。

排煙設備

・　排煙機は、建築基準法令適合品とし、旧BCJ防災性能評定品又は同等品とすること。
・　排煙ダクトは、可燃材料から15cm以上の隔離を確保又は断熱等の対策を講じること。
・　排煙設備の電気配線や予備電源に関する規定は、平成12年建設省告示第1382号を適合すること。
・　排煙口に設ける手動解放装置の位置は、床より0.8m以上1.5m以下とし見やすい方法で使用法を表示のこと。

衛生設備

・　受水槽は、6面点検(周囲及び下部600mm以上、上部1000mm以上)が行えること。
　又、点検用マンホールは600φとし、水平震度は1.0G以上とすること。
・　高架水槽は、6面点検(周囲及び下部600mm以上、上部1000mm以上)が行えること。
　又、点検用マンホールは600φとし、水平震度は1.5G以上とすること。
　高架水槽の下面までの高さが2mを超える場合は、点検用足場、手すり等を設けること。
・　排水ピット(汚水槽・雑排水槽)の底部は、1/10～1/15の勾配とし、防臭型マンホール600φを設けること。
　又、通気管は単独で適切な位置まで立ち上げること。(東京都の場合は「都ビルピット対策」に準拠すること)
※　腐食する恐れのある部分及び当該部分の材料に応じ腐食防止のために講じた措置
　土中埋設　外面被覆のない鋼管
　　※　防食テープ　・　熱収縮シート又はチューブ　・　その他(　　　)
　コンクリート埋設　外面被覆のない鋼管
　　※　防食テープ　・　その他(　　　)
　多湿箇所　外面被覆のない鋼管
　　※　アスファルトプライマー　※　金属外装
　　又は保温のある配管
　　※　合成樹脂外装　・　その他(　　　)
※　圧力タンク及び給湯設備の安全装置
　　※　逃がし弁(JIS B 8210)　・　膨張管(JIS B 8201)　・　その他(　　　)
※　水栓の開口部に講じた水の逆流防止装置
　　※　吐水口空間確保(SHASE-S206-2000)　※　バキュームブレーカー設置
　　・　逆止弁　・　その他(　　　)
・　給水管の凍結防止

　室内配管　・　テープヒータ　・　室内暖房　・　水抜き栓　・　その他(　　　)
　散水栓立上がり管　・　水抜き栓　・　不凍水栓柱　・　その他(　　　)
・　給水管に講じたウォーターハンマー防止のための措置
　　・　流速を小さくする　・　ウォーターハンマー防止器を設置する
　　・　揚水ポンプ出口に水撃防止型逆止弁を使用する　・　その他(　　　)
※　給水タンク等の通気管、オーバーフロー管等の開放部には、防虫網等を設置すること。
※　機器等の排水は、排水管に直接接続せず間接排水とし、排水口空間を確保のこと(SHASE-S206-2000)
※　排水トラップの深さ及び汚水に含まれる汚物等が付着又は沈殿しない措置
　衛生陶器　※　JIS S 5207による　・　その他(　　　)
　排水トラップ　※　JIS S 4002及び4421による　・　その他(　　　)
※　排水トラップは、掃除口を有するもの、又はその一部が容易に取り外せるもの等の容易に掃除ができる構造のものとすること。
・　阻集器の構造は、SHASE-S217に適合するもので日本阻集器工業会認定品等とすること。
・　屋内設置型通気弁は点検・保守・交換が可能で、空気の流入が容易に行われる場所に設けること。
　パイプシャフトや天井裏の隠蔽部に設置する場合は、点検口を設けること。
※　排水管径算定手法
　　※　排水負荷単位法　・　定常流量法(SHASE-S206-2000)　・　その他(　　　)
・　下水本管に接続する排水横主管の排水量
　　(　　　負荷)　又は(　　　L/s)
※　排水管の勾配は、排水管の容量(管径)に応じて、SHASE-S206-2000の排水管選定線図によるものとする。

メーカーリスト

・本工事に使用する設備機材等は、下記のメーカーリストの中から選定すること。
　下記のリストに記載のない機材のメーカーを選定する場合、及び下記リスト以外のメーカーの機材を使用する場合は、監理者の承諾を得ること。

機材名	製造者名			
ポンプ	荏原製作所	川本製作所	テラル	
製缶類	島倉鉄工所	ベルテクノ	森松工業	
空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾓｼﾞｭｰﾙﾁ	ダイキン工業	日本キャリア	日立グローバルライフソリューションズ	三菱電機住環境システムズ
空気調和機	木村工機	昭和鉄工	新晃工業	
空冷ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	ダイキン工業	パナソニック	日立グローバルライフソリューションズ	三菱電機住環境システムズ
全熱交換器	ダイキン工業	パナソニック株式会社エレクトリックワークス社	三菱電機住環境システムズ	
大型送風機	荏原製作所	テラル	ミツヤ送風機	
小型送風機	テラル	パナソニック株式会社エレクトリックワークス社	三菱電機住環境システムズ	
天井扇	日本キャリア	パナソニック株式会社エレクトリックワークス社	三菱電機住環境システムズ	
床放射空調設備工事	アルコ	インターセントラル	環境テクノ	
自動制御設備工事	アズビル	ジョンソンコントロールズ	パナソニックESエンジニアリング	
衛生器具類	TOTO	LIXIL		
水栓金物	TOTO	LIXIL		
コインシャワー	日本レオナード	ネポン		
ガス湯沸器	ノーリツ	パーパス	リンナイ	
電気温水器	TOTO	日本イトミック	LIXIL	
消火栓箱	立売堀製作所	初田製作所	ヤマトプロテック	
プロパンバルクタンク	矢崎総業			
浄化槽設備工事	アムズ	大栄産業	ダイキアクシス	
給水引込工事	指定工事店			

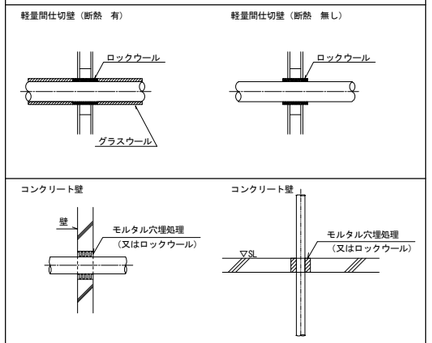
建築設備法適合確認共通事項

１．　建築設備の構造方法はH12告示1388号に適合するものとする。
２．　特記なきダクトは亜鉛鉄板製とする。
３．　ダクトの区画貫通部は1.6mm以上の鋼板製とする。
４．　火気使用の排気ダクトは全てRW50ｔ巻きとする。
５．　火気使用設備の位置及び構造は火災予防条例の規定によるものとする。
６．　給水装置の構造及び材質は水道法施行令第５条によるものとする。
７．　排水設備の構造及び設置は下水道法施行令第８条によるものとする。
８．　消火用補給水槽の構造方法はＨ12告示1389号に適合するものとする。
９．　各衛生器具はトラップ付とし、位置は平面図による。
１０．　排水トラップの構造はＳ50告示1597号第2号第三号に適合するものとする。
１１．　通気管の構造はＳ50告示第1597号第2第五号に適合するものとする。
１２．　防火ダンパーの作動温度は、一般給排気72℃，厨房排気120℃，排煙260℃を標準とする。
１３．　ガス設備の構造は、Ｓ56建告第1099号に適合するものとする。
１４．　雑用水を利用する場合は、誤飲防止のため、配管識別表示を行う。
１５．　排水管の配管口径及び勾配については、特記なき限り「公共建築工事標準仕様書（機械設備編）」最新版に準ずること。
１６．　火気使用機器周囲15ｃｍ以内には、コンセント・スイッチ類は設置しない。
１７．　ダクト工事において、機器・制気口ボックス接続部にフレキシブルダクトを使用する場合は、亜鉛鉄板もしくは塩化ビニル被覆グラスウールフレキブルダクト（不燃材）とする。（火気排気系統では採用しない）
１８．　給排水設備は施行令129条2の4及び告示S50建告1597号に準ずるものとする。
１９．　トレンチ内およびピット内の吊金物はステンレス製とする。
２０．　建築設備の耐震性等について
建築基準法施工令第129条の2の3の事項について、建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。尚、支持構造部等の計算は「建築設備耐震設計・施工指針　2014年版」による。
※建築設備（昇降機を除く）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
※屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
※建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は下記による。
※1.風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
※2.建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
※3.管の伸縮その他変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を設けること。
※4.管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
※建築基準法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。
※給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
満水時の質量が15ｋｇを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。

ダクトの防火区画貫通処理要領図

昭48告2565号,H12告示1376号に準じること。ＦＤは竪固に支持を行うこと。

配管の防火区画貫通処理（在来工法）要領図

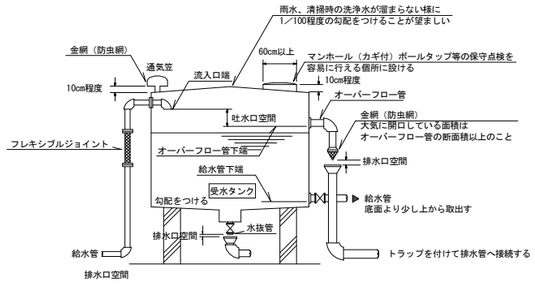


設備配管等の防火区画貫通処理（国土交通大臣認定工法）採用一覧

製造社名	使用材料	大臣認定番号表	対象機材
因幡電機産業	冷媒用被覆銅管用区画貫通処理材（床）	PS060FL-0026	冷媒配管
因幡電機産業	冷媒用被覆銅管用区画貫通処理材（RC壁）	PS060ML-0027	冷媒配管
因幡電機産業	冷媒用被覆銅管用区画貫通処理材（中空壁）	PS060ML-0467	冷媒配管
積水化学工業	ケーブル・鋼製電線管区画貫通処理材（床）	PS060FL-0290	ケーブル・鋼製電線管
積水化学工業	ケーブル・電線管区画貫通処理材（RC壁）	PS060ML-0269	ケーブル・電線管
積水化学工業	ケーブル・電線管区画貫通処理材（中空壁）	PS060ML-0213	ケーブル・電線管
未来工業	スイッチボックス取付（中空壁）	PS060ML-0814	スイッチボックス取付
昭和電工建材	耐火二層管（床）	PS060FL-0383	排水管
昭和電工建材	耐火二層管（壁）	PS060ML-0380	排水管
昭和電工建材	耐火二層管（中空壁）	PS060ML-0312	排水管

注記：上記使用機材区画貫通部においては、材料に適合した区画貫通処理を行う。
ただし、使用材料については同等品の使用を認める。

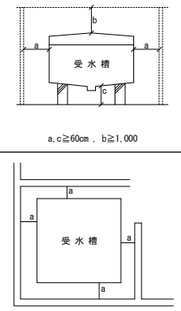
受水タンク廻り配管参考図



間接排水管の排水口空間は、150mmとする。

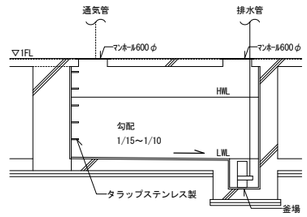
※空気調和・衛生工学会規格：給排水設備基準
（HASS206-1982）、（昭57）

受水槽スペース参考図 S=N.S.



注記1：受水槽は、建設省告示昭和50年第1597号
同改正昭和62年第1924号適合品とする事。
注記2：天板まで満水試験を行う事。

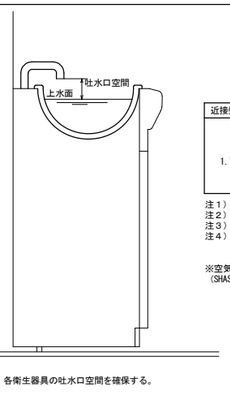
汚水槽要領図



※1.基礎梁成は構造図による
※2.スラブ厚は構造図による

排水槽の構造は、建設省告示昭和50年第1597号
に適合するものとする。

衛生器具廻り要領図（吐水口空間）



各衛生器具の吐水口空間を確保する。

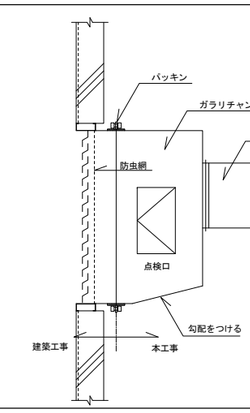
吐水口空間

近接壁の影響がない場合	近接壁の影響がある場合						
	近接壁１面の場合			近接壁２面の場合			
	壁からの離れ			壁からの離れ			
	3d以下	3dを超え5d以下	5dを超えるもの	4d以下	4dを超え6d以下	6dを超え7d以下	7dを超えるもの
1.7d'＋5	3.0d'	2.0d'＋5	1.7d'＋5	3.5d'	3.0d'	2.0d'＋5	1.7d'＋5

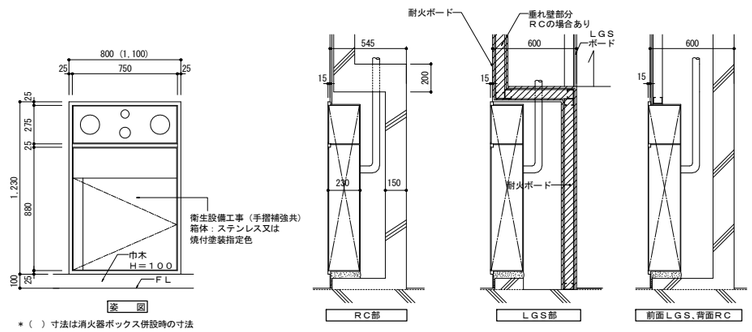
注１）d：吐水口の内径（mm）、d'：有効開口の内径（mm）
注２）吐水口断面が長方形の場合は長辺をdとする。
注３）あふれ縁より少しでも高い壁がある場合は近接壁とみなし、近接壁１面、２面の場合の数値による。
注４）吐水口端面があふれ面に対し平行でない場合は、吐水口端の最下端と衛生器具・水受容器のあふれ縁との空間を吐水口空間とする。

※空気調和・衛生工学会規格：給排水設備基準
（SHASE-S206-2009）

ガラリ廻り要領図



消火栓（補助散水栓）ボックス廻り要領図



石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	履歴 ver.20221201	完成図作成（受注者名） 日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○　○○ 担当者 ○○　○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○　○○ 担当者 ○○　○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 山田和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田和生 証交付番号 第11279号	法適合確認欄 設備設計一級建築士 ○○　○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○　○○ 証交付番号 第○○○○号	製作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西　重隆 日付 2024.03	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井 智樹 担当者 山邊　正也	業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 建築設備法適合確認共通図面	業務契約コード 108557-02 縮尺 A1: — A3: —	図面番号 M-05	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

名称	記号	備考
冷温水管	—CHS— —CHR—	配管用炭素鋼鋼管（白）
冷媒管	— R —	冷媒用断熱材被覆銅管
ドレン管	— D —	空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管
膨張管	— E —	配管用炭素鋼鋼管（白）
加湿給水管	— - —	水道用硬質塩化ビニルライニング管VB
仕切弁	CV	ゲート弁
	BV	バタフライ弁
逆止弁	CV	
Y型ストレーナー		
埋設弁		
フレキシブルジョイント	FJ	
防振継手		
フート弁		
自動エア抜弁装置		
電磁弁装置		
ドレントラップ		

名称	記号	備考
給気ダクト	—SA—	亜鉛鉄板
還気ダクト	—RA—	亜鉛鉄板
排気ダクト	—EA—	亜鉛鉄板
外気ダクト	—OA—	亜鉛鉄板
外気処理送気ダクト	—SOA—	亜鉛鉄板
風量調節ダンパー	VD —VD—	
モーターダンパー	MD —MD—	
逆流防止ダンパー	CD —CD—	
防火ダンパー	FD —FD—	
消音チャンバー		
消音エルボ		
たわみ継手		
消音器		
吹出口		(壁付き)
		(天井付)
吸込口		(壁付き)
		(天井付)

名称	記号	備考
給水管	— - —	屋内/屋外 水道用硬質塩化ビニルライニング管VA
		ﾋﾟｯﾄ内/地中埋設 水道用硬質塩化ビニルライニング管VD
給湯管	— I — — II —	水道用ステンレス鋼鋼管（拡管式）
排水管	———	屋内 耐火二層管（VP）
		ﾋﾟｯﾄ内/地中埋設 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
通気管	— — — —	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
消火栓管	— X —	配管用炭素鋼鋼管（白）
液化石油ガス管	— G —	室内：配管用炭素鋼鋼管（白）
		埋設：硬質塩化ビニル被覆銅管
水栓	水 湯 混合	
シャワー	水 湯 混合	
量水器	M	
ポールタップ		
散水栓		
水栓柱		
水抜栓		
床上掃除口		
床排水トラップ		
排水金物		
間接排水金物		
通気金網		
トラップ桝	T T	
インバート桝		
ガスメーター	GM	
壁埋込ガス栓		
屋内消火栓		

名称	記号	備考

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
整理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承認
日付 ○○.○○.○○
整理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邉 正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事
業務契約コード 108557-02
図面名称 凡例表
縮尺 A1:— A3:—

図面番号 M-06

管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

機器番号	機器名称	台数	機器仕様		電動機（60HZ） 相 φ	電圧 V	動力 kW	起動方式	コンクリート基礎	非常電源	設置場所	備考
AHP-1	空冷電気式	1組	型式	：モジュール型、ポンプ組込型（240馬力相当）　屋外仕様					○	-	R階　屋上機器置場	
	ヒートポンプチラー			60馬力×4台連結仕様								
			冷却能力	：180 kW x4								
			暖房能力	：200 kW x4								
			冷温水量	：410 L/min　（14℃→7℃ / 38℃→45℃）x4								
			消費電力	：冷却時	3	200	55.2x4	INV				
				加熱時	3	200	54.6x4	INV				
			圧縮機	：	3	200	11.76x4x4	INV				
			送風機	：	3	200	1.2x4x4	INV				
			送水ポンプ	：揚程 19 m	3	200	2.2x4	INV				
			付属品	：モジュールコントローラー								
				スプリング防振架台、その他標準付属品一式								
PCH-1	冷温水2次ポンプ	3	型式	：片吸込渦巻ポンプ（メカニカルシール）	3	200	7.5	INV	○	-	1階　熱源機械室	
			仕様	：80 φ × 65 × φ 550 L/min × 38 m								
			付属品	：スプリング防振架台、その他標準付属品一式								
HCHS-1	冷温水1次ヘッダー	1	材質	：配管用炭素鋼鋼管（白）、JIS5K 規格品	-	-	-	-	○	-	1階　熱源機械室	
	（往）		寸法	：250 φ × 2500 L								
			タッピング	：100Ax4,150Ax1,150Ax1（予備）、50Ax1（ドレン）								
			架台	：1300 H（弁芯）　（溶融亜鉛メッキ仕上げ）								
			付属品	：圧力計、その他標準付属品一式								
HCHS-2	冷温水2次ヘッダー	1	材質	：配管用炭素鋼鋼管（白）、JIS5K 規格品	-	-	-	-	○	-	1階　熱源機械室	
	（往）		寸法	：250 φ × 2500 L								
			タッピング	：100Ax4,125Ax1,125Ax1（予備）、50Ax1（ドレン）								
			架台	：1300 H（弁芯）　（溶融亜鉛メッキ仕上げ）								
			付属品	：圧力計、その他標準付属品一式								
HCHR-1	冷温水1次ヘッダー	1	材質	：配管用炭素鋼鋼管（白）、JIS5K 規格品	-	-	-	-	○	-	1階　熱源機械室	
	（還）		寸法	：250 φ × 2500 L								
			タッピング	：40Ax1,125Ax1,150Ax1,150Ax1（予備）、50Ax1（ドレン）								
			架台	：1300 H（弁芯）　（溶融亜鉛メッキ仕上げ）								
			付属品	：圧力計、その他標準付属品一式								
TEX-1	空調用膨張水槽	1	型式	：密閉型隔膜式　ダイアフラム方式　SUS製	-	-	-	-	○	-	1階　熱源機械室	
			タンク内容積	：800 L								
			最大受水量	：640 L								
			参考寸法	：760 φ × 2100 H								
			最高使用圧力	：0.8 MPa								
			付属品	：圧力計、逃し弁、溶解栓、その他標準付属品一式								
TWPU-1	加湿給水	1	型式	：受水槽一体型定圧給水ポンプユニット	3	200	0.75	INV	○	-	1階　熱源機械室	
	ポンプユニット		受水槽	：600 L　（FRP製、角型）								
			ポンプ	：単独運転式								
				25 φ 20 L/min × 38 m								
			付属品	：ボールタップ、吸込管、オーバーフロー管（防虫網付）、								
				受水槽ドレンキャップ、減水フロートスイッチ、								
				満水フロートスイッチ、受水槽架台、制御盤、								
				その他標準付属品一式								

特記事項

1.表中の能力は必要能力とする。
2.コンクリート基礎は建築工事とする。
3.インバーターには高調波対策としてアクティブフィルターを設置する。ただし、換算係数Ki=1.8を超える場合に限る。
4.空冷ヒートポンプチラーの能力・消費電力は、JIS8613-2019による。

機器番号	系統名	台数	型式	風量 SA m3/h	風量 RA m3/h	風量 OA m3/h	風量 EA m3/h	冷温水コイル 冷却時 能力 kW	冷却時 水量 ⊿t=7℃ l/min	冷却時 入口空気 DB	冷却時 入口空気 WB	冷却時 出口空気 DB	冷却時 出口空気 WB	加熱時 能力 kW	加熱時 水量 ⊿t=7℃ l/min	加熱時 入口空気 DB	加熱時 入口空気 WB	加熱時 出口空気 DB	加熱時 出口空気 WB	全熱交（回転型）	加湿器 種類	有効加湿量 kg/h	加湿効率	加湿噴霧量 kg/h	フィルター プレフィルター	中性能フィルター JIS ePM 10 50%	給気送風機（60Hz） 機外静圧 Pa	動力 kW	起動	INV	還気送風機（60Hz） 機外静圧 Pa	動力 kW	起動	INV	電源（60Hz） φ-V	G回路（非常電源）	設置場所	備考
AHU-101	1階　アリーナ	1	全熱交換器付空気調和機	25,520	25,520	25,520	25,520	247.4	506	29.0	22.6	14.8	13.8	133.1	272	11.4	7.4	25.7	13.8	○	水気化式	58.8			○		500	15.0	L-S		500	11.0	L-S		3-200		1階　空調機械室1	全熱交換器動力:3φ×200V×0.4kW
AHU-102	1階　アリーナ	1	全熱交換器付空気調和機	25,520	25,520	25,520	25,520	247.4	506	29.0	22.6	14.8	13.8	133.1	272	11.4	7.4	25.7	13.8	○	水気化式	58.8			○		500	15.0	L-S		500	11.0	L-S		3-200		1階　空調機械室2	全熱交換器動力:3φ×200V×0.4kW
AHU-201	2階　客席	1	全熱交換器付空気調和機	6,980	6,980	6,980	6,980	62.5	128	29.0	22.6	15.6	14.6	43.5	89	11.4	7.4	28.7	14.9	○	水気化式	16.2			○		500	5.5	L-S		500	3.7	L-S		3-200		2階　空調機械室2	全熱交換器動力:3φ×200V×0.4kW
AHU-202	2階　客席	1	全熱交換器付空気調和機	6,980	6,980	6,980	6,980	62.5	128	29.0	22.6	15.6	14.6	43.5	89	11.4	7.4	28.7	14.9	○	水気化式	16.2			○		500	5.5	L-S		500	3.7	L-S		3-200		1階　熱源機械室	全熱交換器動力:3φ×200V×0.4kW

特記事項

1.外気温度条件（（夏）DB:35.2℃　WB:27.9℃、（冬）DB:1.6℃　WB:-0.9℃　）
2.コイルの面風速は2.5m/s以下とする。
3.防振装置はファンセクションにスプリング防振架台を設置する。
4.コンクリート基礎は建築工事とする。
5.フィルターは予備を100％見込む。

機器番号	名称	台数	型式	設置場所	冷房能力 kW	暖房能力 kW	フィルター	加湿器 型式	加湿器 加湿量 kg/h	電動機(60Hz) 消費電力(冷房) kW	消費電力(暖房) kW	送風機 送風量 m3/h	送風機 機外静圧 Pa	送風機 出力 kW	圧縮機 kW	相 φ	電圧 V	起動方式	非常電源	防振装置	リモコンスイッチ	冷媒漏洩対策	コンクリート基礎	備考
EHP-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室外機)	1	マルチエアコン(冷暖切替)	R階 屋外機置場	61.5	69.5	—	—	—	20.3	23.2	—	—	0.82x2	20.5	3	200	INV	—	SP	—	—	○	
EHP-1-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	3	天井埋込ダクト形	1階 エントランスホール	9.0	10.0	標準品	—	—	0.188	0.176	1,500	200	0.35	—	1	200	L-S	—	HN	—	○	—	
EHP-1-2	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	3	天井埋込ダクト形	2階 ホワイエ	9.0	10.0	標準品	—	—	0.188	0.176	1,500	200	0.35	—	1	200	L-S	—	HN	—	○	—	
EHP-2	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室外機)	1	マルチエアコン(冷暖切替)	R階 屋外機置場	28.0	31.5	—	—	—	8.77	9.23	—	—	0.61	8.24	3	200	INV	—	SP	—	—	○	
EHP-2-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	2	天井埋込カセット形(4方向)	1階 事務室	3.6	4.0	標準品	自然蒸発式	0.7	0.028	0.024	750	—	0.053	—	1	200	L-S	—	HN	1	○	—	
EHP-2-2	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	1	天井埋込カセット形(4方向)	1階 更衣室(男)	7.1	8.0	標準品	—	—	0.072	0.068	1,320	—	0.053	—	1	200	L-S	—	HN	1	○	—	
EHP-2-3	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	1	天井埋込カセット形(4方向)	1階 更衣室(女)	7.1	8.0	標準品	—	—	0.072	0.068	1,320	—	0.053	—	1	200	L-S	—	HN	1	○	—	
EHP-3	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室外機)	1	マルチエアコン(冷暖切替)	R階 屋外機置場	56.0	63.0	—	—	—	15.7	19.1	—	—	0.72x2	17.1	3	200	INV	—	SP	—	—	○	
EHP-3-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	1	天井埋込カセット形(4方向)	1階 多目的室(運営)	11.2	12.5	標準品	自然蒸発式	1.2	0.217	0.207	2,130	—	0.106	—	1	200	L-S	—	HN	1	○	—	
EHP-3-2	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	1	天井埋込カセット形(4方向)	1階 多目的室(ドーピング)	7.1	8.0	標準品	自然蒸発式	0.7	0.072	0.068	1,320	—	0.053	—	1	200	L-S	—	HN	1	○	—	
EHP-3-3	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	1	天井埋込カセット形(4方向)	1階 多目的室	7.1	8.0	標準品	自然蒸発式	0.7	0.072	0.068	1,320	—	0.053	—	1	200	L-S	—	HN	1	○	—	
EHP-3-4	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	1	天井埋込カセット形(4方向)	1階 多目的室(記者・TV)	7.1	8.0	標準品	自然蒸発式	0.7	0.072	0.068	1,320	—	0.053	—	1	200	L-S	—	HN	1	○	—	
EHP-3-5	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	1	天井埋込カセット形(4方向)	1階 会議室(記者会見)	8.0	9.0	標準品	自然蒸発式	0.7	0.086	0.081	1,410	—	0.053	—	1	200	L-S	—	HN	1	○	—	
EHP-4	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室外機)	1	マルチエアコン(冷暖切替)	R階 屋外機置場	40.0	45.0	—	—	—	11.0	13.5	—	—	0.42x2	12.1	3	200	INV	—	SP	—	—	○	
EHP-4-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	5	天井埋込カセット形(4方向)	2階 トレーニング室	7.1	8.0	標準品	自然蒸発式	0.7	0.072	0.068	1,320	—	0.053	—	1	200	L-S	—	HN	5	○	—	
EHP-5	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室外機)	1	マルチエアコン(冷暖切替)	R階 屋外機置場	67.0	77.5	—	—	—	18.9	26.9	—	—	(1.03x1)x2	11.8x2	3	200	INV	—	SP	—	—	○	
EHP-5-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	2	天井埋込カセット形(2方向)	1階 選手更衣室1	5.6	6.3	標準品	自然蒸発式	1.0	0.059	0.056	900	—	0.046	—	1	200	L-S	—	HN	1	○	—	
EHP-5-2	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	2	天井埋込カセット形(2方向)	1階 選手更衣室2	5.6	6.3	標準品	自然蒸発式	1.0	0.059	0.056	900	—	0.046	—	1	200	L-S	—	HN	1	○	—	
EHP-5-3	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	1	天井埋込カセット形(2方向)	1階 審判更衣室(東)	3.6	4.0	標準品	—	—	0.039	0.035	690	—	0.046	—	1	200	L-S	—	HN	1	○	—	
EHP-5-4	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	1	天井埋込カセット形(2方向)	1階 審判更衣室(西)	3.6	4.0	標準品	—	—	0.039	0.035	690	—	0.046	—	1	200	L-S	—	HN	1	○	—	
EHP-5-5	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	3	天井埋込カセット形(2方向)	1階 選手更衣室前廊下	9.0	10.0	標準品	—	—	0.09	0.086	1,560	—	0.092	—	1	200	L-S	—	HN	—	○	—	
EHP-6	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室外機)	1	設備用パッケージエアコン(冷暖切替)	R階 屋外機置場	100.0	80.0	—	—	—	20.07	18.76	—	—	0.42+0.46x2	8.4+7.4	3	200	INV	—	SP	—	—	○	
EHP-6-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	1	外気処理エアコン(床置型)	2階 空調機械室1	100.0	80.0	標準品	—	—	2.48	2.48	6,300	320	2.2	—	3	200	L-S	—	SP	1	—	○	
EHP-7	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室外機)	1	マルチエアコン(冷暖切替)	R階 屋外機置場	85.0	95.0	—	—	—	23.9	28.6	—	—	(0.66x2)+(0.42x2)	(13.3x1)+(12.1x1)	3	200	INV	—	SP	—	—	○	
EHP-7-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	6	天井埋込ダクト形	2階 立見席2・通路2	14.0	16.0	—	—	—	0.295	0.285	1,980	200	0.35	—	1	200	L-S	—	HN	—	○	—	
EHP-8	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室外機)	1	マルチエアコン(冷暖切替)	R階 屋外機置場	85.0	95.0	—	—	—	23.9	28.6	—	—	(0.66x2)+(0.42x2)	(13.3x1)+(12.1x1)	3	200	INV	—	SP	—	—	○	
EHP-8-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	6	天井埋込ダクト形	2階 立見席1・通路1	14.0	16.0	—	—	—	0.295	0.285	1,980	200	0.35	—	1	200	L-S	—	HN	—	○	—	
PAC-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室外機)	1	店舗用エアコン(ペア)	R階 屋外機置場	3.6	4.0	—	—	—	0.08	0.08	—	—	0.05	0.59	1	200	INV	—	G	—	—	○	集中管理アダプター
PAC-1-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	1	2方向カセット型	1階 清掃員控室	3.6	4.0	標準品	自然蒸発式	0.6	—	—	720	—	0.046	—	1	200	L-S	—	HN	1	—	—	
PAC-2	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室外機)	1	店舗用エアコン(ペア)	R階 屋外機置場	5.6	6.3	—	—	—	1.27	1.34	—	—	0.05	1.1	1	200	INV	—	G	—	—	○	集中管理アダプター
PAC-2-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	1	4方向カセット型	1階 放送室	5.6	6.3	標準品	自然蒸発式	0.7	—	—	1,110	—	0.053	—	1	200	L-S	—	HN	1	—	—	
PAC-3	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室外機)	1	店舗用エアコン(ペア)	R階 屋外機置場	3.6	4.0	—	—	—	0.677	0.757	—	—	0.05	0.59	1	200	INV	—	G	—	—	○	集中管理アダプター
PAC-3-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ (室内機)	1	4方向カセット型	1階 医務室	3.6	4.0	標準品	自然蒸発式	0.7	—	—	960	—	0.053	—	1	200	L-S	—	HN	1	—	—	
	集中管理コントローラー	1	管理グループ数 : 室外機 11 組 室内機 45 点以上																					1階事務室設置
			状態監視、個別/一括運転・停止、温度設定、スケジュール管理																					

特記事項

1. 外気温度条件 (夏)DB:35.2℃ WB:27.9℃、(冬)DB:1.6℃ WB:-0.9℃
2. 表中の能力はJIS条件時とする。
3. パッケージエアコンの能力・消費電力は、JIS B 8616 による。
4. コンクリート基礎は建築工事とする。
5. 防振は、SP(スプリング)、G(ゴムパット)、HN(防振ハンガー)を示す。
6. 室外機(圧縮機)はインバーター型とし、高調波対策としてアクティブフィルターを設置する。
   但し、換算係数Ki値＝1.8を超える場合に限る。
7. INVは特記なき限り機械設備工事とする。
8. マルチエアコン(冷暖切替)、マルチエアコン(冷専)、店舗用エアコンは冷媒R32とする。
9. 設備用エアコンは冷媒R410Aとする。
10. カセット形は化粧パネル付とする。
11. 天井取付の室内機はドレンアップ装置付とする。
12. フィルターの予備は100%とする。
13. マルチエアコン室内機には冷媒漏洩検知器を内蔵とする。
14. 冷媒漏洩対策室においては、室内機またはリモコンに検知器及び警報器を付属する。
15. 冷媒漏洩対策室の冷媒管には、エアコン製造者規格による遮断弁を設置する。
16. 店舗用エアコン、工場用エアコンの電源供給先は室外機とする。

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成 (受注者名)
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承認
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認書
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認書
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邊 正也

業務名称 (仮称)福智町総合体育館新築工事
業務契約コード 108557-02
図面名称 空調設備 機器表-2
縮尺 A1:- A3:-

図面番号 MA-02

管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

機器番号	機器名称	台数	系 統 名	型式	番手	風量	静圧	電動機（60HZ）				防振	24時間換気	コンクリート基礎	非常電源	連動機器	設置場所	リモコンスイッチ	備 考
					#(φ)	m3/h	Pa	相 φ	電圧 V	動力 kW	起動								
HEX-1-1	全熱交換器	1	1階　放送室	全熱交換器 （天井カセット形）	150φ	150	110	1	100	0.185	L-S	HN	○	-	-	-	1階　放送室	1	
HEX-1-2	全熱交換器	1	1階　医務室	全熱交換器 （天井カセット形）	150φ	100	110	1	100	0.185	L-S	HN	○	-	-	-	1階　医務室	1	
HEX-1-3	全熱交換器	1	1階　多目的室(運営)	全熱交換器 （隠蔽形）	200φ	500	140	1	100	0.445	L-S	HN	○	-	-	-	1階　多目的室(運営)	1	
HEX-1-4	全熱交換器	1	1階　多目的室(ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ)	全熱交換器 （隠蔽形）	200φ	450	150	1	100	0.315	L-S	HN	○	-	-	-	1階　多目的室(ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ)	1	
HEX-1-5	全熱交換器	1	1階　多目的室	全熱交換器 （隠蔽形）	200φ	450	160	1	100	0.315	L-S	HN	○	-	-	-	1階　多目的室	1	
HEX-1-6	全熱交換器	1	1階　多目的室(記者･TV)	全熱交換器 （隠蔽形）	200φ	450	170	1	100	0.315	L-S	HN	○	-	-	-	1階　多目的室(記者･TV)	1	
HEX-1-7	全熱交換器	1	1階　会議室(記者会見)	全熱交換器 （隠蔽形）	200φ	450	180	1	100	0.445	L-S	HN	○	-	-	-	1階　会議室(記者会見)	1	
HEX-1-8	全熱交換器	1	1階　事務室	全熱交換器 （隠蔽形）	150φ	250	150	1	100	0.21	L-S	HN	○	-	-	-	1階　事務室	1	
HEX-2-1	全熱交換器	3	2階　トレーニング室	全熱交換器 （隠蔽形）	250φ	700	170	1	100	0.54	L-S	HN	○	-	-	-	1階　トレーニング室	1	
	集中リモコン	1	集中管理コントローラー	管理グループ数 ： 11 点以上															
			（全熱交換器用）	状態監視、個別/一括運転･停止、温度設定、スケジュール管理															

機器番号	機器名称	台数	系 統 名	型式	番手	風量	静圧	電動機（60HZ）				防振	24時間換気	コンクリート基礎	非常電源	連動機器	設置場所	備 考
					#(φ)	m3/h	Pa	相 φ	電圧 V	動力 kW	起動							
FS-1-1	給気送風機	1	1階　選手更衣室1	ストレートシロッコファン(DCブラシレスモーター)	#1 1/2	550	140	1	100	0.35	L-S	HN	-	-	-	FE-1-1	1階　選手更衣室1	
FS-1-2	給気送風機	1	1階　選手更衣室2	ストレートシロッコファン(DCブラシレスモーター)	#1 1/2	550	140	1	100	0.35	L-S	HN	-	-	-	FE-1-2	1階　選手更衣室2	
FS-1-3	給気送風機	1	1階　器具庫	片吸込みシロッコファン （天吊型）	#2	3,900	200	3	200	1.5	L-S	SP	-	-	-	FE-1-13	1階　器具庫	
FS-1-4	給気送風機	1	1階　熱源機械室	ストレートシロッコファン(消音形)	#1 1/2	1,150	180	1	100	0.247	L-S	HN	-	-	-	FE-1-4	1階　熱源機械室	
FE-1-1	排気送風機	1	1階　選手更衣室1	ストレートシロッコファン(DCブラシレスモーター)	#1 1/2	550	180	1	100	0.35	L-S	HN	-	-	-	FS-1-1	1階　選手更衣室1	SWは電気工事
FE-1-2	排気送風機	1	1階　選手更衣室2	ストレートシロッコファン(DCブラシレスモーター)	#1 1/2	550	170	1	100	0.35	L-S	HN	-	-	-	FS-1-2	1階　選手更衣室2	SWは電気工事
FE-1-3	排気送風機	1	1階　審判用WC	天井扇(DCブラシレスモーター)	100φ	100	90	1	100	0.099	L-S	HN	-	-	-	-	1階　審判用WC	SWは電気工事
FE-1-4	排気送風機	1	1階　熱源機械室	ストレートシロッコファン(消音形)	#1 1/2	1,150	130	1	100	0.348	L-S	HN	-	-	-	FS-1-4	1階　熱源機械室	サーモSWは機器付属品
FE-1-5	排気送風機	1	1階　消火ポンプ室	ストレートシロッコファン(DCブラシレスモーター)	#1 1/2	250	230	1	100	0.285	L-S	HN	-	-	-	-	1階　消火ポンプ室	サーモSWは機器付属品
FE-1-6	排気送風機	1	1階　更衣室(女)	ストレートシロッコファン(DCブラシレスモーター)	#1 1/2	350	170	1	100	0.285	L-S	HN	-	-	-	-	1階　更衣室(女)	SWは電気工事
FE-1-7	排気送風機	1	1階　MWC	ストレートシロッコファン(消音形)	#1 1/2	850	170	3	200	0.23	L-S	HN	-	-	-	-	1階　MWC	EHP-6-1と連動
FE-1-8	排気送風機	1	1階　WWC	ストレートシロッコファン(消音形)	#1 1/2	850	190	3	200	0.23	L-S	HN	-	-	-	-	1階　WWC	EHP-6-1と連動
FE-1-9	排気送風機	1	1階　HCWC	ストレートシロッコファン(DCブラシレスモーター)	#1 1/2	200	190	1	100	0.202	L-S	HN	-	-	-	-	1階　HCWC	人感センサースイッチは電気工事
FE-1-10	排気送風機	1	1階　更衣室(男)	ストレートシロッコファン(DCブラシレスモーター)	#1 1/2	350	190	1	100	0.285	L-S	HN	-	-	-	-	1階　更衣室(男)	SWは電気工事
FE-1-11	排気送風機	1	1階　清掃員控室	ストレートシロッコファン(DCブラシレスモーター)	#1 1/2	200	170	1	100	0.202	L-S	HN	-	-	-	-	1階　清掃員控室	SWは電気工事
FE-1-12	排気送風機	1	1階　給湯室(事務室)	天井扇(DCブラシレスモーター)	100φ	100	100	1	100	0.099	L-S	HN	-	-	-	-	1階　給湯室(事務室)	SWは電気工事
FE-1-13	排気送風機	1	1階　器具庫	片吸込みシロッコファン （天吊型）	#2	3,900	220	3	200	1.5	L-S	SP	-	-	-	FS-1-3	1階　器具庫	動力:中央から運転
FE-1-14	排気送風機	1	1階　審判用更衣室2	天井扇(DCブラシレスモーター)	100φ	150	90	1	100	0.099	L-S	HN	-	-	-	-	1階　審判用更衣室2	SWは電気工事
FE-1-15	排気送風機	1	1階　審判用更衣室1	天井扇(DCブラシレスモーター)	100φ	150	90	1	100	0.099	L-S	HN	-	-	-	-	1階　審判用更衣室1	SWは電気工事
FE-1-16	排気送風機	1	1階　空調機械室 1	ストレートシロッコファン(標準形)	#1 1/2	1,300	100	1	100	0.352	L-S	HN	-	-	-	-	1階　空調機械室 1	SWは電気工事
FE-1-17	排気送風機	1	1階　空調機械室 2	ストレートシロッコファン(標準形)	#1 1/2	1,300	100	1	100	0.352	L-S	HN	-	-	-	-	1階　空調機械室 2	SWは電気工事
FE-2-1	排気送風機	1	2階　MWC2	ストレートシロッコファン(消音形)	#1 1/2	1,050	130	3	200	0.319	L-S	HN	-	-	-	FE-2-2	2階　MWC2	EHP-6-1と連動
FE-2-2	排気送風機	1	2階　MWC2	ストレートシロッコファン(消音形)	#1 1/2	1,050	160	3	200	0.319	L-S	HN	-	-	-	FE-2-1	2階　MWC2	EHP-6-1と連動
FE-2-3	排気送風機	1	2階　WWC2	ストレートシロッコファン(消音形)	#1 1/2	1,050	150	3	200	0.319	L-S	HN	-	-	-	FE-2-4	2階　WWC2	EHP-6-1と連動
FE-2-4	排気送風機	1	2階　WWC2	ストレートシロッコファン(消音形)	#1 1/2	1,050	150	3	200	0.319	L-S	HN	-	-	-	FE-2-3	2階　WWC2	EHP-6-1と連動
FE-2-5	排気送風機	1	2階　HCWC	ストレートシロッコファン(DCブラシレスモーター)	#1 1/2	200	150	1	100	0.202	L-S	HN	-	-	-	-	2階　HCWC	人感センサースイッチは電気工事

特記事項

1.コンクリート基礎は建築工事とする。
2.防振装置は、SP:スプリング防振、G:ゴムパッド、HN:防振ハンガーとする。
3.全熱交換器のコントロールスイッチは機械設備工事とし、ワイヤードリモコン(自動制御図参照)とする。
4.全熱交換器は標準フィルターを付属とし、予備は100%とする。
5.全熱交換器はCO2センサーを付属とする。
6.送風機の連動は電気工事とする。
7.機器の性能値は下記による。

全熱交換器	:JIS B 8628
片吸込みシロッコファン	:JIS B 8330
片吸込みシロッコファン以外	:JIS C 9603

8.送排風機のスイッチ及び配線は電気設備工事とする。
9.全熱交換器には、遠隔管理アダプター(運転･停止･状態)を付属とする。[1φ×100V×3W]
10.全熱交換器熱交換効率は、60%以上とする。

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成 （受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承認
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邊 正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事
業務契約コード 108557-02
図面名称 空調設備 機器表－3
縮尺 A1:－ A3:－

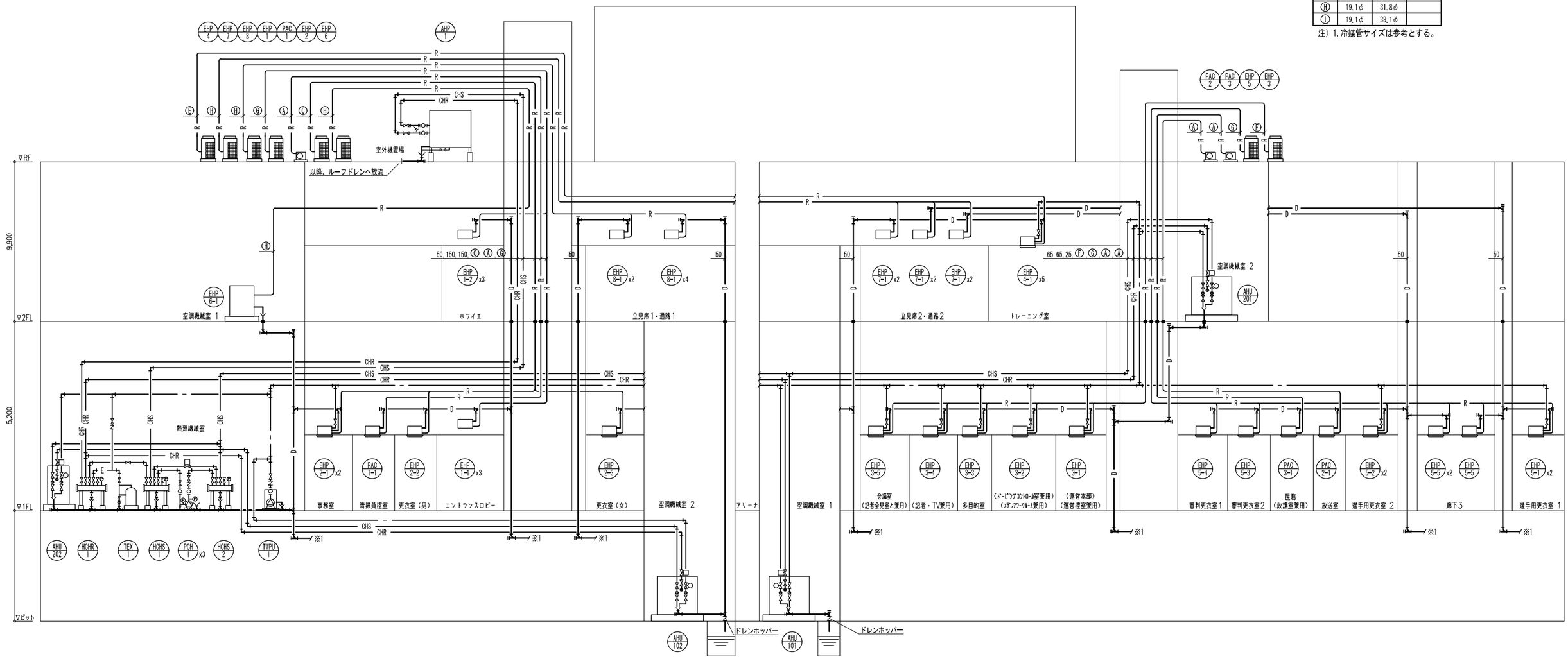
図面番号 MA-03

管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

冷媒管リスト

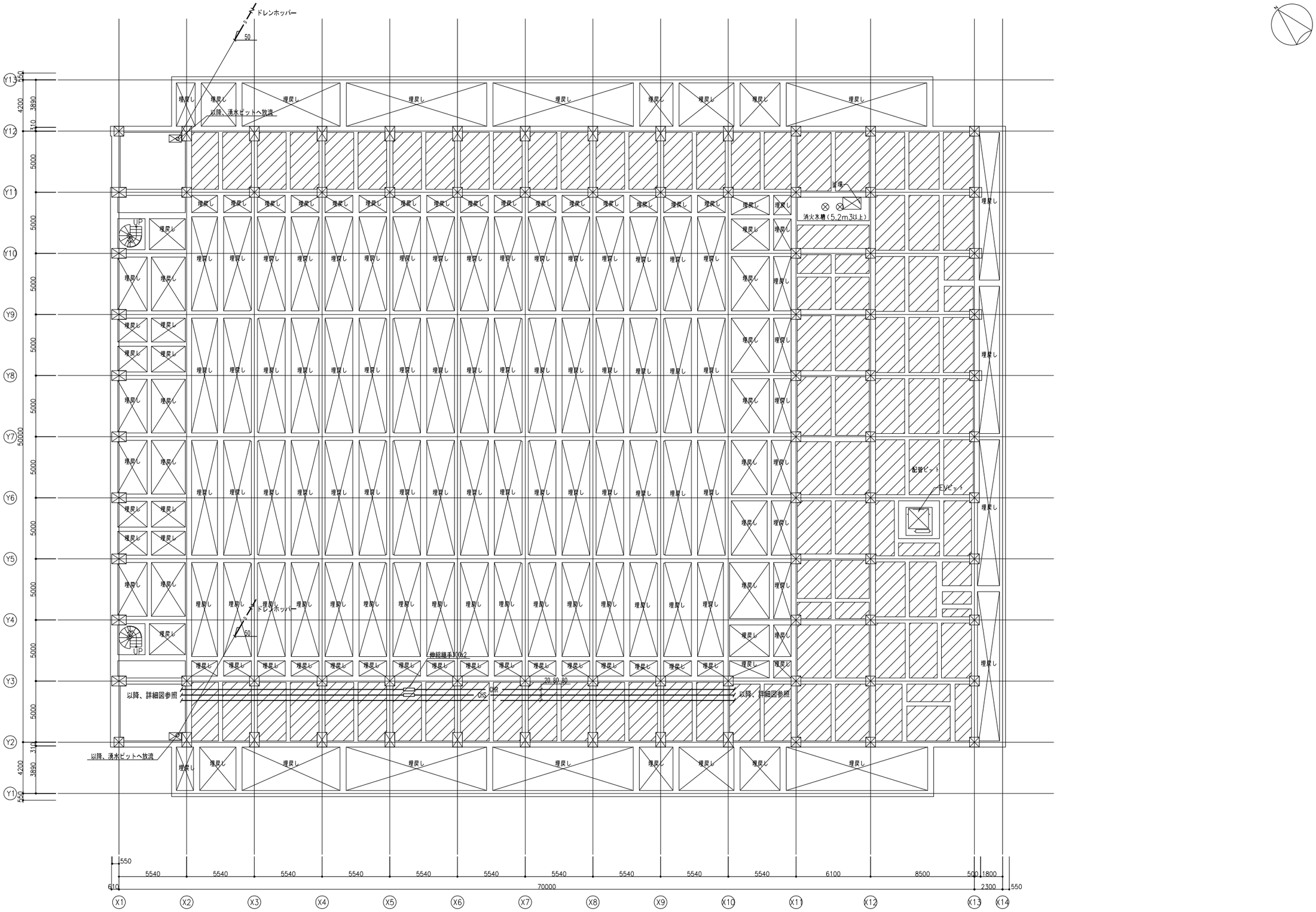
記号	液管	ガス管	備考
Ⓐ	6.4φ	12.7φ	
Ⓑ	9.5φ	15.9φ	
Ⓒ	9.5φ	19.1φ	
Ⓓ	9.5φ	22.2φ	
Ⓔ	12.7φ	25.4φ	
Ⓕ	12.7φ	28.6φ	
Ⓖ	15.9φ	28.6φ	
Ⓗ	19.1φ	31.8φ	
Ⓘ	19.1φ	38.1φ	

注）1.冷媒管サイズは参考とする。

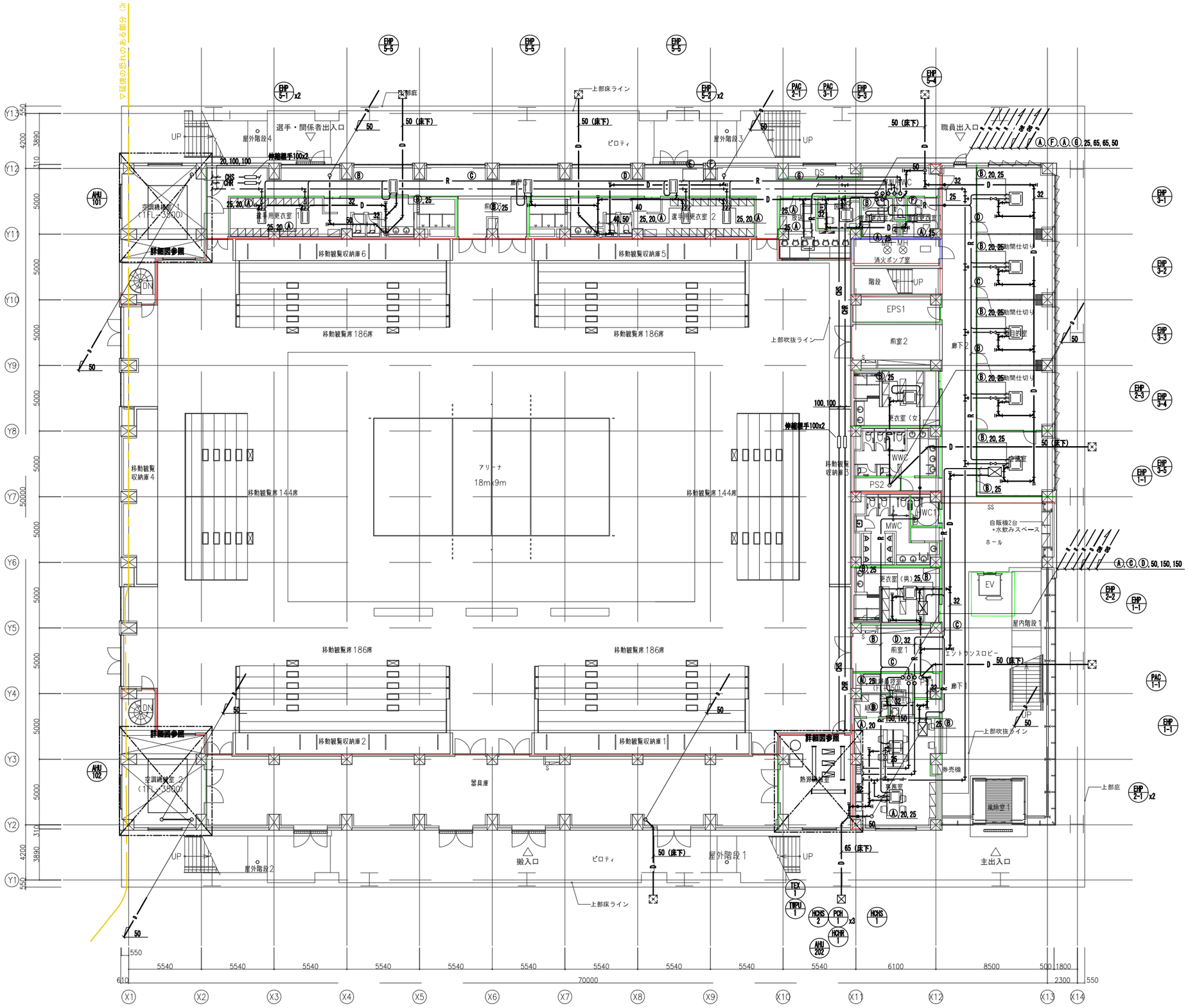


注記
1. ※1 は浸透桝へ接続を示す。
2.特記無き加湿給水管は20Aとする。
　また、機器接続部はGV20Aとする。
3. —●— は区画貫通認定工法処理を示す。

石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	履歴 ver.20221201	完成図作成（受注者名） 日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承諾 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認書 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	法適合確認書 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	製作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事 業務契約コード 108557-02 図面名称 空調配管設備 系統図 縮尺 A1:N.S A3:N.S	図面番号 MA-04	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	履歴 ver.20221201	完成図作成（成注者名） 日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承諾 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認書 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	法適合確認書 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○○号	製作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 空調配管設備 ピット平面図	業務契約コード 108557-02 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図面番号 MA-05	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



凡例

防火区画	
防煙区画	
延焼の恐れのある部分	
消防法施行規則　第12条1項四号(二)　(不燃)(防火設備)	

冷媒管リスト

記号	液管	ガス管	備考
Ⓐ	6.4φ	12.7φ	
Ⓑ	9.5φ	15.9φ	
Ⓒ	9.5φ	19.1φ	
Ⓓ	9.5φ	22.2φ	
Ⓔ	12.7φ	25.4φ	
Ⓕ	12.7φ	28.6φ	
Ⓖ	15.9φ	28.6φ	
Ⓗ	19.1φ	31.8φ	
Ⓘ	19.1φ	38.1φ	

注）1.冷媒管サイズは参考とする。

注記
1. 特記無き配管は天井配管を示す。
2. 特記無き加湿給水管は20Aとする。
また、機器接続部はGV20Aとする。
3. ―◆― は区画貫通認定工法処理を示す。
4. ▨ 浸透剤は衛生設備図参照。

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承認
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

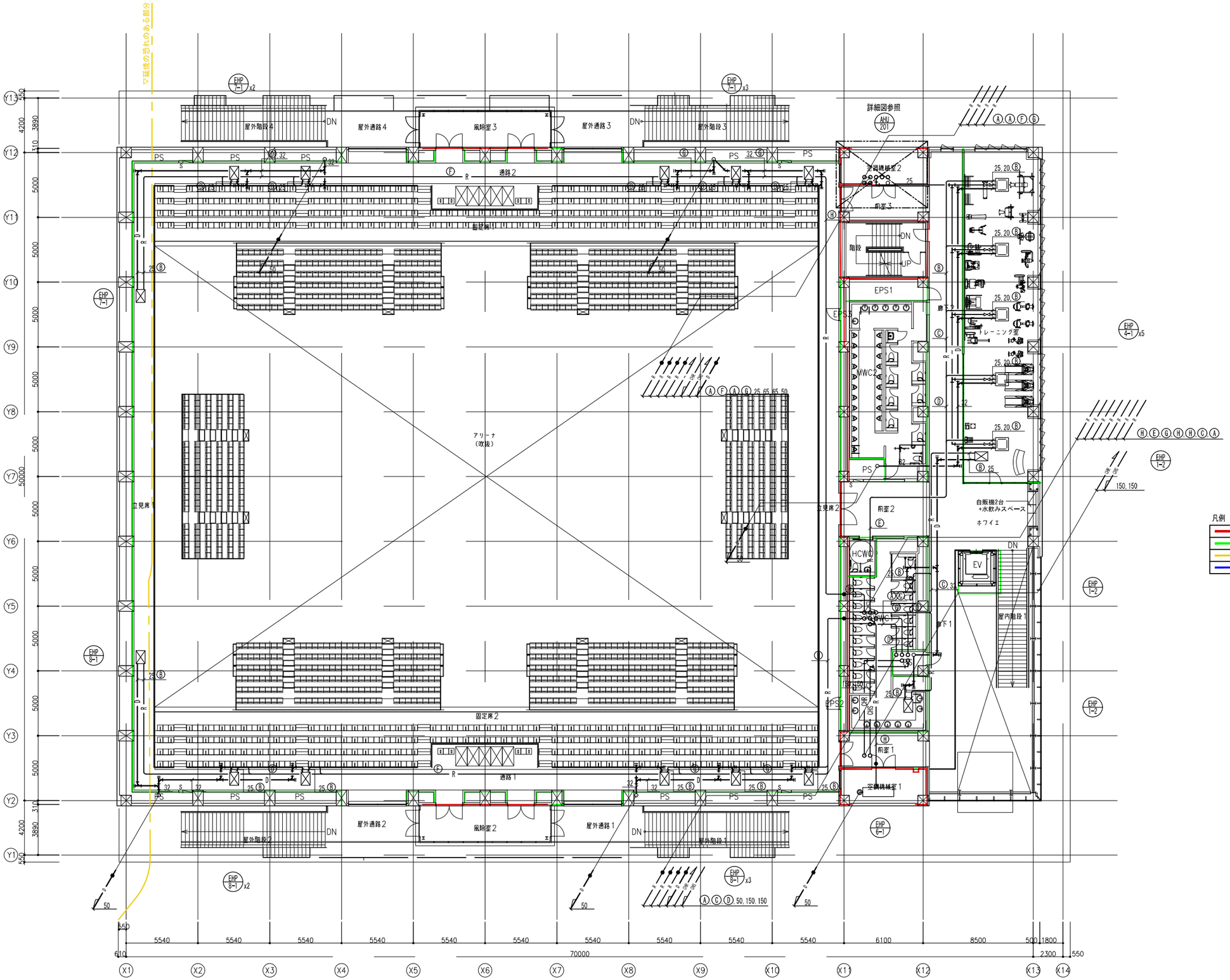
代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邉 正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事
業務契約コード 108557-02
図面名称 空調配管設備　1階平面図
縮尺 A1:1/150 A3:1/300

図面番号 MA-06

管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



凡例

	防火区画
	防煙区画
	延焼の恐れのある部分
	消防法施行規則　第12条1項四号(二)　(不燃)(防火設備)

冷媒管リスト

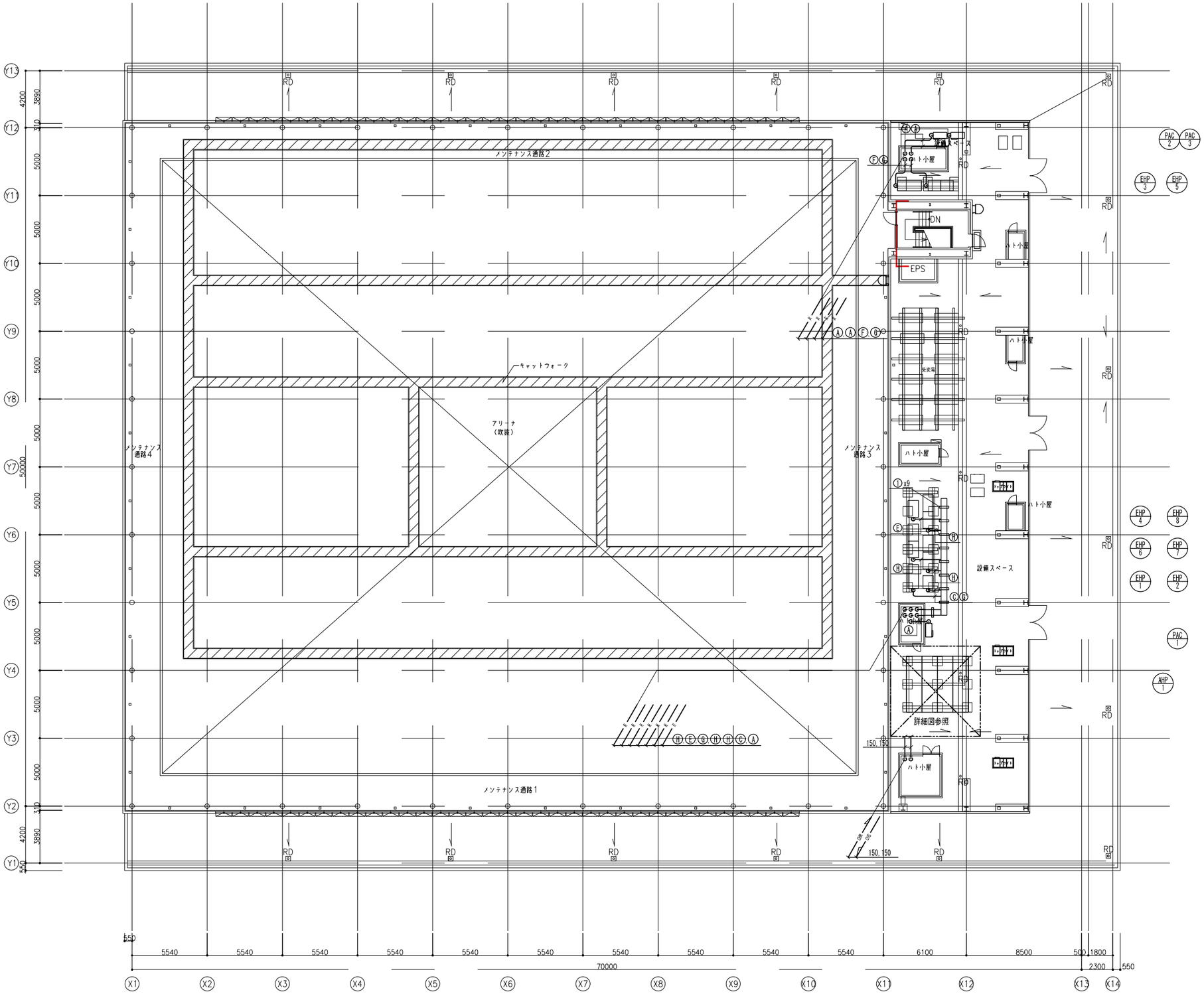
記号	液管	ガス管	備考
Ⓐ	6.4φ	12.7φ	
Ⓑ	9.5φ	15.9φ	
Ⓒ	9.5φ	19.1φ	
Ⓓ	9.5φ	22.2φ	
Ⓔ	12.7φ	25.4φ	
Ⓕ	12.7φ	28.6φ	
Ⓖ	15.9φ	28.6φ	
Ⓗ	19.1φ	31.8φ	
Ⓘ	19.1φ	38.1φ	

注）1.冷媒管サイズは参考とする。

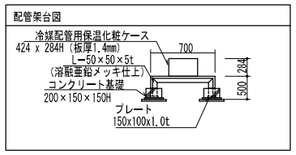
注記
1.特記無き配管は天井配管を示す。
2.特記無き加湿給水管は20Aとする。
　また、機器接続部はGV20Aとする。
3. ―●― は区画貫通認定工法処理を示す。

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴	完成図作成（受注者名）	完成図承認	法適合確認欄	法適合確認欄	製作日	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約コード	図面番号	管理建築士
ver.20221201	日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	2024.03 ファイル名 ○○○○○	一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	（仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 空調配管設備 2階平面図	108557-02 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	MA-07	一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



配管架台図



架台番号	寸法 L (mm)	個数	備　考
①	700	9	

凡例

	防火区画
	防煙区画
	延焼の恐れのある部分
	消防法施行規則　第12条1項四号(二)　(不燃)(防火設備)

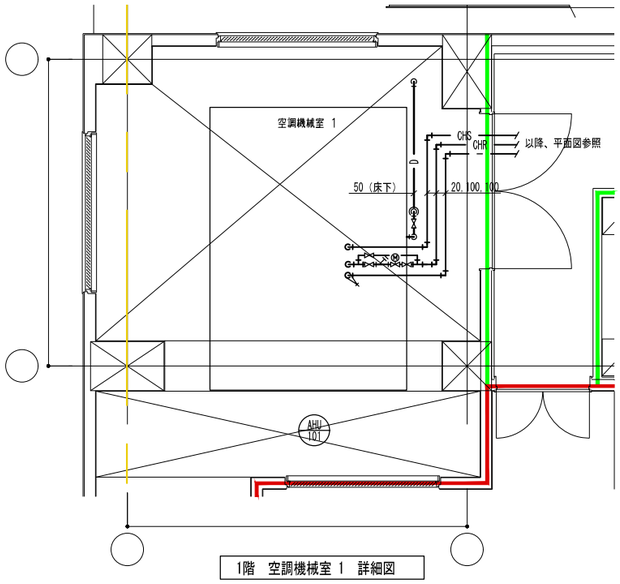
冷媒管リスト

記 号	液 管	ガス管	備考
Ⓐ	6.4φ	12.7φ	
Ⓑ	9.5φ	15.9φ	
Ⓒ	9.5φ	19.1φ	
Ⓓ	9.5φ	22.2φ	
Ⓔ	12.7φ	25.4φ	
Ⓕ	12.7φ	28.6φ	
Ⓖ	15.9φ	28.6φ	
Ⓗ	19.1φ	31.8φ	
Ⓘ	19.1φ	38.1φ	

注) 1.冷媒管サイズは参考とする。

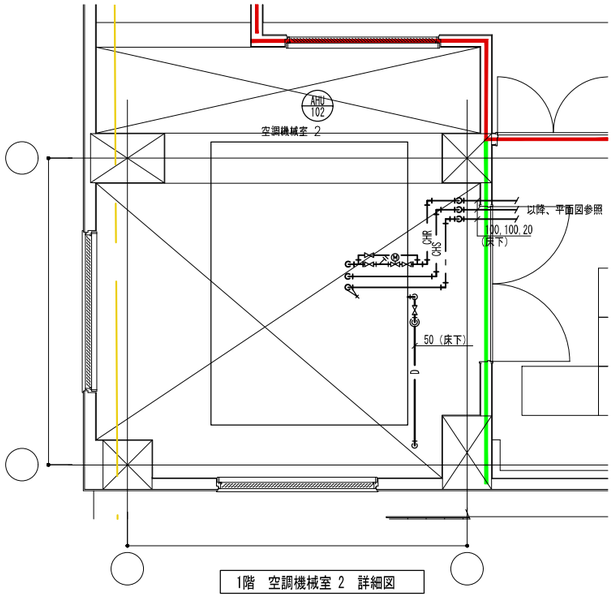
石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴	完成図作成 (受注者名)	完成図承認	法適合確認欄	法適合確認欄	製作日	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約コード	図面番号	管理建築士
ver.20221201	日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	2024.03 ファイル名 ○○○○○	一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	(仮称) 福智町総合体育館新築工事 図面名称 空調配管設備 R階平面図	108557-02 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	MA-08	一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



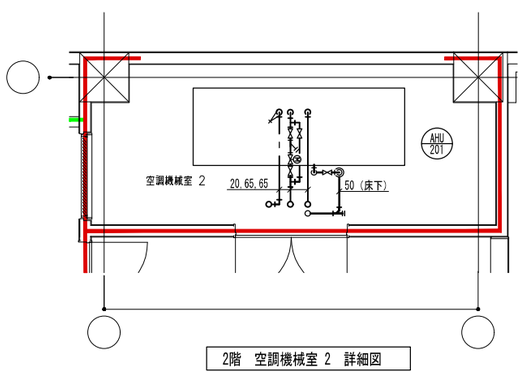
1階　空調機械室 1　詳細図

AHU-101		x 1 組
種　別	弁　　類	個数
冷温水	BV　100	2
	BV（流量調整用）　100	1
	GV（水抜き）　25	1
	電動二方弁装置　100x80	1
	防振継手　100	2
	圧力計	2
	温度計	2
	瞬間流量計　100	1
	空気抜き弁　20	1
加湿給水	GV　20	1
	GV（水抜き）　20	1
	電動弁（AHU付属品）　20	1
	FJ（SUS）　20	1
排水	GV　50	1
	空調機トラップ　50	1
	間接排水口　100x50	1



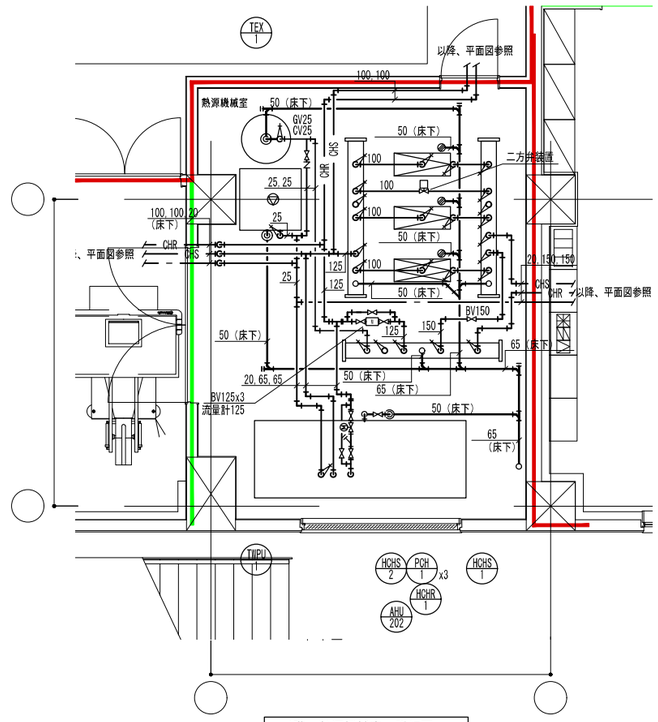
1階　空調機械室 2　詳細図

AHU-102		x 1 組
種　別	弁　　類	個数
冷温水	BV　100	2
	BV（流量調整用）　100	1
	GV（水抜き）　25	1
	電動二方弁装置　100x80	1
	防振継手　100	2
	圧力計	2
	温度計	2
	瞬間流量計　100	1
	空気抜き弁　20	1
加湿給水	GV　20	1
	GV（水抜き）　20	1
	電動弁（AHU付属品）　20	1
	FJ（SUS）　20	1
排水	GV　50	1
	空調機トラップ　50	1
	間接排水口　100x50	1



2階　空調機械室 2　詳細図

AHU-201		x 1 組
種　別	弁　　類	個数
冷温水	BV　65	2
	BV（流量調整用）　65	1
	GV（水抜き）　25	1
	電動二方弁装置　65x50	1
	防振継手　65	2
	圧力計	2
	温度計	2
	瞬間流量計　65	1
	空気抜き弁　20	1
加湿給水	GV　20	1
	GV（水抜き）　20	1
	電動弁（AHU付属品）　20	1
	FJ（SUS）　20	1
排水	GV　50	1
	空調機トラップ　50	1
	間接排水口　100x50	1



1階　熱源機械室　詳細図

HCHS-1		x 1組
種　別	弁　　類	個数
冷温水	BV　100	4
	BV　125	1
	BV（予備）　125	1
	GV（水抜き）　25	1
	温度計（ヘッダー付属品）	1
	圧力計（ヘッダー付属品）	1
排水	間接排水口　100x50	1
	GV　50	1

HCHS-2		x 1組
種　別	弁　　類	個数
冷温水	BV　100	4
	BV　150	2
	BV（予備）　150	1
	GV（水抜き）　25	1
	温度計（ヘッダー付属品）	1
	圧力計（ヘッダー付属品）	1
排水	間接排水口　100x50	1
	GV　50	1

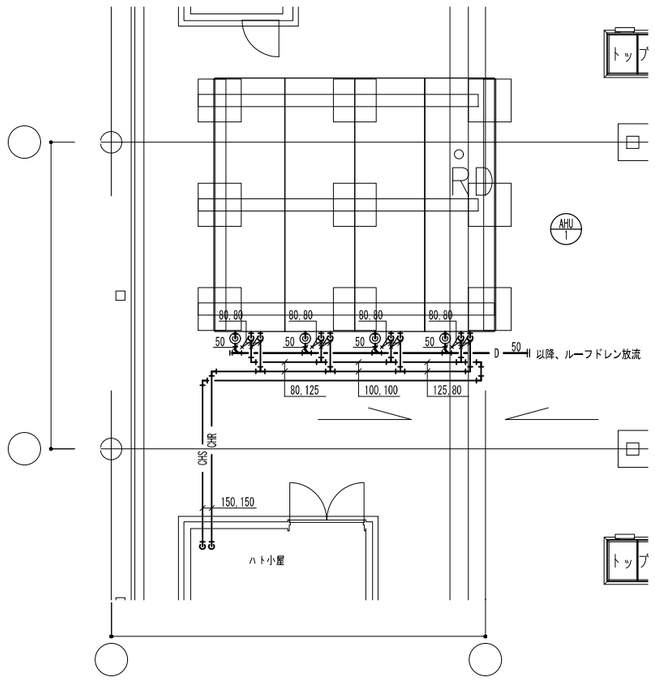
HCHR-1		x 1組
種　別	弁　　類	個数
冷温水	GV　25	1
	BV　125	1
	BV　150	2
	BV（予備）　150	1
	GV（水抜き）　25	1
	温度計（ヘッダー付属品）	1
排水	圧力計（ヘッダー付属品）	1
	間接排水口　100x50	1
	GV　50	1

PCH-1		x3組
種　別	弁　　類	個数
冷温水	BV　100	2
	GV（水抜き）　25	1
	CV　100	1
	防振継手　100	2
	圧力計（ポンプ付属品）	2
排水	間接排水口　100x50	1

AHU-202		x 1 組
種　別	弁　　類	個数
冷温水	BV　65	2
	BV（流量調整用）　65	1
	GV（水抜き）　25	1
	電動二方弁装置　65x50	1
	防振継手　65	2
	圧力計	2
	温度計	2
	瞬間流量計　65	1
	空気抜き弁　20	1
加湿給水	GV　20	1
	GV（水抜き）　20	1
	電動弁（AHU付属品）　20	1
	FJ（SUS）　20	1
排水	GV　50	1
	空調機トラップ　50	1
	間接排水口　100x50	1

TEX-1		x 1組
種　別	弁　　類	個数
膨張	圧力計（膨張タンク付属）	1
	GV　25	1
補給水	GV　25	1
排水	GV（水抜き）　25	1
	間接排水口　100x50	1

TWPU-1		x 1組
種　別	弁　　類	個数
冷温水	GV　25	1
	FJ　25	1
	CV　25	1
	防振継手　25	1
排水	間接排水口　100x50	1



AHP-1		x4組
種　別	弁　　類	個数
冷温水	BV　80	2
	GV（水抜き）　25	2
	防振継手　80	2
	Y型ストレーナー80	1
	圧力計	2
	温度計	2
	瞬間流量計　80	1
排水	間接排水口　100x50	1

※屋上コロガシドレン管は白ガス管とする。

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴	完成図作成（受注者名）	完成図承諾	法適合確認票	法適合確認票	製作日	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約コード	図面番号	管理建築士
ver.20221201	日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○　○○ 担当者 ○○　○○	日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○　○○ 担当者 ○○　○○	構造設計一級建築士 山田　和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田　和生 証交付番号 第11279号	設備設計一級建築士 ○○　○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○　○○ 証交付番号 第○○○○号	2024.03 ファイル名 ○○○○○	一級建築士 大臣登録第280701号 西　重隆 日付 2024.03	一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊　正也	（仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 空調配管設備　詳細図	108557−02 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	MA−09	一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

制気口リスト

階	室名	系統	種別	指定色塗装	吹出口・吸込口 型番	風量 m3/h	個数	合計風量 m3/h	有効開口率 %	面風速 m/s	BOXサイズ (W x L x H)	室内貼25mm	室内貼50mm	結露防止 樹脂カバー	結露防止 電気ヒーター	フィルター付	備考
1	選手用更衣室 1	FS-1-1	OA		VHS 350 x 350	550	1	550	70%	2.0	550 x 550 x 500 H	○				○	
1	選手用更衣室 1	FE-1-1	EA		HS 150 x 150	92	6	550	70%	2.5	350 x 350 x 400 H						
1	選手用更衣室 2	FS-1-2	OA		VHS 350 x 350	550	1	550	70%	2.0	550 x 550 x 500 H	○				○	
1	選手用更衣室 2	FE-1-2	EA		HS 150 x 150	92	6	550	70%	2.5	350 x 350 x 400 H						
1	審判更衣室1	-	PASS		VHS 200 x 200	150	1	150	70%	1.5	400 x 400 x 400 H	○					
1	審判更衣室2	-	PASS		VHS 200 x 200	150	1	150	70%	1.5	400 x 400 x 400 H	○					
1	消火ポンプ室	FE-1-5	EA		HS 200 x 200	250	1	250	70%	2.5	400 x 400 x 400 H						
1	消火ポンプ室	-	PASS		VHS 300 x 300	250	1	250	70%	1.5	500 x 500 x 400 H	○					
1	更衣室（女）	FE-1-6	EA		HS 200 x 200	175	2	350	70%	2.5	400 x 400 x 400 H						
1	更衣室（女）	-	PASS		VHS 350 x 350	350	1	350	70%	1.5	550 x 550 x 400 H	○					
1	MWC	FE-1-7	EA		HS 150 x 150	121	7	850	70%	2.5	350 x 350 x 400 H						
1	WWC	FE-1-8	EA		HS 150 x 150	121	7	850	70%	2.5	350 x 350 x 400 H						
1	HCWC	FE-1-9	EA		HS 200 x 200	200	1	200	70%	2.5	400 x 400 x 400 H						
1	更衣室（男）	FE-1-10	EA		HS 200 x 200	175	2	350	70%	2.5	400 x 400 x 400 H						
1	更衣室（男）	-	PASS		VHS 350 x 350	350	1	350	70%	1.5	550 x 550 x 400 H	○					
1	清掃員控室	FE-1-11	EA		HS 200 x 200	200	1	200	70%	2.5	400 x 400 x 400 H						
1	清掃員控室	-	PASS		VHS 200 x 200	150	1	150	70%	1.5	400 x 400 x 400 H	○					
1	多目的室（運営）	HEX-1-3	SA		VHS 250 x 250	250	2	500	70%	2.0	450 x 450 x 400 H	○					
1	多目的室（運営）	HEX-1-3	RA		HS 200 x 200	250	2	500	70%	2.5	400 x 400 x 400 H						
1	多目的室（ﾄﾞｰﾋﾞﾝｸﾞ）	HEX-1-4	SA		VHS 250 x 250	225	2	450	70%	2.0	450 x 450 x 400 H	○					
1	多目的室（ﾄﾞｰﾋﾞﾝｸﾞ）	HEX-1-4	RA		HS 200 x 200	225	2	450	70%	2.5	400 x 400 x 400 H						
1	多目的室	HEX-1-5	SA		VHS 250 x 250	225	2	450	70%	2.0	450 x 450 x 400 H	○					
1	多目的室	HEX-1-5	RA		HS 200 x 200	225	2	450	70%	2.5	400 x 400 x 400 H						
1	多目的室（記者･TV）	HEX-1-6	SA		VHS 250 x 250	225	2	450	70%	2.0	450 x 450 x 400 H	○					
1	多目的室（記者･TV）	HEX-1-6	RA		HS 200 x 200	225	2	450	70%	2.5	400 x 400 x 400 H						
1	会議室（記者会見）	HEX-1-7	SA		VHS 250 x 250	225	2	450	70%	2.0	450 x 450 x 400 H	○					
1	会議室（記者会見）	HEX-1-7	RA		HS 200 x 200	225	2	450	70%	2.5	400 x 400 x 400 H						
1	事務室	HEX-1-8	SA		VHS 200 x 200	125	2	250	70%	2.0	400 x 400 x 400 H	○					
1	事務室	HEX-1-8	RA		HS 150 x 150	125	2	250	70%	2.5	350 x 350 x 400 H						
1	器具庫	FS-1-3	OA		VHS 450 x 450	975	4	3,900	70%	2.0	650 x 650 x 500 H	○				○	
1	器具庫	FE-1-13	EA		HS 400 x 400	975	4	3,900	70%	2.5	600 x 600 x 500 H						
1	熱源機械室	FS-1-4	OA		VHS 350 x 350	575	2	1,150	70%	2.0	550 x 550 x 500 H	○				○	
1	熱源機械室	FE-1-4	EA		HS 350 x 350	575	2	1,150	70%	2.5	550 x 550 x 500 H						
1	前室1	EHP-6-1	SOA		VHS 400 x 400	788	2	1,575	70%	2.0	600 x 600 x 500 H	○					
1	前室2	EHP-6-1	SOA		VHS 400 x 400	788	2	1,575	70%	2.0	600 x 600 x 500 H	○					
1	廊下2	EHP-1-1	SA	○	VHS 250 x 250	250	2	500	70%	2.0	450 x 450 x 400 H	○					
1	エントランスホール	EHP-1-1	SA	○	BL- D 2000 L	500	8	4,000	-	2.5	2,200 x 2,200 x 500 H	○					
1	エントランスホール	EHP-1-1	RA	○	HS 600 x 200	750	6	4,500	70%	2.5	800 x 400 x 500 H	○					
1	空調機械室1	FE-1-16	EA		金網 300 x 300	1,300	1	1,300	70%	2.5	- x - x - H						
1	空調機械室1	-	OA		金網 300 x 300	1,300	1	1,300	70%	2.0	- x - x - H						
1	空調機械室2	FE-1-17	EA		金網 300 x 300	1,300	1	1,300	70%	2.5	- x - x - H						
1	空調機械室2	-	OA		金網 300 x 300	1,300	1	1,300	70%	2.0	- x - x - H						

※SA吹出口制気口は結露防止型とする。

階	室名	系統	種別	指定色塗装	吹出口・吸込口 型番	風量 m3/h	個数	合計風量 m3/h	有効開口率 %	面風速 m/s	BOXサイズ (W x L x H)	室内貼25mm	室内貼50mm	結露防止 樹脂カバー	結露防止 電気ヒーター	フィルター付	備考
2	トレーニング室	HEX-2-1	SA	○	VHS 300 x 300	350	6	2,100	70%	2.0	500 x 500 x 400 H	○					
2	トレーニング室	HEX-2-1	RA	○	HS 250 x 250	350	6	2,100	70%	2.5	450 x 450 x 400 H						
2	MWC2	FE-2-1	EA		HS 150 x 150	117	9	1,050	70%	2.5	350 x 350 x 400 H						
2	MWC2	FE-2-2	EA		HS 150 x 150	117	9	1,050	70%	2.5	350 x 350 x 400 H						
2	WWC2	FE-2-3	EA		HS 150 x 150	105	10	1,050	70%	2.5	350 x 350 x 400 H						
2	WWC2	FE-2-4	EA		HS 150 x 150	105	10	1,050	70%	2.5	350 x 350 x 400 H						
2	HCWC	FE-2-5	EA		HS 200 x 200	200	1	200	70%	2.5	400 x 400 x 400 H						
2	前室2	EHP-6-1	SOA	○	VHS 400 x 400	788	4	3,150	70%	2.0	600 x 600 x 500 H	○					
2	廊下2	EHP-1-2	SA	○	VHS 250 x 250	250	2	500	70%	2.0	450 x 450 x 400 H	○					
2	ホワイエ	EHP-1-2	SA	○	BL- D 2000 L	500	2	1,000	-	2.5	2,200 x 2,200 x 500 H	○					
2	ホワイエ	EHP-1-2	SA	○	BL- D 1500 L	375	8	3,000	-	2.5	1,700 x 1,700 x 400 H	○					
2	ホワイエ	EHP-1-2	RA	○	HS 600 x 200	750	6	4,500	70%	2.5	800 x 400 x 500 H						
2	立見席2・通路2	EHP-7-1	SA	○	VHS 300 x 250	495	20	9,900	70%	2.0	500 x 450 x 500 H	○					
2	立見席2・通路2	EHP-7-1	SA	○	BL- D 1500 L	450	2	900	-	2.5	1,700 x 1,700 x 500 H	○					
2	立見席2・通路2	EHP-7-1	SA	○	BL- D 1250 L	270	4	1,080	-	2.5	1,450 x 1,450 x 400 H	○					
2	立見席2・通路2	EHP-7-1	RA	○	HS 400 x 400	990	12	11,880	70%	2.5	600 x 600 x 500 H						壁付
2	立見席1・通路1	EHP-8-1	SA	○	VHS 300 x 250	495	20	9,900	70%	2.0	500 x 450 x 500 H	○					
2	立見席1・通路1	EHP-8-1	SA	○	BL- D 1500 L	450	2	900	-	2.5	1,700 x 1,700 x 500 H	○					
2	立見席1・通路1	EHP-8-1	SA	○	BL- D 1250 L	270	4	1,080	-	2.5	1,450 x 1,450 x 400 H	○					
2	立見席1・通路1	EHP-8-1	RA	○	HS 400 x 400	990	12	11,880	70%	2.5	600 x 600 x 500 H						壁付
2	客席	AHU-201	SA		VC 200φ	116	60	6,980			- x - x - H						8mmSUSメッシュ
2	客席	AHU-202	SA		VC 200φ	116	60	6,980			- x - x - H						8mmSUSメッシュ

※SA吹出口制気口は結露防止型とする。

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承諾
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認願
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認願
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

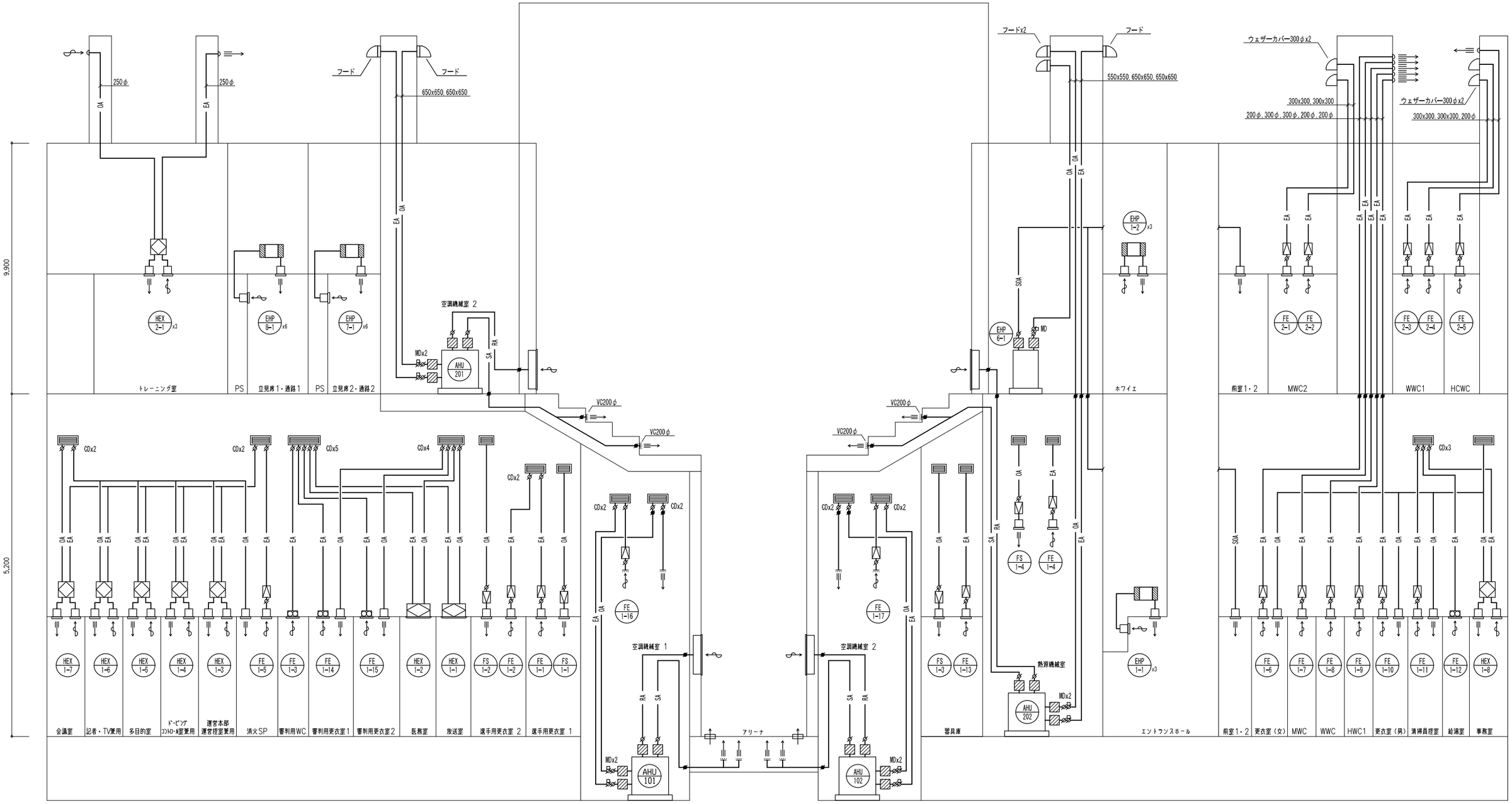
代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邊 正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事
業務契約コード 108557-02
図面名称 空調ダクト設備 制気口リスト
縮尺 A1:- A3:-

図面番号 MA-10

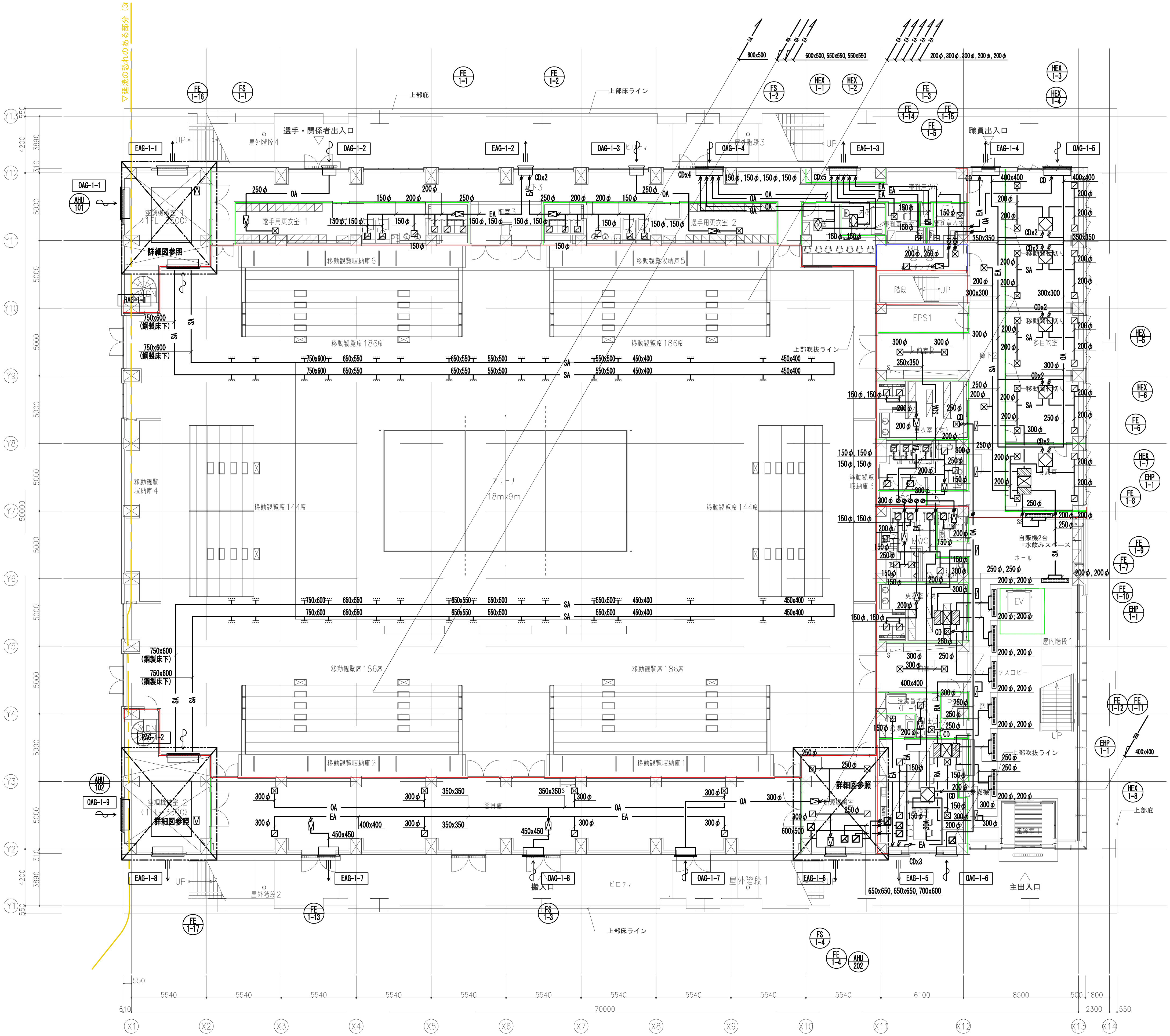
管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



注記
1. 特記なき ⌀ はVDを示す。
2. 特記なき ⌀ はFDを示す。

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

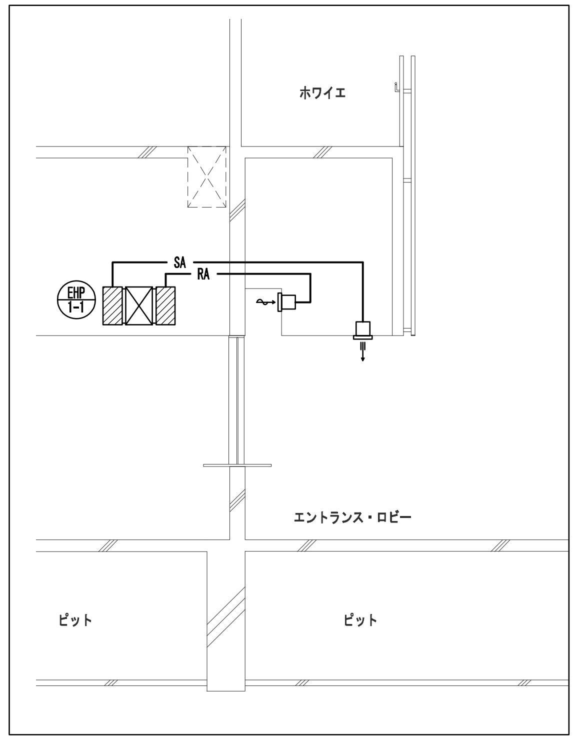
履歴	完成図作成（受注者名）	完成図承認	法適合確認欄	設適合確認欄	製作日	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約コード	図面番号	管理建築士
ver.20221201	日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○○号	2024.03 ファイル名 ○○○○○	一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	（仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 空調ダクト設備 系統図 縮尺 A1:N.S A3:N.S	108557-02	MA-11	一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



ガラリチャンバーリスト

記号	種類	風量 (CMH)	個数	有効面積 (m²)	実面積 (m²)	板厚	ガラリチャンバー	備考
OAG-1-1	OA	25,520	1	2.37	7.08	1.6t	2,500 x 800 x 2,700 H	
OAG-1-2	OA	550	1	0.05	0.16	0.6t	700 x 500 x 300 H	
OAG-1-3	OA	550	1	0.05	0.16	0.6t	700 x 500 x 300 H	
OAG-1-4	OA	550	1	0.05	0.16	1.0t	1,500 x 500 x 300 H	
OAG-1-5	OA	2,700	1	0.25	0.75	1.0t	1,650 x 500 x 460 H	
OAG-1-6	OA	1,150	1	0.11	0.32	0.6t	600 x 500 x 600 H	
OAG-1-7	OA	1,150	1	0.11	0.32	0.8t	500 x 500 x 800 H	
OAG-1-8	OA	3,900	1	0.36	1.09	0.8t	1,400 x 500 x 800 H	
OAG-1-9	OA	25,520	1	2.37	7.08	1.6t	2,500 x 800 x 2,700 H	
RAG-1-1	RA	25,520	1	2.37	7.08	1.6t	2,500 x 800 x 2,700 H	
RAG-1-2	RA	25,520	1	2.37	7.08	1.6t	2,500 x 800 x 2,700 H	
EAG-1-1	EA	25,520	1	2.37	7.08	1.2t	2,500 x 800 x 2,700 H	
EAG-1-2	EA	1,100	1	0.10	0.31	0.8t	1,200 x 500 x 300 H	
EAG-1-3	EA	650	1	0.06	0.18	1.0t	1,500 x 500 x 300 H	
EAG-1-4	EA	2,700	1	0.25	0.75	1.0t	1,650 x 500 x 460 H	
EAG-1-5	EA	550	1	0.05	0.16	0.6t	600 x 500 x 600 H	
EAG-1-6	EA	1,150	1	0.11	0.32	1.0t	1,500 x 500 x 500 H	
EAG-1-7	EA	3,900	1	0.36	1.09	0.8t	1,400 x 500 x 800 H	
EAG-1-8	EA	25,520	1	2.37	7.08	1.2t	2,500 x 500 x 2,700 H	

OAガラリ開口率：0.3面風速： 3 m/s
EAガラリ開口率：0.3面風速： 3 m/s
RAガラリ開口率：0.3面風速： 3 m/s



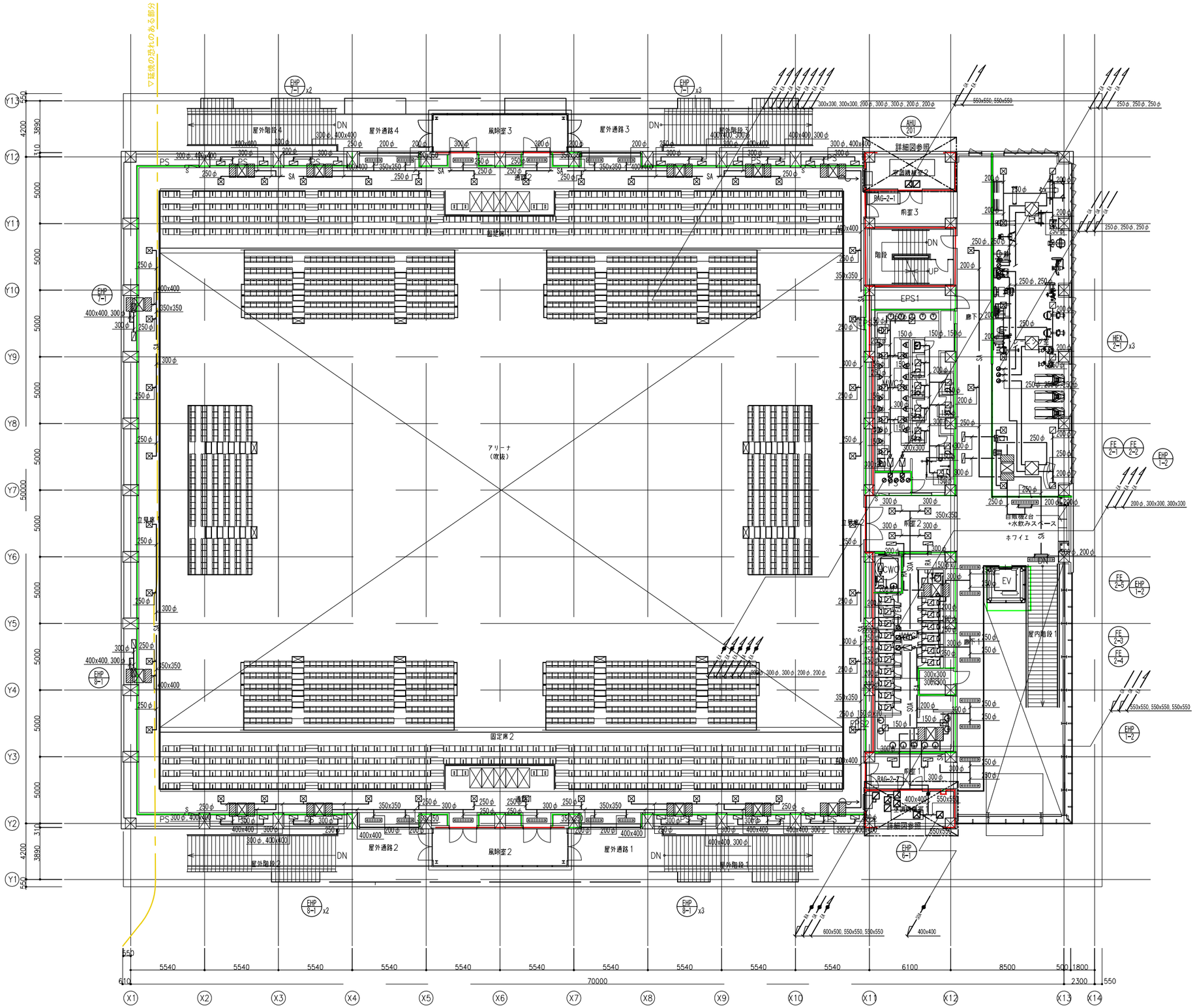
空調機 要領図 N/S

凡例

(赤線)	防火区画
(緑線)	防煙区画
(黄線)	延焼の恐れのある部分
(青線)	消防法施行規則 第12条1項四号(二) (不燃)(防火設備)

注記
1. 特記無き ∅ はVDを示す。
2. 特記無き ∅ はFDを示す。

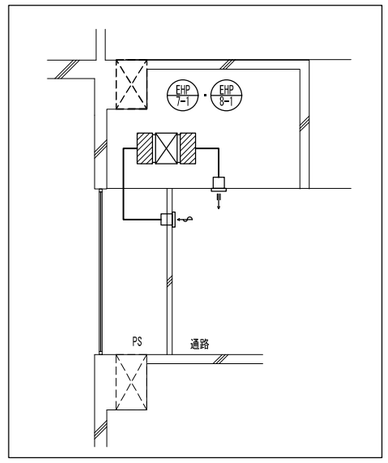
石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.
履歴 ver.20221201
完成図作成 (受注者名) 日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○
完成図承諾 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○
法適合確認欄 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号
法適合確認欄 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号
製作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○
代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03
設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邉 正也
業務名称 (仮称)福智町総合体育館新築工事
業務契約コード 108557-02
図面名称 空調ダクト設備 1階平面図
縮尺 A1:1/150 A3:1/300
図面番号 MA-12
管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



ガラリチャンバーリスト

記号	種類	風量 (CMH)	個数	有効面積 (m²)	実面積 (m²)	板厚	ガラリチャンバー	備考
RAG-2-1	RA	6,980	1	0.65	1.95	1.6t	1,400 x 500 x 1,600 H	
RAG-2-2	RA	6,980	1	0.65	1.95	1.6t	1,400 x 500 x 1,600 H	

OAガラリ開口率：0.3面風速：3 m/s
EAガラリ開口率：0.3面風速：3 m/s



空調機 要領図 N/S

凡例

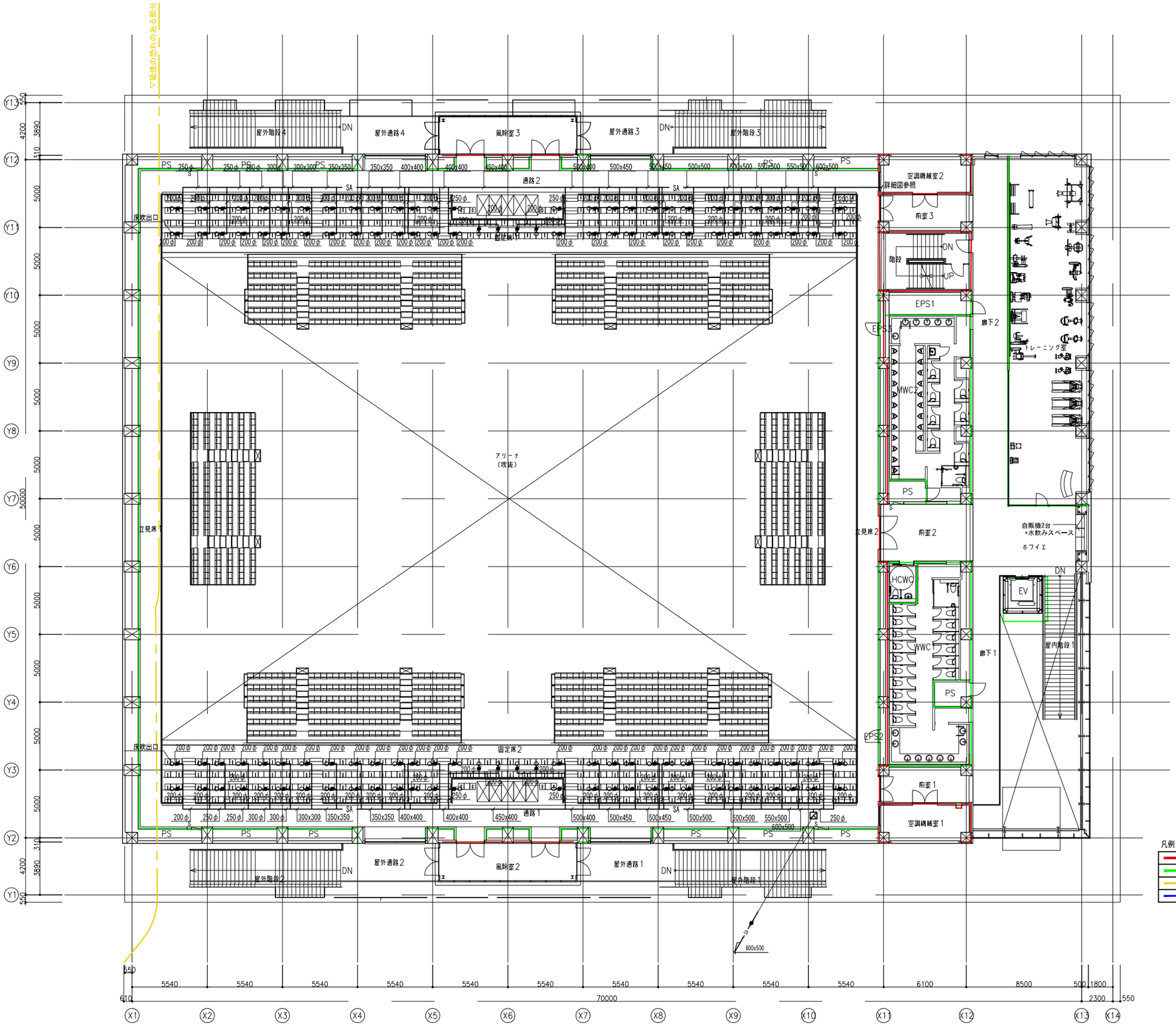
	防火区画
	防煙区画
	延焼の恐れのある部分
	消防法施行規則 第12条1項四号(二) (不燃)(防火設備)

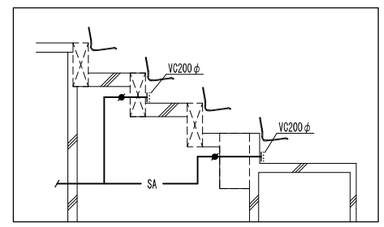
注記
1. 特記無き ⌀ はVDを示す。
2. 特記無き ● はFDを示す。
3. ※ は以降ダクト設備2階見下平面図を示す。

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

ver.20221201

履歴	完成図作成（受注者名）	完成図承認	法適合確認書	設適合確認書	製作日	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約コード	図面番号	管理建築士
	日付 ○○.○○.○○	日付 ○○.○○.○○	構造設計一級建築士 山田 和生	設備設計一級建築士 ○○ ○○	2024.03	一級建築士	一級建築士	（仮称）福智町総合体育館新築工事	108557-02	MA-13	一級建築士
	監理技術者 ○○ ○○	監理者 ○○ ○○	証交付番号 第11279号	証交付番号 第○○○○号	ファイル名 ○○○○○	大臣登録第280701号 西 重隆	大臣登録第365367号 三田井知希	図面名称 空調ダクト設備 2階平面図	縮尺 A1:1/150 A3:1/300		大臣登録第280701号 西重隆
	担当者 ○○ ○○	担当者 ○○ ○○	本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	日付 2024.03		担当者 山邊 正也				
			構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号							





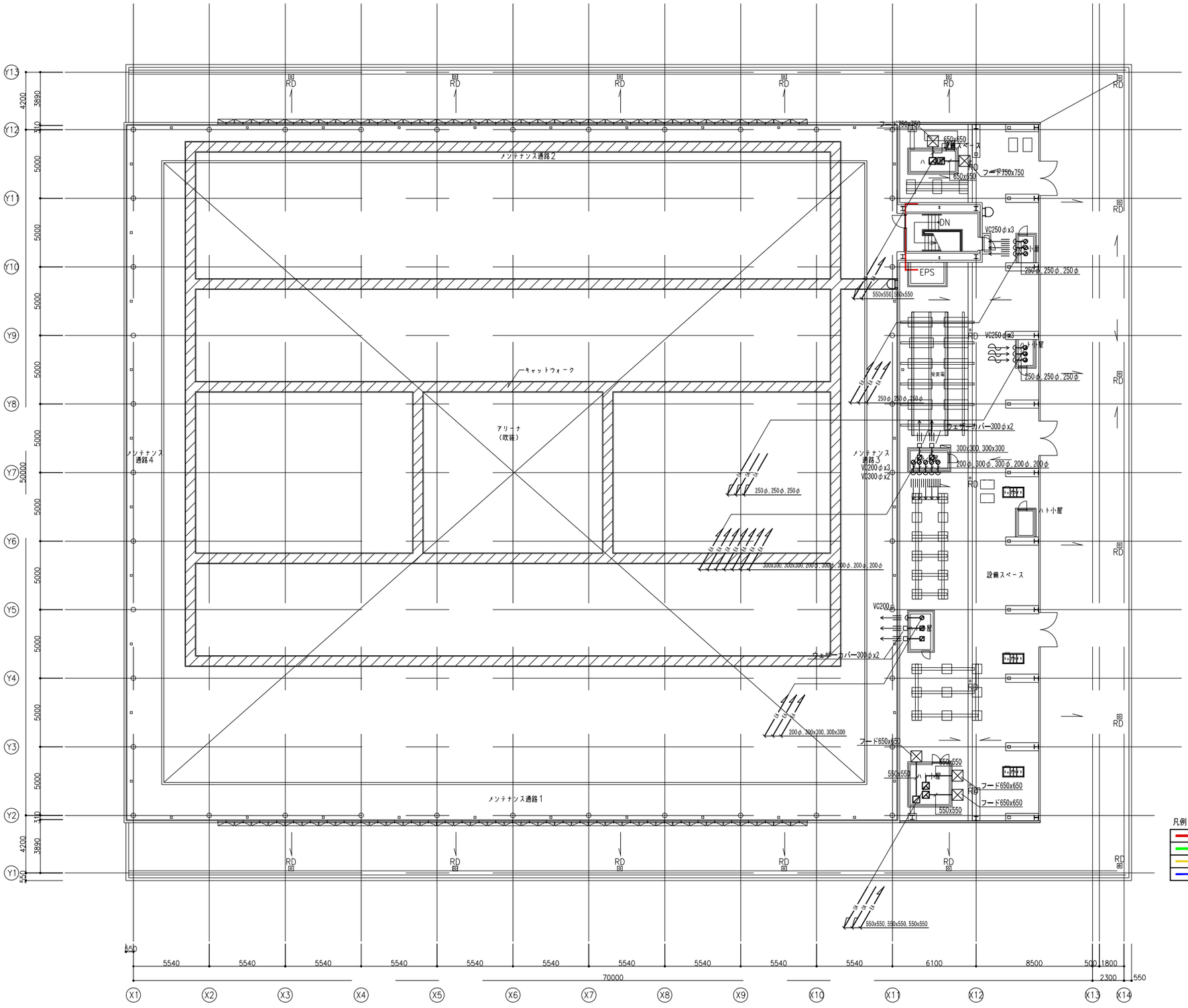
空調機 要領図 N/S

凡例

	防火区画
	防煙区画
	延焼の恐れのある部分
	消防法施行規則　第12条1項四号(二)　(不燃)(防火設備)

注記
1. 特記無き ⌀ はVDを示す。
2. 特記無き ● はFDを示す。
3. ※ は以降ダクト設備2階平面図を示す。

石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	履歴 ver.20221201	完成図作成（受注者名） 日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認書 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	法適合確認書 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	製作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 空調ダクト設備 2階見下げ平面図	業務契約コード 108557-02 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図面番号 MA-14	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

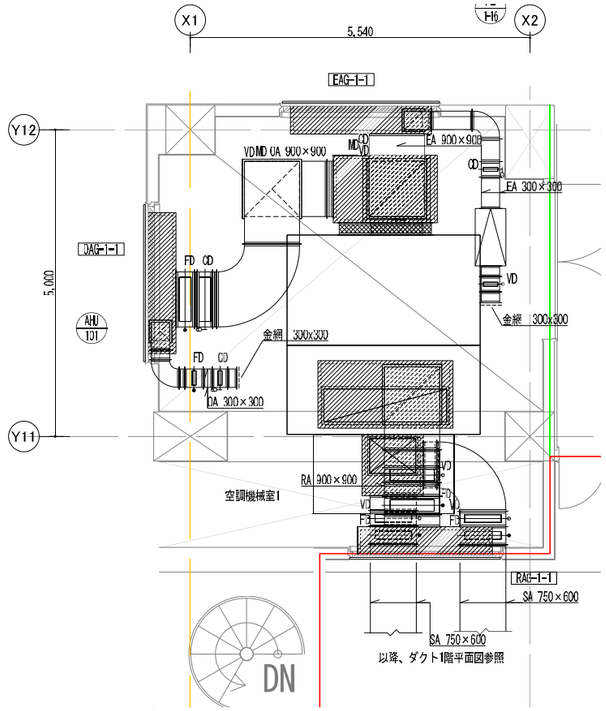


凡例

	防火区画
	防煙区画
	延焼の恐れのある部分
	消防法施行規則　第12条1項四号(二)　(不燃)(防火設備)

注記
1.特記無き ⌀ はVDを示す。
2.特記無き ● はFDを示す。

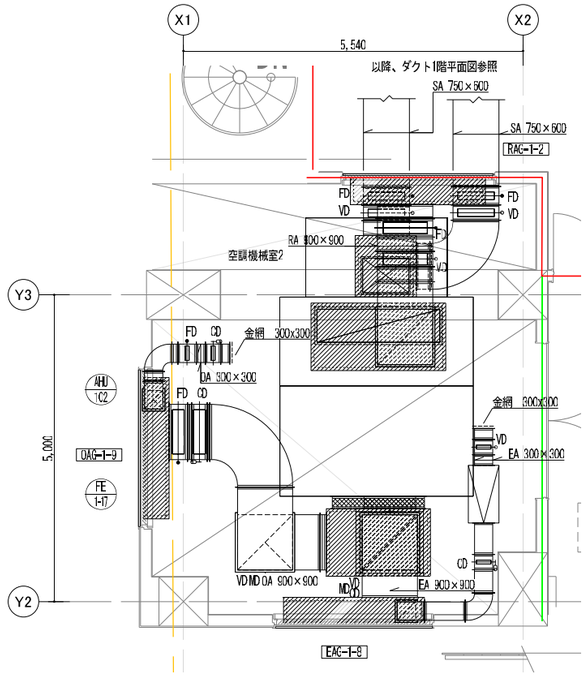
石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	履歴 ver.20221201	完成図作成（成注者名） 日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承諾 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	法適合確認欄 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	製作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事 業務契約コード 108557-02 図面名称 空調ダクト設備 R階平面図 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図面番号 MA-15	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



1F 空調機械室1

チャンバーリスト

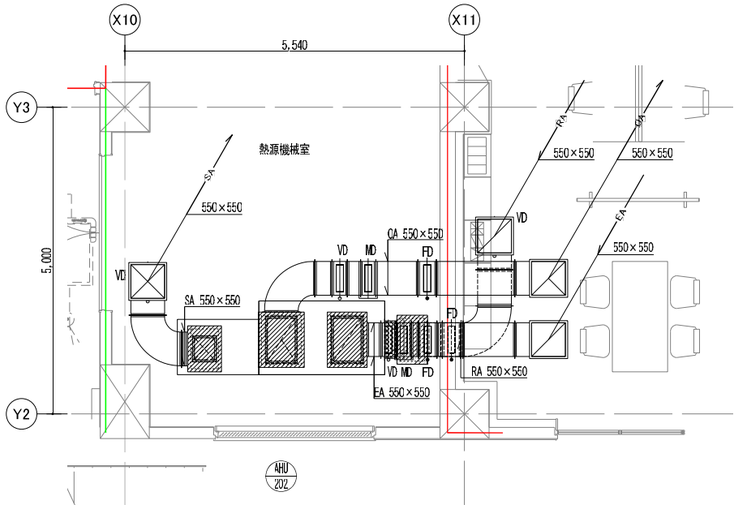
種類	個数	系統	チャンバーサイズ	内貼り
SA	1	AHU-101	1,000 x 1,000 x 800H	GW50t
RA	1	AHU-101	2,200 x 1,100 x 800H	GW50t
OA	1	AHU-101	1,700 x 1,100 x 1,000H	GW50t
EA	1	AHU-101	1,100 x 1,100 x 1,100H	



1F 空調機械室2

チャンバーリスト

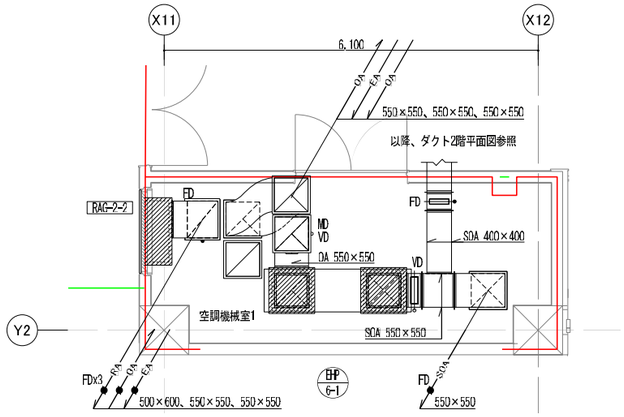
種類	個数	系統	チャンバーサイズ	内貼り
SA	1	AHU-102	1,000 x 1,000 x 800H	GW50t
RA	1	AHU-102	2,200 x 1,100 x 800H	GW50t
OA	1	AHU-102	1,700 x 1,100 x 1,000H	GW50t
EA	1	AHU-102	1,100 x 1,100 x 1,100H	



1F 熱源機械室

チャンバーリスト

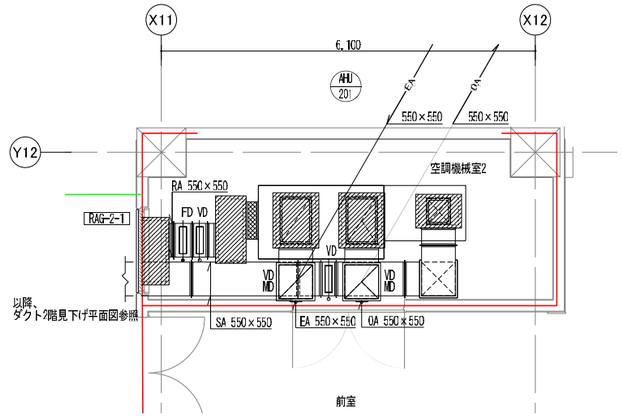
種類	個数	系統	チャンバーサイズ	内貼り
SA	1	AHU-202	550 x 750 x 750H	GW50t
RA	1	AHU-202	550 x 800 x 800H	GW50t
OA	1	AHU-202	750 x 900 x 750H	GW50t
EA	1	AHU-202	550 x 900 x 750H	



2F 空調機械室1

チャンバーリスト

種類	個数	系統	チャンバーサイズ	内貼り
SOA	1	EHP-6-1	750 x 750 x 750H	GW50t
OA	1	EHP-6-1	750 x 750 x 750H	GW50t



2F 空調機械室2

チャンバーリスト

種類	個数	系統	チャンバーサイズ	内貼り
SA	1	AHU-201	750 x 550 x 750H	GW50t
RA	1	AHU-201	500 x 1,100 x 800H	GW50t
OA	1	AHU-201	750 x 900 x 750H	GW50t
EA	1	AHU-201	750 x 900 x 750H	

履歴

ver.2022.1201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承諾
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

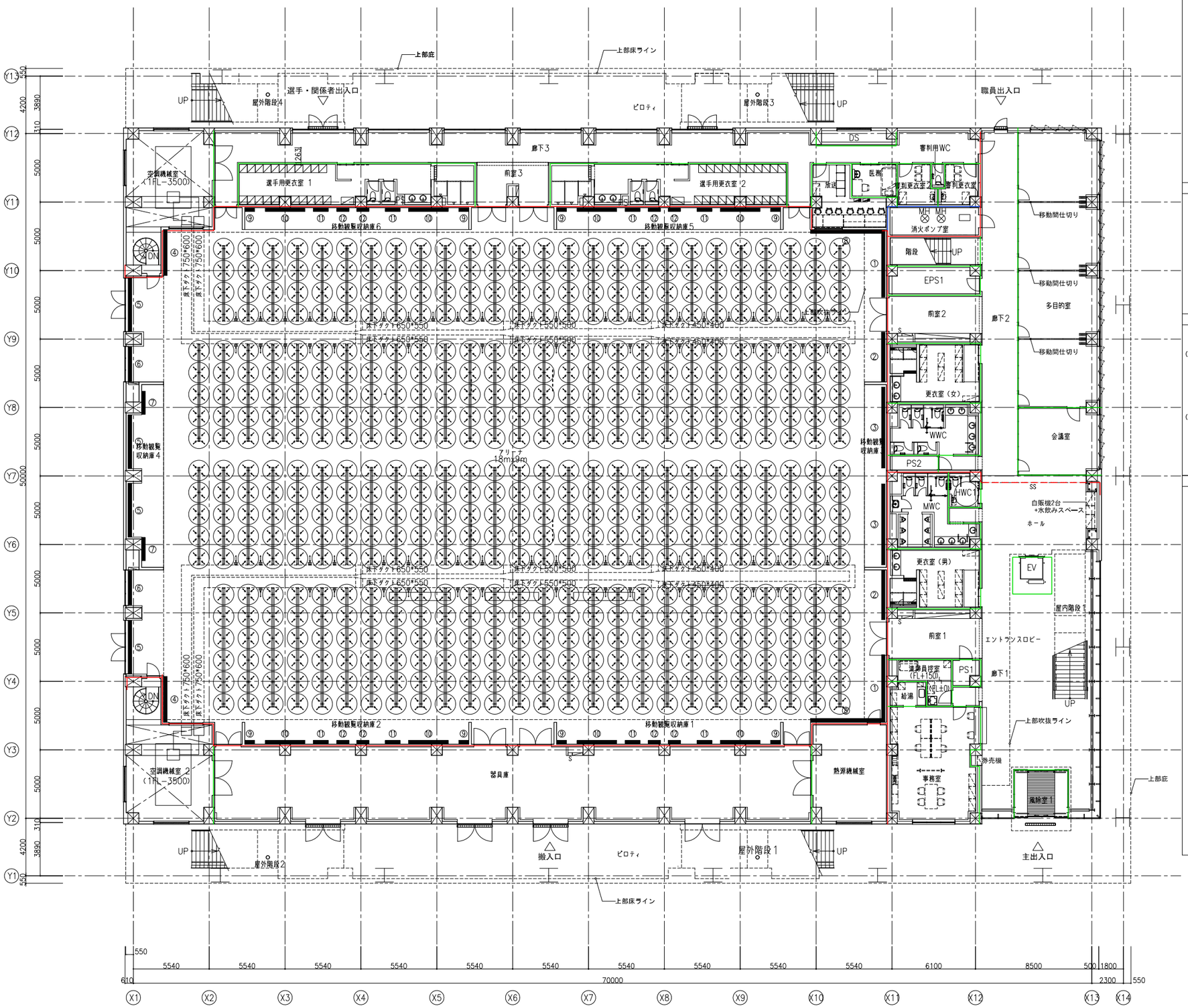
代表設計者 一級建築士 大臣登録第28701号 西 重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第36567号 三田井知希
担当者 山邉 正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事
業務契約コード 108557-02
図面名称 空調ダクト設備 詳細図
縮尺 A1:1/50 A3:1/100

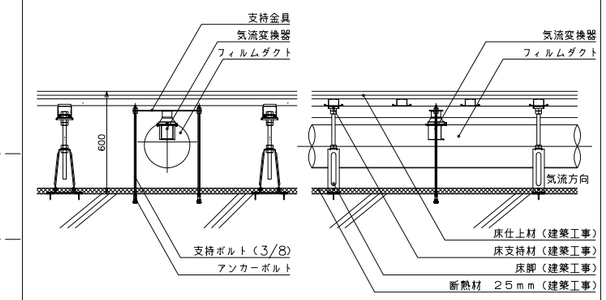
図面番号 MA-16

管理建築士 一級建築士 大臣登録第28701号 西重隆



1階平面図

① 床断面詳細図　参考図



② 器具リスト

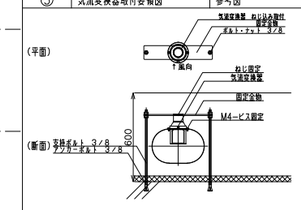
気流変換器リスト

設置場所	サイズ	風量／個	全風量	数量
アリーナ	129H×68φ×42φ	45 CMH	23,850 CMH	530

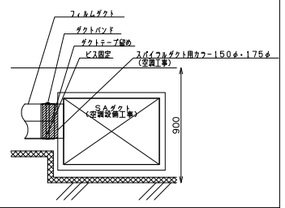
床内開放リスト

設置場所	サイズ	風量／個	全風量	数量
アリーナ	200φ	388 CMH	27,150 CMH	70

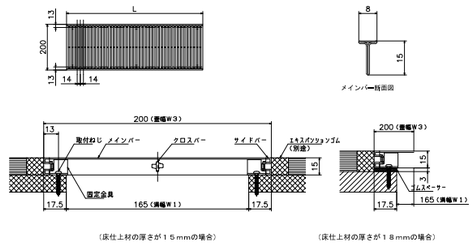
③ 気流変換器取付要領図　参考図



④ フィルムダクト取出し要領図　参考図



⑤ 床吹出口　建築工事　参考図



床吹出口リスト　　開口率＝41%、面速1.5m/s以下

凡例	サイズ W寸法	サイズ L寸法	風量／個	数量	風量
①	200	4900	2190 CMH	2	4,380 CMH
②	200	3600	1610 CMH	2	3,220 CMH
③	200	5900	2630 CMH	2	5,260 CMH
④	200	3300	1470 CMH	2	2,940 CMH
⑤	200	3900	1740 CMH	4	6,960 CMH
⑥	200	2500	1110 CMH	2	2,220 CMH
⑦	200	1700	760 CMH	2	1,520 CMH
⑧	200	5200	2310 CMH	2	4,620 CMH
⑨	200	700	310 CMH	8	2,480 CMH
⑩	200	2900	1290 CMH	8	10,320 CMH
⑪	200	1100	490 CMH	8	3,920 CMH
⑫	200	900	400 CMH	8	32,00 CMH
計					51,040 CMH

凡　例	
＋	気流変換器
	フィルムダクト
	床吹出口
	床内開放

※フィルムダクト以降を床冷暖房設備工事とする。

※フィルムダクトのサイズは気流変換器設置個数5個までは150φ、6個までは175φとする。

※床吹出口および床吹出口取付工事は建築工事区分とする。

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴	完成図作成（受注者名）	完成図承認	法適合確認欄	法適合確認欄	製作日	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約コード	図面番号	管理建築士
ver.20221201	日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	2024.03 ファイル名 ○○○○○	一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	（仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 床放射設備 1階床下平面図	108557−02 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	MA−17	一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

システム構成図

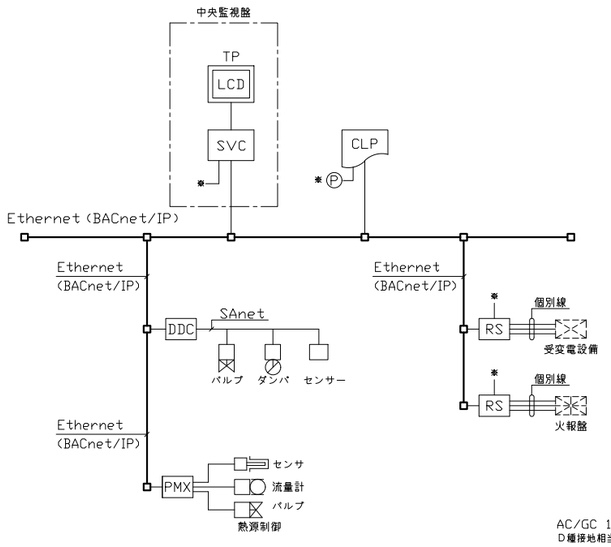
システム概要

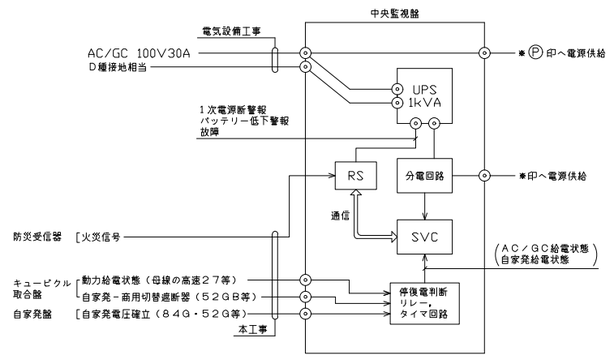
本中央監視装置は、１Ｆ事務室に設置し省力化、省エネルギー化、安全性の確保、快適環境の実現等を目的とした熱源・空調・衛生・受変電・照明・防災設備等の各種機器の総合的、効率的な管理、監視、制御を行う。

システム構築にあたり、構成機器が故障した場合でも他の機器に影響が波及しないよう危険分散を考慮したシステムとする。

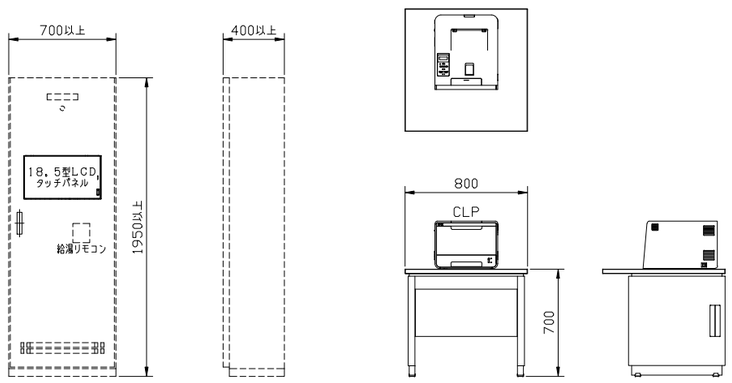
・本システムは、統合コントローラ、個別機器制御コントローラ、及びタッチパネル式液晶ディスプレイにて構築する。

　また、安定性、将来性、セキュリティー性を考慮し、統合コントローラのＯＳはＬＩＮＵＸとする。





中央監視盤　参考姿図



※盤箱体は電気設備工事（総合盤への組込）

中央監視機器仕様

記　号	名　称	概　要	参　考　仕　様
ＬＣＤ／ＴＰ	液晶ディスプレイ タッチパネル	表示の中心となるユニットで、各種のリストやグラフの表示を行う。 又、マルチウィンドウ表示により複数のグラフ，データの同時表示を行う。	電源　：ＤＣ２４Ｖ 表示サイズ　：１８．５型 表示色　：１６７７万色以上 表示文字　：英数文字，カナ，ひらがな，漢字（ＪＩＳ第１，第２水準）， 記号及び、図形 解像度　：１３６６×７６８ドット（標準）
ＣＬＰ	カラーレーザプリンタ	各種データの印字を行う。 １．日報，月報，年報 ２．トレンドデータ ３．各種一覧リスト ４．画面	印字方法　：電子写真方式 印字色　：フルカラー 印字用紙　：Ａ４ 電源　：ＡＣ１００Ｖ±１０％，５０／６０Ｈｚ，１５００ＶＡ 温度条件　：１０～３０℃
ＵＰＳ （簡易型）	無停電電源装置	中央監視装置及び、必要な端末伝送装置に無停電電源を供給する。	入力　：ＡＣ／ＧＣ１００Ｖ１０Ａ 出力　：ＡＣ１００Ｖ１０Ａ バッテリー動作時間：１０分 バッテリー種類　：小型シール鉛蓄電池 給電方式　：常時インバータ方式
Ｅｔｈｅｒｎｅｔ （ＢＡＣｎｅｔ／ＩＰ）		中央監視装置の基幹をなす伝送幹線であり、各種データ伝送を行う。 通信プロトコルはＢＡＣｎｅｔ２０１２（プロトコルレビジョン１４）， ＨＴＴＰＳなど。	通信方式　：Ｅｔｈｅｒｎｅｔ，ＴＣＰ／ＩＰプロトコル群，ＩＰＶ４対応 通信速度　：１００Ｍｂｐｓ，１Ｇｂｐｓ ケーブル仕様　：１００ＢＡＳＥ－Ｔ（カテゴリー５ｅ以上） １００ＢＡＳＥ－ＦＸ １０００ＢＡＳＥ－Ｔ（カテゴリー５ｅ以上） １０００ＢＡＳＥ－ＳＸ（ＧＩマルチモード）又は １０００ＢＡＳＥ－ＬＸ（ＳＭシングルモード） （エコマテリアル）
ＳＶＣ	統合コントローラ	ＰＣ（中央監視端末）のシステム全体の 管理情報（グラフィック画面，ポイント，プログラム等）の表示，設定， 操作を行う為の情報の一元管理を行う。 また、システム全体の管理，定周期でのデータ収集，蓄積，加工及び、下記の 周辺装置への入出力を統括管理する。（２４時間連続運転対応） 各コントローラと伝送を行い、ポイントデータ，スケジュール制御等を管理する。 又、トレンドデータの蓄積を行う。	主処理装置　：６４ビットＣＰＵ 主記憶容量　：２ＧＢ以上 補助記憶装置　：ＳＳＤ等 （システム機能仕様を満たすこと） ＯＳ　：Ｌｉｎｕｘ 最大管理点数　：１０００ポイント 電源　：ＡＣ１００～２４０Ｖ ５０／６０Ｈｚ，６０ＶＡ 画面枚数　：１５枚（参考枚数）
ＲＳ	ジェネラルデータ ギャザリングパネル	中央監視装置とデータ通信を行う。 各監視対象との取合いは個別配線する。	入出力点数　：中央管理点入出力一覧表参照 監視内容　：自動制御計装図参照 電源　：ＡＣ１００～２４０Ｖ，５０／６０Ｈｚ 通信方式 上位レベル　：ＢＡＣｎｅｔ／ＩＰ 下位レベル　：ＢＡＣｎｅｔ　ＭＳ／ＴＰ又はＭｏｄｂｕｓ
ＤＤＣ	ジェネラルコントローラ	各種設備の制御を行う。 中央監視装置とデータ通信を行う。	入出力点数　：中央管理点入出力一覧表参照 制御内容　：自動制御計装図参照 電源　：ＡＣ１００～２４０Ｖ，５０／６０Ｈｚ 通信方式 上位レベル　：ＢＡＣｎｅｔ／ＩＰ 下位レベル　：ＢＡＣｎｅｔ　ＭＳ／ＴＰ又はＭｏｄｂｕｓ
ＰＭＸ	熱源用コントローラ	熱源廻りの制御を行う。 中央監視装置とデータ通信を行う。	入出力点数　：中央管理点入出力一覧表参照 制御内容　：自動制御計装図参照 電源　：ＡＣ１００～２４０Ｖ，５０／６０Ｈｚ 通信方式 上位レベル　：ＢＡＣｎｅｔ／ＩＰ 下位レベル　：ＢＡＣｎｅｔ　ＭＳ／ＴＰ　又は　Ｍｏｄｂｕｓ　又は Ｅｔｈｅｒｎｅｔ（Ｉ／Ｏモジュール用）
ＳＡｎｅｔ	センサー・ アクチュエータ・ ネットワーク	自動制御機器のデータ伝送を行う。	通信速度　：１２００ｂｐｓ ケーブル仕様　：ＣＶＶ２㎟－３Ｃ／ＥＭ－ＣＥＥ２㎟－３Ｃを推奨

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴	完成図作成（受注者名）	完成図承認	法適合確認欄	法適合確認欄	製作日	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約コード	図面番号	管理建築士
ver.20221201	日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○　○○ 担当者 ○○　○○	日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○　○○ 担当者 ○○　○○	構造設計一級建築士 山田　和生 証交付番号 第 11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田　和生 証交付番号 第 11279号	設備設計一級建築士 ○○　○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○　○○ 証交付番号 第○○○○号	2024.03 ファイル名 ○○○○○	一級建築士 大臣登録第280701号 西　重隆 日付 2024.03	一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊　正也	（仮称）福智町総合体育館新築設計業務 図面名称 自動制御設備　中央監視システム（１）	108557−02 縮尺 A1:− A3:−	MA−18	一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

中央監視システム機能表

１．システム基本機能

（１）操作方法
　タッチパネルにより操作を行う。
（２）機器個別発停操作・設定値変更
　グラフィック画面，チャート画面，ログ画面またはポイント一覧画面より管理点を選択して
　機器の発停操作・設定値の変更を行う。
（３）状態監視
　管理点の状態・計測値・計量値の監視を行う。
（４）警報処理
　管理点・システム構成機器の警報発生・復帰の監視を行う。
　また、火災時処理・停復電時処理・電力デマンドといった制御の警報発生・復帰の監視を行う。
　警報発生時は、最新の警報内容を警報通知ウィンドウに表示すると共に、インジケータの点灯表示を行う。
　また、警報レベル（１０段階）に応じてブザー鳴動（音色４種類）を行う。
　もしくは、警報音の代わりにポイント毎に設定した音声メッセージ（８５種類）を鳴動することができる。
　さらに警報時には、警報となった管理点に登録されている対象グラフィックまたはチャートを
　強制的に表示することができる。
（５）サービス外機能
　ＢＡＣｎｅｔデバイスのポイント状態を実際のポイントの状態ではなくユーザーが指定する値に
　変更することができる。
　これにより一時的に警報を抑制したり、任意に設定した値を入力値とし制御を継続することができる。
（６）強制操作機能
　ＢＡＣｎｅｔデバイスのポイント出力について、一般制御からの指令を保留しユーザーが指定する値に
　変更することができる。
　ただし、非常時（火災や停電の際）は火災時制御、停電時制御からの指令を優先とする。
（７）変化蓄積
　定周期スキャンまたは状態変化により前回値から変化した際の時刻とデータを蓄積し、
　関連アプリケーションへ蓄積データを提供する。
　　・ユーティリティペイン履歴表示
　　・データ集計
　　・チャート表示など
（８）自動バックアップ
　統合コントローラの各種設定、蓄積データを毎日、または指定した曜日に、監視用端末に
　自動的にバックアップをする。（ＳＶＣ復旧用）

２．基本画面機能

（１）アプリケーションウィンドウ表示
　アプリケーションウィンドウとして最大３ウィンドウを同時に表示することができる。
　さらに警報時に強制表示するためのウィンドウを１枚表示することができる。
（２）画面スクロール機能
　画面上にすべての情報を表示しきれない場合は、スクロール機能により画面を移動させ
　表示することができる。
（３）画面履歴表示
　ユーザ毎に、現在の監視用ＰＣで閲覧した画面履歴を保持し、該当画面を呼び出すことができる。
（４）ユーザ管理とアクセス権
　管理点や各種機能を運用区分(設備・系統・場所等)に振り分けを行う。
　ユーザＩＤとパスワードを登録し、運用区分に対して操作のアクセス権
　（表示不可／表示のみ／一般レベル／管理レベル／エンジニアリングレベル）を設定できる。
　ユーザ離職時のユーザ無効化忘れを防止するために、ユーザごとに有効期限を設定することができる。
　全ユーザ共通で、パスワードは無期限もしくは有効期間を設定することができる。
　全ユーザ共通で、パスワードに必要な最小入力文字数を設定することができる。
　全ユーザ共通で、パスワードに記号・数字・英大文字・英小文字を１文字以上必要とするかを各々
　設定することができる。
　全ユーザ共通で、パスワードは過去と異なるパスワードにしなければならないかを設定することができる。
　全ユーザ共通で、パスワード認証によるログインに設定回数連続で失敗した場合に、
　ユーザを無効化することができる。
　ユーザごとに、ログイン可能とする曜日や時間帯を制限するために、カレンダやスケジュールによって
　管理点の状態がＡＣＴＩＶＥ状態である場合のみログインを維持することできる。
（５）ポイント一覧表示・詳細表示
　ポイント一覧画面で管理点を一覧表示できる。
　表示された情報は名称、運転状態、警報状態　等によりフィルタリングができる。
　また、任意のポイントをあらかじめグループ化して表示することもできる。
　ポイント詳細画面で発停操作や設定変更ができる。
　重要機器の発停操作時は、通常の発停操作（操作－実行）の他に、確認動作を入れた
　３アクション操作（操作－確認－実行）を可能とする。
　確認時に、任意のメッセージ表示によりオペレータに注意を促すことができる。
（６）デバイス状態監視
　システム構成機器の状態・通信状態を常時監視し、異常時には警報を発する。

３．監視機能（ポイント監視系）

（１）アナログ上下限監視
　計測値が設定された上下限値を超えた時に警報を発生させ、上下限範囲に入った際に警報を復帰する。
　または、計測値と設定値の差が、設定された値を超えた時に警報を発生させる。
　ポイント一覧によって、複数の設定値を一括で変更できる。
　上下限ともに３段階まで設定できる。
（２）活性経過時間
　機器の活性経過時間を監視し、あらかじめ設定された値を超えた機器を一覧形式で表示する。
（３）状態変化回数
　機器の状態変化回数を監視し、あらかじめ設定された値を超えた機器を一覧形式で表示する。
（４）状態継続時限監視
　機器が連続して活性状態となっている時間をカウントし、
　あらかじめ設定された上限値を超えた時に警報を発生させる。

４．監視機能（一覧表示系）

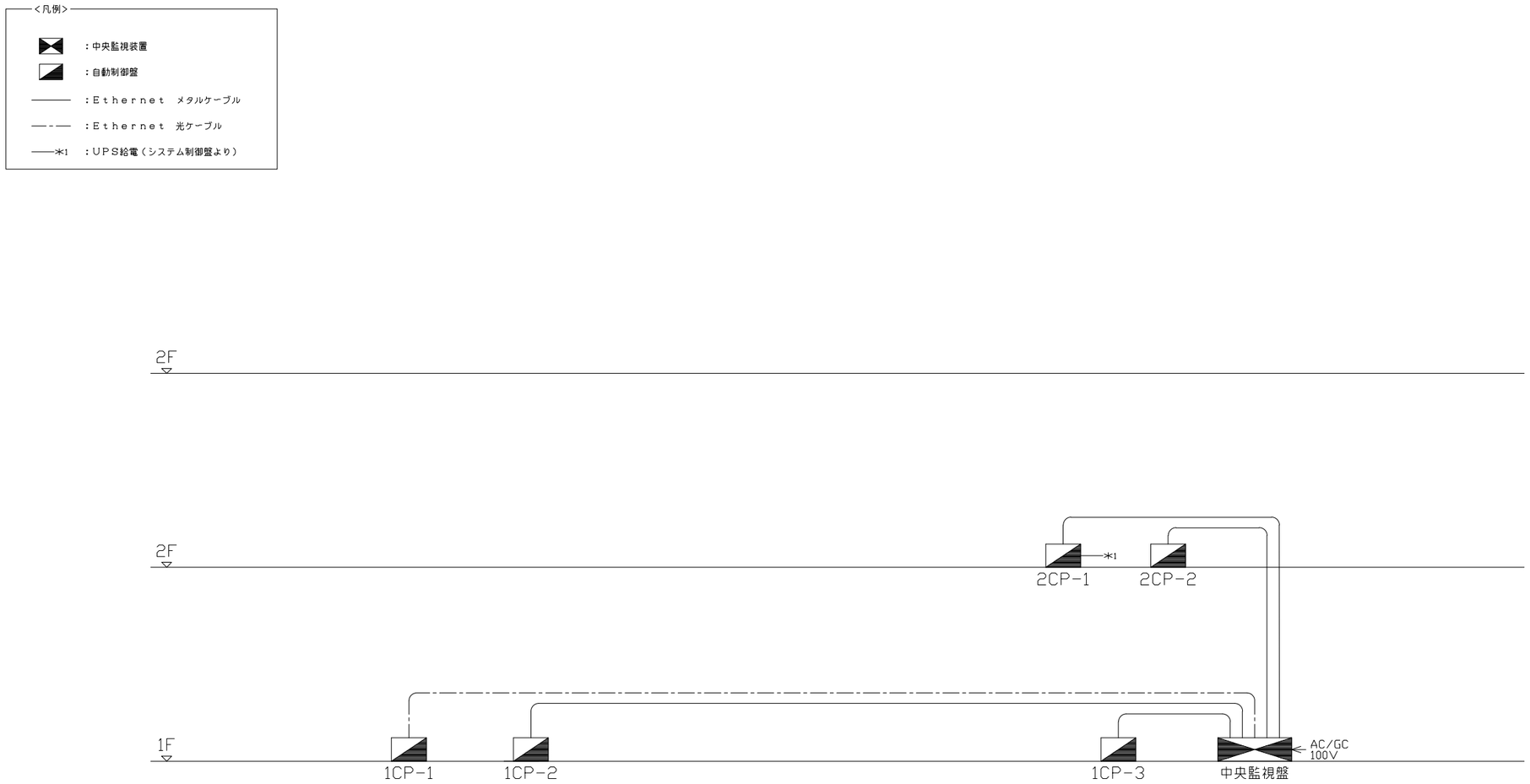
（１）グラフィック画面表示
　建物内の管理点情報を平面図・断面図、または系統図などのグラフィック画面で表示する。
　画面上の管理点のシンボルを選択することで、操作／設定値の変更操作を可能とする。
　複数の管理点を選択し、一括で操作／設定値の変更を可能とする。
　グラフィックに配置されている管理点の一覧を表形式で表示することもできる。
　機器の状態は、状態変化や警報発生時に、シンボルの色変化・形状切換により表示する。
　また、警報発生時、指定されたグラフィック画面を強制的に表示する。
　計測値・計量値は、数値、色変化、メータ等で表示する。
（２）グラフィック編集
　グラフィック画面の編集を可能とする。
　・部屋の間仕切り、部屋名などの変更
　・画面背景色の変更
　・各種シンボルの変更・追加
　・グラフィック画面の新規作成
（３）アナンシエータ表示
　各設備の状態を画面上にアナンシエータ（集合表示灯）形式で表示する。表示は個別情報が見やすい
　拡大モードと一覧性に優れる縮小モードの選択が可能とする。ポイントの状態が一目で判断できるよう、
　ボタンの表示色が変化する。また、アナンシエータ表示灯を選択すると、ポイントの状態が
　ユーティリティペインに表示され、ポイントの発停・設定値変更の操作や状態を確認できる。
　また、ユーザーは自由にグループを作成可能とする。

５．データ管理機能

（１）データ集計
　変化蓄積データから、計測値，積算値，機器の活性経過時間や状態変化回数などの時データ・日データ・
　月データを集計し、一定期間蓄積する。
　データ蓄積期間は次の通りとする。
　・時データ：本日を含む４２８日分（１４ヶ月分）
　・日データ：本月を含む１２０ヶ月分（１０年分）
　・月データ：本年を含む１０年分
（２）チャート
　変化蓄積またはデータ集計にて蓄積されたデータをグラフで表示する。
　各グラフは２期間分を比較表示することができる。
　【時系列グラフ】
　・折れ線グラフ，積み上げ折れ線グラフ：アナログポイント・デジタルポイント（現在値）の
　　変化蓄積データ，時データ，日データ，月データ
　・バーグラフ、積み上げバーグラフ：積算ポイント・デジタルポイント（活性経過時間・状態変化回数）の
　　変化蓄積データ，時データ，日データ，月データ
　・力率グラフ：力率ポイント
　【非時系列グラフ】
　・円グラフ：時データ，日データ，月データ
　・散布図：時データ，日データ
　ＣＳＶ形式のファイルを手動または指定時刻に自動で出力できる。
（３）日週月年報
　データ集計によって集計・蓄積された計測値や積算値を、日週月年報告のＸＬＳＸ形式で表示する。
　・日報：時報データ，日集計データ
　・週報：日報データ，週集計データ
　・月報：日報データ，月集計データ
　・年報：月報データ，年集計データ
　ＯＤＳ／ＣＳＶ／ＸＬＳＸ／ＰＤＦ形式のファイルを手動または自動で出力できる。
（４）日週月年報フォーマット編集
　システムが稼動中であっても、日週月年報の表示フォーマットの編集が行える。
（５）ログ
　警報や状態変化、操作設定などの情報をログとして蓄積・管理する。
　表示中のデータは、任意の条件指定によりフィルタリング，コメント入力ができる。
　ＯＤＳ／ＣＳＶ／ＸＬＳＸ／ＰＤＦ形式のファイルを手動または指定時刻に自動で出力できる。
（６）時系列データ出力
　期間指定でシステム全体が蓄積している収集データ（１分・１０分・３０分データ）と集計をしている
　時・日・月・年データをＣＳＶ形式で手動出力する。

６．制御機能

（１）カレンダ
　カレンダの設定を行う。
　　１１種類の日付種別（祝日・特別日・夏季休暇日・冬季休暇日など）を２年先まで指定できる。
　また、ユーザーによるカレンダ設定の変更を可能とする。
（２）スケジュール
　あらかじめ設定されたスケジュールに従って機器の起動／停止や設定値変更、季節切替を自動で
　行うことができる。
　週間スケジュールは、曜日ごとのスケジュールに対応する。
　優先スケジュールは、最大１１種類の日付種別（祝日・特別日・夏季休暇日・冬季休暇日など）に
　対応するカレンダ情報と週間・優先マスタスケジュールにより、当日を含む７日間の実行スケジュールを
　作成する。実行スケジュール上で起動・停止時刻の変更ができる。
　また、ユーザーによるスケジュール設定の変更を可能とする。
　複数のスケジュールをグループ化し、一覧表示したり、一括設定変更ができる。
（３）数値演算
　システムで監理されている様々な値を利用して数値演算を行い、演算結果を管理点に出力できる。
　また、ユーザーによる設定の変更を可能とする。
（４）条件演算
　管理点の状態変化・警報発生など、特定条件を満たす場合に機器連動や運転組み合わせ、順次投入、
　設定値変更などを自動で行う。
　また、ユーザーによる設定の変更を可能とする。
（５）警報移報
　管理点の代表警報を外部接点にて出力する。
　また、ユーザーによる設定の変更を可能とする。
（６）火災時制御
　火災信号入力時、ブザー鳴動、火災インジケータ点灯表示、ログにより火災発生の通知を行う。
　また、火災信号入力時、空調機等の関連機器を自動的に停止することを可能とする。
　火災時の動作は、他の制御より優先して実行する。
　火災復帰時は、手動操作で火災時制御を解除する。
（７）停電
　商用電源断検出時、ブザー鳴動、停電インジケータを点灯表示する。
　一般制御は実行保留とする。但し、火災時制御は実行できる。
（８）自家発時順序出力
　自家発起動検出時、登録されている機器に対して順序出力を行う。
　また、ユーザーによる制御設定の変更を可能とする。
（９）復電
　商用電源復帰検出時、復電処理を行う。
　発停点は停電前の状態及び、停電中に保留された一般制御出力にあわせて起動／停止を行う。
（１０）復電時順序復帰
　登録されている管理点に対して、予め指定した順序および間隔で復電処理を行う。
　また、ユーザーによる制御設定の変更を可能とする。
（１１）電力デマンド
　受電電力量を積算し、３０分毎のデマンド予測を行う。
　目標電力の超過が予測された時及び、超過した時は、警報を発する。
　取引用デマンドメータとの同期は、外部信号または操作画面により行う。
　デマンド予測が目標電力を超過しないよう負荷の遮断・投入を行う。
　またインバータへのアナログ出力値の指定ができる。
　遮断・投入は、あらかじめ指定されている優先順位（１５レベル）に従う。
　電力デマンド制御の結果を履歴として蓄積し目標値及び、デマンド値を表示する。
　履歴データはＣＳＶ形式でのファイルを手動または自動で出力を可能とする。
　また、ユーザーによる制御設定の変更を可能とする。
（１２）加湿禁止出力
　空調機を衛生的に保つために、空調機を停止する前にあらかじめ加湿を停止し乾燥させる。
　空調機が停止する時刻は、スケジュールプログラムによる停止時刻、および、空調最適起動停止制御による
　停止時刻を判断の対象とできる。また、ユーザーによる設定の変更を可能とする。



石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○　○○
担当者 ○○　○○

完成図承諾
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○　○○
担当者 ○○　○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田　和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田　和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西　重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邉　正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築設計業務
業務契約コード 108557-02
図面名称 自動制御設備　中央監視システム（3）
縮尺 A1:－ A3:－

図面番号 MA-20

管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

中央管理点入出力一覧表（１）

設備記号	名　称	自動制御盤	信号取合先	リモート種別	操作 設定	操作 オンオフ	表示 状態	表示 警報	計測 温度	計測 湿度	計測 その他	計量	備　考
	＜熱源廻り制御＞												
AHP-1	空冷電気式ヒートポンプチラー　発停	2CP-2	AHP-1	RS		1	1						
	空冷電気式ヒートポンプチラー　冷暖切替	2CP-2	AHP-1	RS		1	1						
	空冷電気式ヒートポンプチラー　デマンドレベル信号1～3	2CP-2	AHP-1	RS		3	3						
AHP-1	空冷電気式ヒートポンプチラー　状態・警報	2CP-2	AHP-1	RS			4	4					
	空冷電気式ヒートポンプチラー　出入口温度	2CP-2	－	RS					2				
	冷温水２次ポンプ　群発停	1CP-3	－	PMX		1	1						
PCH-1～3	冷温水２次ポンプ　発停・状態・警報	1CP-3	PCH-1~3INV盤	PMX		3	3	3					
	冷温水２次ポンプ　INV出力値	1CP-3	－	RS				3					
	冷温水２次ポンプ　INV故障	1CP-3	PCH-1~3INV盤	RS				3					
	冷温水２次ポンプ　運転除外	1CP-3	－	PMX		3	3						
	冷温水２次ポンプ　自動／手動	1CP-3	－	PMX		1	1						
	ヘッダー間差圧	1CP-3	－	PMX							1		
	負荷往還温度	1CP-3	－	PMX					2				
	負荷流量　瞬時	1CP-3	－	PMX							1		
	負荷熱量　瞬時	1CP-3	－	PMX							1		
	負荷流量　積算	1CP-3	－	PMX								1	
	負荷熱量　積算	1CP-3	－	PMX								1	
	＜空調機制御＞												
AHU-101	空調機　1階　アリーナ	1CP-1	1M-1	DDC		1	1	1					
	空調機　還気ファン	1CP-1	1M-1	DDC			1	1					
	室内温度	1CP-1	－	DDC					1				
	室内温度設定	1CP-1	－	DDC	1								
	室内湿度	1CP-1	－	DDC						1			
	室内湿度設定	1CP-1	－	DDC	1								
	給気温度	1CP-1	－	DDC					1				
	加湿弁状態	1CP-1	－	DDC			1						
	冷温水弁前後圧	1CP-1	－	DDC							2		
	冷温水弁通過流量	1CP-1	－	DDC							1		
	冷温水弁往還温度	1CP-1	－	DDC					2				
	冷温水弁熱量	1CP-1	－	DDC								1	
	外気冷房制御指令	1CP-1	－	DDC		1	1						
	外気冷房中	1CP-1	－	DDC			1						
	ウォーミングアップ中	1CP-1	－	DDC			1						
	CO2濃度	1CP-1	－	DDC							1		
	CO2制御指令	1CP-1	－	DDC		1	1						
	フィルター警報	1CP-1	－	DDC				1					
	凍結防止制御中	1CP-1	－	DDC				1					
	空調機内全熱交換器後温度	1CP-1	－	DDC					1				
	冷温水コイル出口温度	1CP-1	－	DDC					1				
AHU-102	空調機　1階　アリーナ	1CP-2	1M-4	DDC		1	1	1					
	空調機　還気ファン	1CP-2	－	DDC			1	1					
	室内温度	1CP-2	－	DDC					1				
	室内温度設定	1CP-2	－	DDC	1								
	室内湿度	1CP-2	－	DDC						1			
	室内湿度設定	1CP-2	－	DDC	1								
	給気温度	1CP-2	－	DDC					1				
	加湿弁状態	1CP-2	－	DDC			1						
	冷温水弁前後圧	1CP-2	－	DDC							2		
	冷温水弁通過流量	1CP-2	－	DDC							1		
	冷温水弁往還温度	1CP-2	－	DDC					2				
	冷温水弁熱量	1CP-2	－	DDC								1	
	外気冷房制御指令	1CP-2	－	DDC		1	1						
	外気冷房中	1CP-2	－	DDC			1						
	ウォーミングアップ中	1CP-2	－	DDC			1						
	CO2濃度	1CP-2	－	DDC							1		
	CO2制御指令	1CP-2	－	DDC		1	1						
	フィルター警報	1CP-2	－	DDC				1					
	凍結防止制御中	1CP-2	－	DDC				1					
	空調機内全熱交換器後温度	1CP-2	－	DDC					1				
	冷温水コイル出口温度	1CP-1	－	DDC					1				
AHU-201	空調機　2階　客席	2CP-1	2M-1	DDC		1	1	1					
	空調機　還気ファン	2CP-1	2M-1	DDC			1	1					
	室内温度	2CP-1	－	DDC					1				
	室内温度設定	2CP-1	－	DDC	1								
	室内湿度	2CP-1	－	DDC						1			
	室内湿度設定	2CP-1	－	DDC	1								

設備記号	名　称	自動制御盤	信号取合先	リモート種別	操作 設定	操作 オンオフ	表示 状態	表示 警報	計測 温度	計測 湿度	計測 その他	計量	備　考
	給気温度	2CP-1	－	DDC					1				
	加湿弁状態	2CP-1	－	DDC			1						
	冷温水弁前後圧	2CP-1	－	DDC							2		
	冷温水弁通過流量	2CP-1	－	DDC							1		
	冷温水弁往還温度	2CP-1	－	DDC					2				
	冷温水弁熱量	2CP-1	－	DDC								1	
	外気冷房制御指令	2CP-1	－	DDC		1	1						
	外気冷房中	2CP-1	－	DDC			1						
	ウォーミングアップ中	2CP-1	－	DDC			1						
	CO2濃度	2CP-1	－	DDC							1		
	CO2制御指令	2CP-1	－	DDC		1	1						
	フィルター警報	2CP-1	－	DDC				1					
	凍結防止制御中	2CP-1	－	DDC				1					
	空調機内全熱交換器後温度	2CP-1	－	DDC					1				
	冷温水コイル出口温度	1CP-1	－	DDC					1				
AHU-202	空調機　2階　客席	1CP-3	1M-3	DDC		1	1	1					
	空調機　還気ファン	1CP-3	1M-3	DDC			1	1					
	室内温度	1CP-3	－	DDC					1				
	室内温度設定	1CP-3	－	DDC	1								
	室内湿度	1CP-3	－	DDC						1			
	室内湿度設定	1CP-3	－	DDC	1								
	給気温度	1CP-3	－	DDC					1				
	加湿弁状態	1CP-3	－	DDC			1						
	冷温水弁前後圧	1CP-3	－	DDC							2		
	冷温水弁通過流量	1CP-3	－	DDC							1		
	冷温水弁往還温度	1CP-3	－	DDC					2				
	冷温水弁熱量	1CP-3	－	DDC								1	
	外気冷房制御指令	1CP-3	－	DDC		1	1						
	外気冷房中	1CP-3	－	DDC			1						
	ウォーミングアップ中	1CP-3	－	DDC			1						
	CO2濃度	1CP-3	－	DDC							1		
	CO2制御指令	1CP-3	－	DDC		1	1						
	フィルター警報	1CP-3	－	DDC				1					
	凍結防止制御中	1CP-3	－	DDC				1					
	空調機内全熱交換器後温度	1CP-3	－	DDC					1				
	冷温水コイル出口温度	1CP-1	－	DDC					1				
	＜PACファン連動＞												
EHP-6-1	パッケージ	2CP-2	2M-2	RS		1	1	1					
FE-1-7	排気ファン	2CP-2	1M-2	RS		1	1	1					
FE-1-8	排気ファン	2CP-2	1M-2	RS		1	1	1					
FE-2-1	排気ファン	2CP-2	2M-1	RS		1	1	1					
FE-2-2	排気ファン	2CP-2	2M-1	RS		1	1	1					
FE-2-3	排気ファン	2CP-2	2M-2	RS		1	1	1					
FE-2-4	排気ファン	2CP-2	2M-2	RS		1	1	1					
	＜排水槽監視＞												
PD-1	湧水槽　満水警報	1CP-1	PD-1ポンプ付属盤	RS				1					
	排水ポンプ　状態・警報	1CP-1	PD-1ポンプ付属盤	RS				1					
PD-2	湧水槽　満水警報	1CP-2	PD-2ポンプ付属盤	RS				1					
	排水ポンプ　状態・警報	1CP-2	PD-2ポンプ付属盤	RS				1					
	＜消火水槽廻り＞												
	消火水槽　上下限警報	1CP-3	－	RS				2					
FPU-1	消火ポンプユニット　一括警報	1CP-3	FPU-1	RS				1					
FT-1	消火補給水槽　上下限警報	2CP-2	－	RS				2					
	＜水槽監視＞												
TWPU-1	加湿給水ポンプユニット　一括警報	1CP-3	TWPU-1	RS				1					
	＜外気温度計測＞												
	外気温度	2CP-2	－	RS					1				
	外気湿度	2CP-2	－	RS						1			
	＜動力盤　一括警報監視＞												
1M-1	動力盤　一括警報	1CP-1	1M-1	RS				1					
1M-2	動力盤　一括警報	1CP-3	1M-2	RS				1					
1M-3	動力盤　一括警報	1CP-3	1M-3	RS				1					
1M-4	動力盤　一括警報	1CP-2	1M-4	RS				1					
2M-1	動力盤　一括警報	2CP-1	2M-1	RS				1					
2M-2	動力盤　一括警報	2CP-2	2M-2	RS				1					
RM-1	動力盤　一括警報	2CP-1	RM-1	RS				1					
RM-2	動力盤　一括警報	2CP-1	RM-2	RS				1					

中央管理点入出力一覧表（２）

設備記号	名　称	自動制御盤	信号取合先	リモート種別	操作 設定	操作 オンオフ	表示 状態	表示 警報	計測 温度	計測 湿度	計測 その他	計量	備　考
RM-3	動力盤　一括警報	2CP-2	RM-3	RS				1					
	＜設備監視＞												
浄化槽盤	浄化槽　一括警報	1CP-3	浄化槽盤	RS				1					
発電機	発電機　一括警報	1CP-3	発電機	RS				1					
受変電	受変電　一括警報	2CP-1	受変電	RS				1					
	＜合計＞				8	32	52	58	29	5	19	6	

設備記号	名　称	自動制御盤	信号取合先	リモート種別	操作 設定	操作 オンオフ	表示 状態	表示 警報	計測 温度	計測 湿度	計測 その他	計量	備　考

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○　○○
担当者 ○○　○○

完成図承認
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○　○○
担当者 ○○　○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田　和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田　和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西　重隆
日付 2024.03

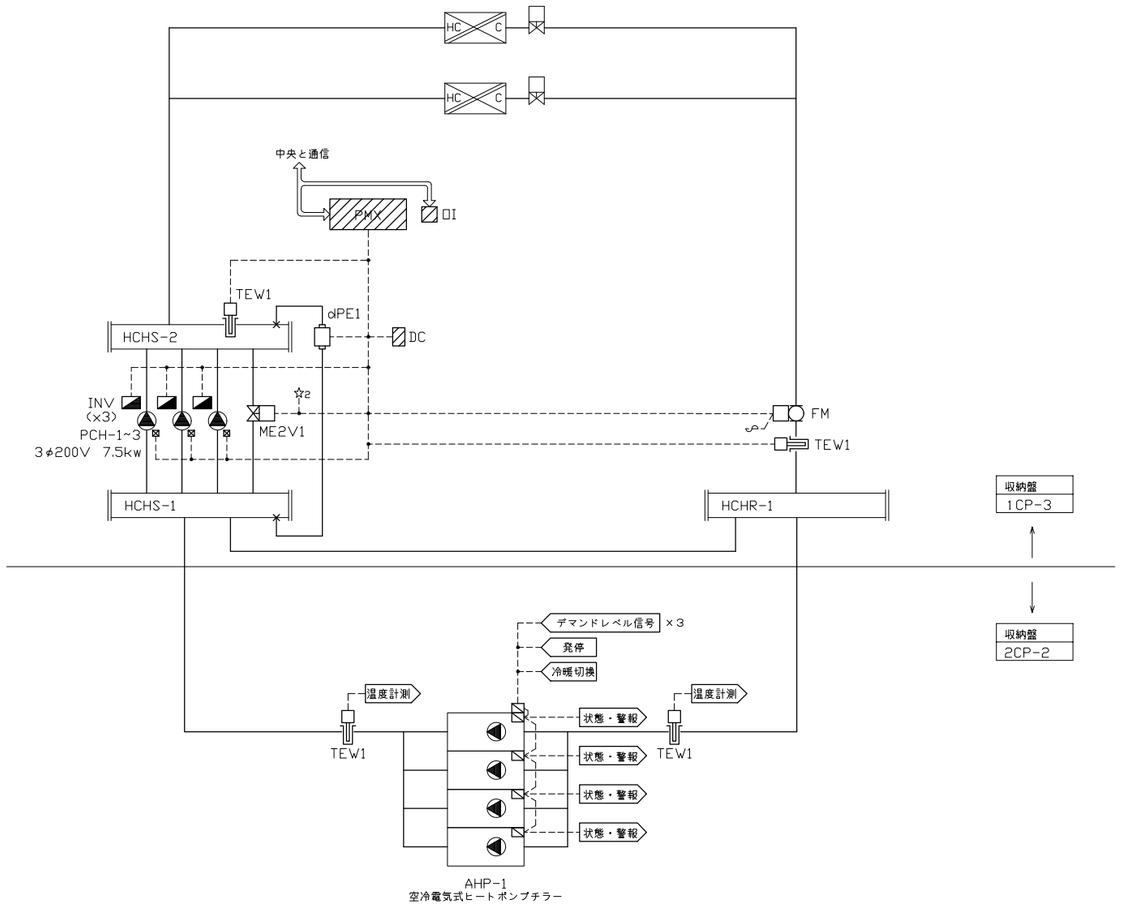
設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邊　正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築設計業務
業務契約コード 108557-02
図面名称 自動制御設備　中央管理点入出力一覧表（２）
縮尺 A1:－ A3:－

図面番号 MA-22

管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

1	熱源廻り制御	1set



制御項目

1．熱源機台数制御（空気電気式ヒートポンプチラー機能）

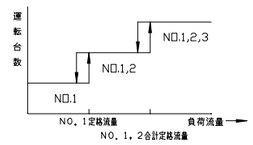
空気電気式ヒートポンプチラー４台の台数制御はチラー付属コントローラにて行う。

2．２次ポンプ台数制御

負荷流量により２次ポンプ必要台数を演算し、下図のように発停制御を行う。

また、ベースポンプの自動ローテーションを行う。

故障機については台数制御対象から除外するものとする。

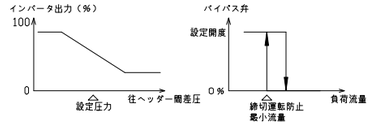


3．送水圧力制御

往ヘッダー間差圧により、下図のようにインバータの比例制御を行う。

また、負荷流量が一定値以下となった時の締切運転防止のため、

バイパス弁のＯＮ／ＯＦＦ制御を行う。



4．中央監視システムとの通信

（発停・監視・設定・計測）

5．デマンド制御

中央監視からのデマンドレベル信号３点を空気電気式ヒートポンプチラーへ入力し、

デマンド制御（メーカ機能）を行う。

（注記）1．熱源機と１次ポンプの連動配線、並びにインターロック渡り配線工事は

自動制御工事とする。

2．連動シーケンス回路は熱源機の機側盤内回路及び、動力盤内回路を

使用する。

3．インバータ（ＩＮＶ）及び、その調整は自動制御設備工事とする。

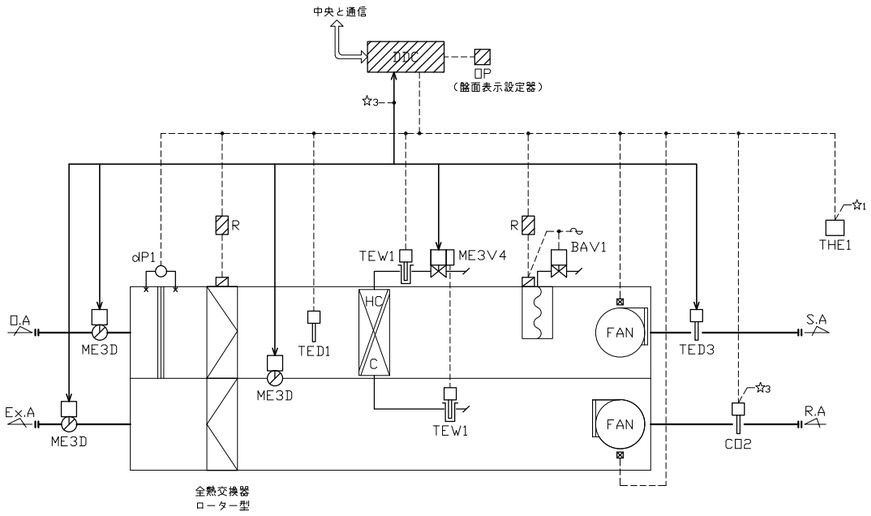
4．2次ポンプの最小流量は30%とする。

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴	完成図作成（受注者名）	完成図承諾	法適合確認欄	法適合確認欄	製作日	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約コード	図面番号	管理建築士
ver.20221201	日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	2024.03 ファイル名 ○○○○○	一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邉 正也	（仮称）福智町総合体育館新築設計業務 図面名称 自動制御設備 計装図（1）	108557−02 縮尺 A1:N.S A3:N.S	MA−23	一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

2	空調機制御	4sets

設備記号	系統	台数	収納盤
AHU-101	1階　アリーナ	1	1CP-1
AHU-102	1階　アリーナ	1	1CP-2
AHU-201	2階　客席	1	2CP-1
AHU-202	2階　客席	1	1CP-3
	合計	4	



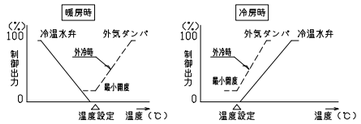
制御項目

1．室内温度制御（室内温度による給気温度設定自動変更制御）

給気温度により冷温水弁・外気ダンパの比例制御を行う。

また、室内温度により給気温度設定値の自動変更（カスケード制御）を行う。

尚、冷温水弁はコイル過流量抑制を目的に実流量での制御を行う。



2．比例帯自動調整制御

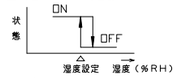
給気温度変化を監視し、ハンチングと判定される場合には比例帯を

適正な値に広げ、ハンチングの発生を抑える。

ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める。

3．室内湿度制御

室内湿度により加湿器のＯＮ／ＯＦＦ制御を行う。



4．配管系データ計測

冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷温水弁にて

下記データの計測を行う。

・　弁前後圧

・　通過流量

・　コイル還温度

・　コイル往温度

・　熱量演算（ＤＤＣによる演算）

5．外気冷房制御

・外気冷房有効時、給気温度によりダンパの比例制御を行う。

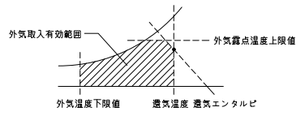
・外気冷房有効／無効の判断は、下記条件を満たした時を有効とする。

（１）外気エンタルピ　　＜　　還気エンタルピ

（２）外気温度下限値　　＜　　外気温度　　＜　　還気温度

（３）外気露点温度　　＜　　外気露点温度上限値

（４）外気温湿度、還気温湿度センサがすべて正常



・外気温湿度の情報は通信により取得するものとする。

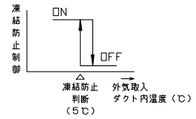
6．凍結防止制御（１）

空調機内全熱交換器後温度が凍結防止判断以下になった時、

「凍結防止制御中」を中央監視へ出力し、下記の様に凍結防止制御を行う。

また、熱源機停止時には「凍結防止制御中」の信号により、

熱源機を強制起動する。



・空調機停止時：冷温水弁を設定開度とする。

・空調機運転時：冷温水弁を設定開度とする。

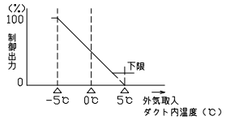
空調機内全熱交換器後温度により、冷温水弁の比例制御

（フィードフォワード制御）を行う。

（給気温度制御信号との要求が大きい方を選択）

この時、空調機メーカ推奨の下限流量を確保するために

冷温水弁最小流量を設けることとする。



7．凍結防止制御（２）

冷温水コイル出口温度が一定値以下となった場合、

外気導入を中止（外気ダンパ閉）とする。

中央監視装置に対して凍結防止制御中の信号を出力する。

8．全熱交換機制御

・熱交換有効時（外気冷房無効時）

：空調機と連動してロータの運転を行う。

・熱交換無効時（外気冷房有効時）

：ロータの間欠運転により、塵・埃の目詰まり防止を行う。

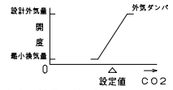
9．ウォーミングアップ制御

立ち上がり時、外気・排気ダンパを閉，還気ダンパを開とし

予冷／予熱を行う。又、加湿は禁止とする。

10．ＣＯ２制御

ＣＯ２濃度により外気ダンパの比例制御を行う。



11．空調機停止時のインターロック制御

（対象：ダンパ／２方弁／加湿器／還気ファン）

12．中央監視システムとの通信

（発停，監視，設定，計測）

（注記）1．ＯＰはＤＤＣとその下位通信機器の持つ管理点情報

（発停点，警報点，計測点，設定点含）を表示設定

できるものとする。

表示文字数

ポイント名称：半角英数字４文字以内

グループ名称：半角英数字１２文字以内

管理ポイント：最大９９点登録可能

2．給還気ファン連動は電気設備工事とする。

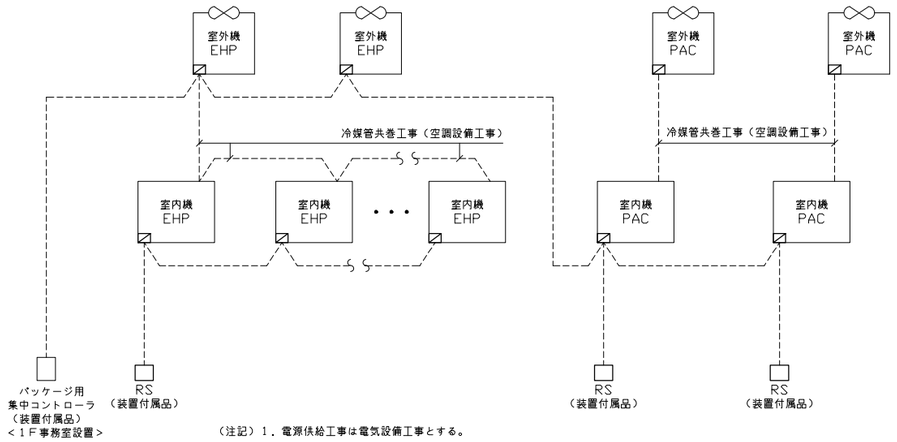
3．配線表記（←→）は制御端末用通信配線を表す。

4．全熱交換器（ロータ）のタイマー制御盤は

空調機メーカ付属とする。

3 ＰＡＣ渡り配線工事

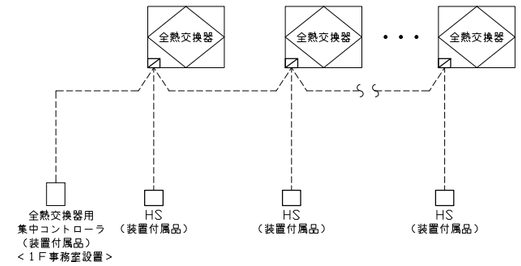
室外機	階	室内機	台数	階	系統
EHP-1	R	EHP-1-1	3	1	エントランスホール
		EHP-1-2	3	2	ホワイエ
EHP-2	R	EHP-2-1	2	1	事務室
		EHP-2-2	1	1	更衣室（男）
		EHP-2-3	1	1	更衣室（女）
EHP-3	R	EHP-3-1	1	1	多目的室（運営）
		EHP-3-2	1	1	多目的室（ドーピング）
		EHP-3-3	1	1	多目的室
		EHP-3-4	1	1	多目的室（記者・ＴＶ）
		EHP-3-5	1	1	会議室（記者会見）
EHP-4	R	EHP-4-1	5	2	トレーニング室
EHP-5	R	EHP-5-1	2	1	選手更衣室1
		EHP-5-2	2	1	選手更衣室2
		EHP-5-3	1	1	審判更衣室（東）
		EHP-5-4	1	1	審判更衣室（西）
		EHP-5-5	3	1	選手更衣室前廊下
EHP-7	R	EHP-7-1	6	2	立見席2・通路2
EHP-8	R	EHP-8-1	6	2	立見席1・通路1
PAC-1	R	PAC-1-1	1	1	清掃員控室
PAC-2	R	PAC-2-1	1	1	放送室
PAC-3	R	PAC-3-1	1	1	医務室
		合計	44		



（注記）１．電源供給工事は電気設備工事とする。
２．室内機～室外機間信号線は
自動制御工事／冷媒管共巻工事（空調設備工事）とする。

4 全熱交換器廻り配線工事

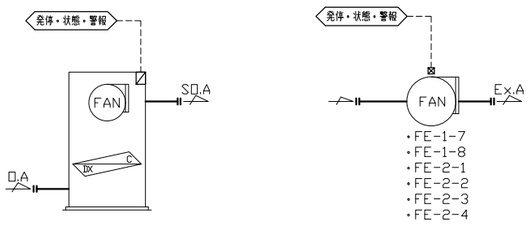
設備記号	台数	階	系統
HEX-1-1	1	1	放送室
HEX-1-2	1	1	医務室
HEX-1-3	1	1	多目的室（運営）
HEX-1-4	1	1	多目的室（ドーピング）
HEX-1-5	1	1	多目的室
HEX-1-6	1	1	多目的室（記者・ＴＶ）
HEX-1-7	1	1	会議室（記者会見）
HEX-1-8	1	1	事務室
HEX-2-1	3	2	トレーニング室
合計	11		



（注記）１．電源供給工事は電気設備工事とする。
２．全熱交換器と排気ファンの連動は集中リモコンにて行う。

5 ＰＡＣファン連動 1set

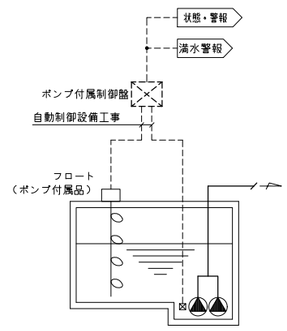
設備記号	セット数
EHP-6-1	1



制御項目
１．パッケージ、ファン連動
パッケージの運転に連動し排気ファンを運転させる。
連動は中央監視機能（条件演算）にて行う。

6 排水槽監視 1set

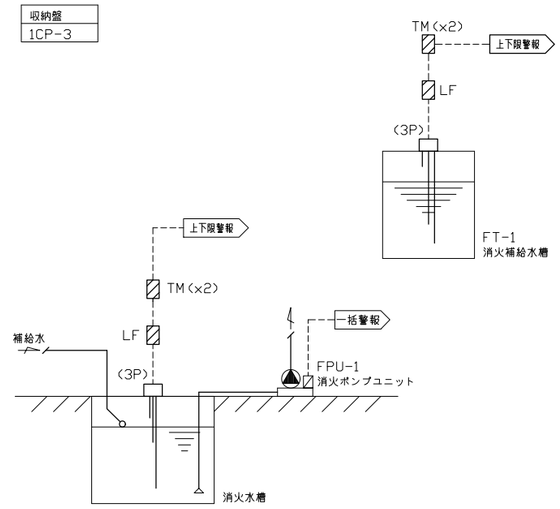
設備記号	組数
PD-1,2	2



制御項目
１．フロートスイッチによるポンプ発停制御
２．フロートスイッチによる満水監視

7 消火水槽廻り 1set

収納盤
1CP-3



制御項目
１．水位監視
水位異常時、警報を出力する。（上限／下限）
また、タイマーにより警報出力のハンチングを防止する。
２．ポンプユニット空転防止制御
槽内水位低下時、ポンプユニットの空転防止を行う。

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承認
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

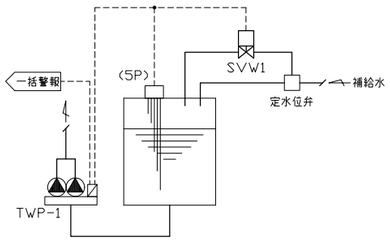
代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邊 正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築設計業務
業務契約コード 108557-02
図面名称 自動制御設備 計装図（３）
縮尺 A1:N.S A3:N.S
図面番号 MA-25
管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

8	加湿給水廻り	1set

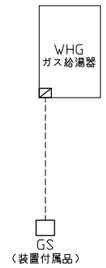
設備記号	系統名	セット数
TWPU-1	加湿給水	1
	合計	1



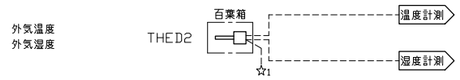
制御項目
1．水位制御（ポンプユニット機能）
槽内水位により補給水弁の開閉制御を行う。
2．ポンプユニット空転防止制御（ポンプユニット機能）
槽内水位低下時、ポンプユニットの空転防止を行う。

9	ガス給湯器リモコン配線

設備記号	セット数
WHG-1	1



10	外気温湿度計測	1set



石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承認
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邊 正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築設計業務
業務契約コード 108557-02
図面名称 自動制御設備 計装図（4）
縮尺 A1:N.S A3:N.S

図面番号 MA-26

管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

自動制御機器表

記号	名称	形番	備考
C□2D	C□2濃度調節器	CY8100C	0~2000ppm，ダクト挿入型
DDC	デジタル式コントローラ	WJ-1111	
dP1	差圧スイッチ	PYY-604	二位置
dPE1	差圧センサ	JTD_A2	
FM	電磁流量計	MGG10C/MGG11	
LF	液面リレー/電極棒3P	61F-GP-N/3P	付属品含む
ME2V1	電動2方弁	VY5133J	比例，4-20mA，高差圧対応
ME3D	ダンパ操作器	MY8040A	通信接続
ME3V4	流量計測機能付電動2方弁	FVY5160J	通信接続
□I	オペレータインターフェース	QJ-1101D0000	
□P	盤表面型表示設定器	QY5100W	
PMX	ポンプコントローラ	WJ-1102P	ポンプ用
R	補助リレー	R	
TE1	室内用温度センサ	TY7043Z	Pt100Ω
TED1	ダクト用温度センサ	TY7803Z0P	Pt100Ω
TED3	ダクト用温度センサ	TY7803C	通信接続
TEW1	配管用温度センサ	TY7830B15	Pt100Ω，R3/4
THE1	室内用温湿度センサ	HTY7045T1P	Pt100Ω，高分子素子
THED2	耐環境用温湿度センサ	HTY1000	Pt100Ω，高分子素子
TM	タイマ	TM	定格120分，設定1~60分程度
WE	漏水検知器	WLS302C	ソケット付

凡例

---~---	AC100V or 200V
○○---	インターロック
▨	現場盤内取付機器
⊲	監視盤との信号受渡し

☆1：DC24V電源供給
☆2：AC24V電源供給（一般用）
☆3：AC24V電源供給（センサ用）

自動制御盤表

盤名	形状	参考寸法 W	参考寸法 H	参考寸法 D	収納系統名	備考
1CP-1	自立	700	1950	400	AHU-101 中央管理点入出力一覧表参照	
1CP-2	自立	700	1950	400	AHU-102 中央管理点入出力一覧表参照	
1CP-3	自立	700	1950	400	熱源廻り制御、AHU-202 消火水槽廻り 中央管理点入出力一覧表参照	
2CP-1	自立	700	1950	400	AHU-201 中央管理点入出力一覧表参照	
2CP-2	自立	700	1950	400	熱源廻り制御、PACファン制御 中央管理点入出力一覧表参照	

INV盤表

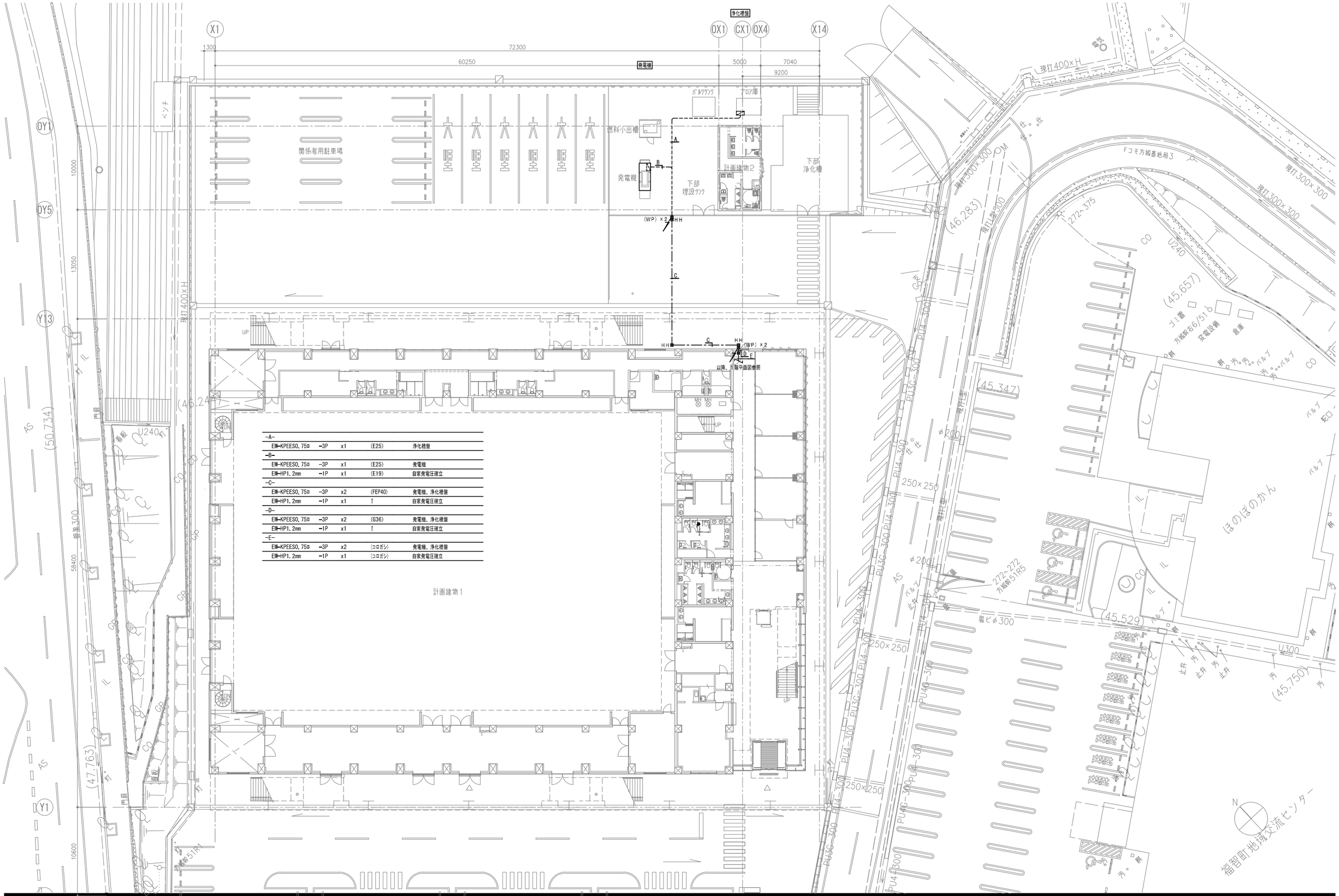
盤名	形状	参考寸法 W	参考寸法 H	参考寸法 D	収納系統名	備考
PCH-1INV盤	自立	700	1950	400	PCH-1 3φ200V 7.5kw	
PCH-2INV盤	自立	700	1950	400	PCH-2 3φ200V 7.5kw	
PCH-3INV盤	自立	700	1950	400	PCH-3 3φ200V 7.5kw	

バルブ口径表

流体 W2：水（2方弁），W3：水（3方弁），S：蒸気
単位 流体W2，W3：流量［l/m］、ΔP［kPa］ 流体S：流量［kg/h］、Pi，ΔP［kPa］

系統名	流体	流量	Pi	ΔP	CV	口径（A）	備考
〈熱源廻り制御〉							
バイパス弁	W2	550		304.0	21.9	40x32	
負荷流量計	W	1640				125	
〈空調機廻り制御〉							
AHU-101 冷温水弁	W2	506		30.0	64.0	50	
AHU-101 加湿弁	W2					20	
AHU-102 冷温水弁	W2	506		30.0	64.0	50	
AHU-102 加湿弁	W2					20	
AHU-201 冷温水弁	W2	128		30.0	16.2	40x32	
AHU-201 加湿弁	W2					20	
AHU-202 冷温水弁	W2	128		30.0	16.2	40x32	
AHU-202 加湿弁	W2					20	
〈加湿給水廻り〉							
補給水弁	W2					20.0	

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.
履歴
ver.20221201
完成図作成（受注者名） 日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○
完成図承諾 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○
法適合確認欄 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号
法適合確認欄 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号
製作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○
代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03
設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邉 正也
業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築設計業務 業務契約コード 108557−02
図面名称 自動制御設備 機器表、盤表、バルブ表 縮尺 A1:− A3:−
図面番号 MA-27
管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



-A-				
EM-KPEES0.75□	-3P	x1	(E25)	浄化槽盤
-B-				
EM-KPEES0.75□	-3P	x1	(E25)	発電機
EM-HP1.2mm	-1P	x1	(E19)	自家発電圧確立
-C-				
EM-KPEES0.75□	-3P	x2	(FEP40)	発電機、浄化槽盤
EM-HP1.2mm	-1P	x1	↑	自家発電圧確立
-D-				
EM-KPEES0.75□	-3P	x2	(G36)	発電機、浄化槽盤
EM-HP1.2mm	-1P	x1	↑	自家発電圧確立
-E-				
EM-KPEES0.75□	-3P	x2	(コロガシ)	発電機、浄化槽盤
EM-HP1.2mm	-1P	x1	(コロガシ)	自家発電圧確立

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴

ver.20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承諾
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

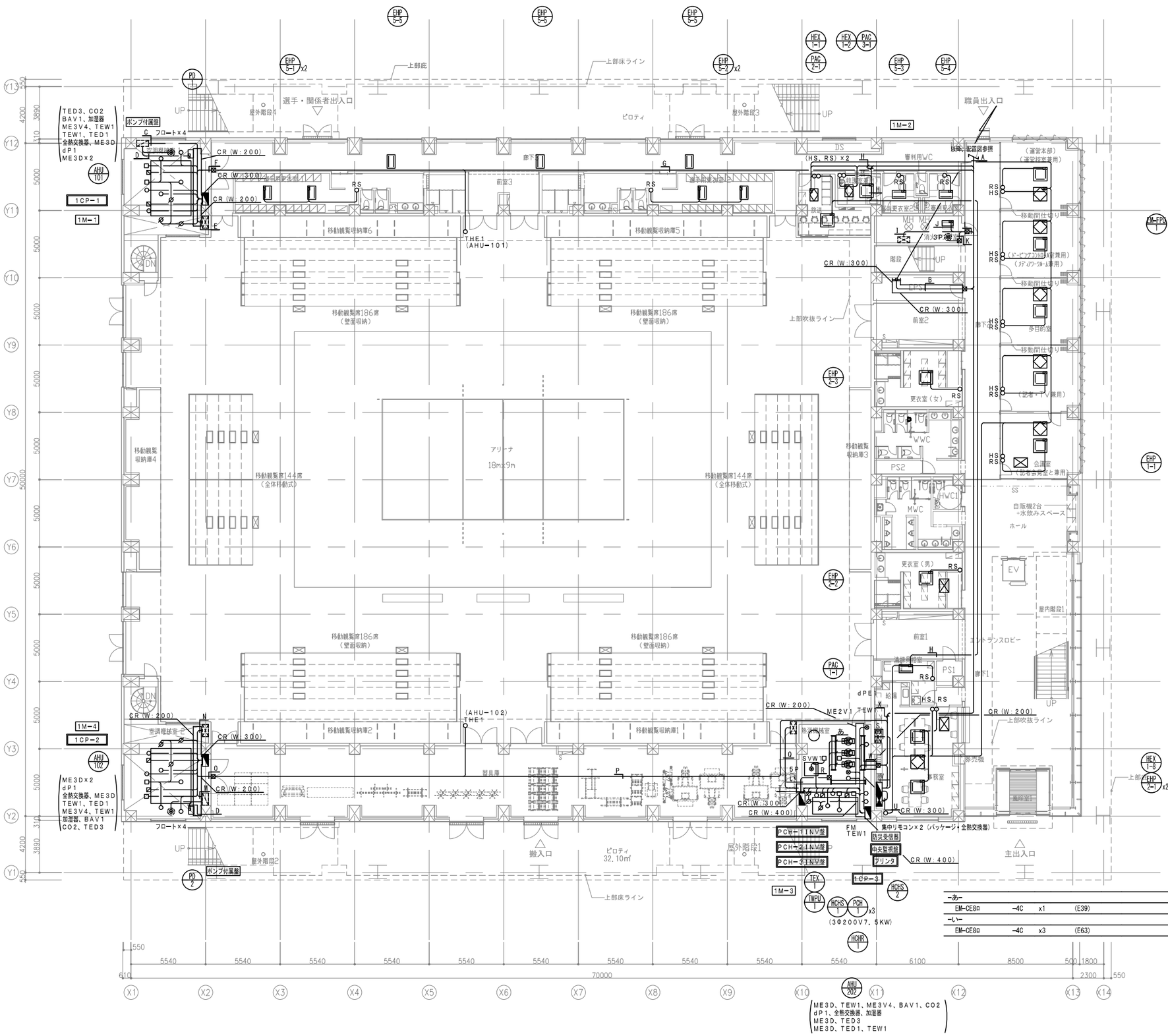
代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邉 正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築設計業務
業務契約コード 108557-02
図面名称 自動制御設備 外構図
縮尺 A1:1/200 A3:1/400

図面番号 MA-28

管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

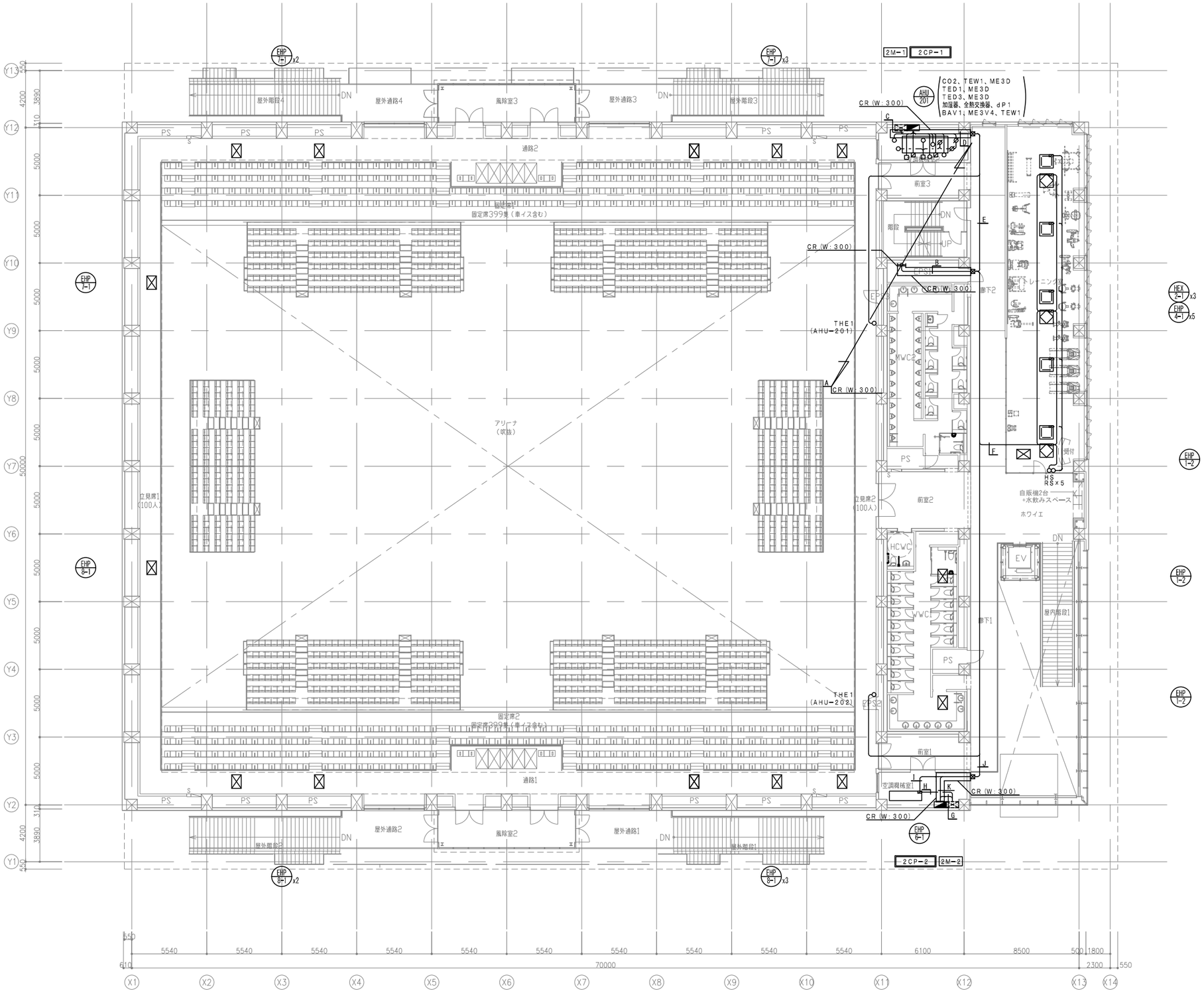


−A−				
EM−KPEES0.75㎟	−3P	x2	(コロガシ)	発電機、浄化槽盤
EM−HP1.2mm	−1P	x1	(コロガシ)	自家発電圧確立
−B−				
EM−LANケーブル		x2	(ラック)	幹線×2
EM−CE8㎟	−3C	x1	(ラック)	ＵＰＳ電源
EM−KPEES0.75㎟	−3P	x1	(ラック)	発電機
EM−KPEES0.75㎟	−10P	x1	(ラック)	１Ｍ−２
EM−CEE1.25㎟	−3C	x1	(ラック)	３Ｐ
EM−CEES1.25㎟	−7C	x1	(ラック)	ＴＨＥ１
EM−CEE2㎟	−2C	x2	(ラック)	連動×２
EM−HP1.2mm	−1P	x2	(ラック)	動力給電状態、自家発商用切替
EM−CEES1.25㎟	−2C	x3	(ラック)	集中×２、ＧＳ
−C−				
EM−KPEES0.75㎟	−3P	x1	(E25)	ポンプ付属盤
−D−				
付属ケーブル		x1	(PF22)	ＰＤ−＊
−E−				
EM−CE3.5㎟	−3C	x1	(ラック)	電源
EM−KPEES0.75㎟	−10P	x1	(ラック)	１Ｍ−１
EM−CEE2㎟	−2C	x2	(ラック)	ＩＮＴ×２
−F−				
EM−光ファイバーケーブル		x1	(E39)	幹線
EM−CEES1.25㎟	−7C	x1	(E31)	ＴＨＥ１
−G−				
EM−光ファイバーケーブル		x1	(コロガシ)	幹線
−H−				
EM−CEES1.25㎟	−2C	x1	(コロガシ)	集中
−I−				
EM−KPEES0.75㎟	−3P	x1	(E51)	１Ｍ−２
EM−KPEES0.75㎟	−10P	x1	↑	１Ｍ−２
EM−CEE2㎟	−2C	x2	(E31)	連動×２
−J−				
EM−KPEES0.75㎟	−3P	x1	(E25)	ＦＰＵ−１
−K−				
EM−CEE1.25㎟	−3C	x1	(E25)	３Ｐ
−L−				
EM−KPEES0.75㎟	−3P	x2	(コロガシ)	１Ｍ−２、ＦＰＵ−１
EM−KPEES0.75㎟	−10P	x1	(コロガシ)	１Ｍ−２
EM−CEE1.25㎟	−3C	x1	(コロガシ)	３Ｐ
EM−CEE2㎟	−2C	x2	(コロガシ)	連動×２
−M−				
EM−KPEES0.75㎟	−3P	x1	(ラック)	ポンプ付属盤
−N−				
EM−CE3.5㎟	−3C	x1	(ラック)	電源
EM−KPEES0.75㎟	−5P	x1	(ラック)	１Ｍ−４
EM−CEE2㎟	−2C	x2	(ラック)	ＩＮＴ×２
−O−				
EM−LANケーブル		x1	(E19)	幹線
EM−CEES1.25㎟	−7C	x1	(E31)	ＴＨＥ１
−P−				
EM−LANケーブル		x1	(コロガシ)	幹線
−Q−				
EM−CE3.5㎟	−3C	x1	(コロガシ)	電源
EM−KPEES0.75㎟	−3P	x1	(コロガシ)	１Ｍ−３
EM−KPEES0.75㎟	−10P	x1	(コロガシ)	１Ｍ−３
EM−CEE2㎟	−2C	x2	(コロガシ)	ＩＮＴ×２
−R−				
EM−KPEES0.75㎟	−3P	x1	(E25)	ＴＷＰＵ−１
−S−				
EM−HP1.2mm	−1P	x1	(コロガシ)	火災信号
−T−				
EM−KPEES0.75㎟	−3P	x3	(ラック)	ＩＮＶ×３
EM−KPEES0.75㎟	−20P	x1	(ラック)	ＰＣＨ−１〜３ＩＮＶ盤
−U−				
EM−LANケーブル		x1	(コロガシ)	幹線
EM−CE3.5㎟	−3C	x1	(コロガシ)	電源
−V−				
EM−光ファイバーケーブル		x1	(コロガシ)	幹線
EM−LANケーブル		x4	(コロガシ)	幹線×４
EM−CE3.5㎟	−3C	x1	(コロガシ)	ＵＰＳ電源
EM−CE8㎟	−3C	x1	(コロガシ)	ＵＰＳ電源
EM−HP1.2mm	−1P	x3	(コロガシ)	動力給電状態、自家発商用切替、自家圧電圧確立
EM−CEES1.25㎟	−2C	x1	(コロガシ)	ＧＳ
−W−				
EM−LANケーブル		x1	(ラック)	幹線
EM−CE3.5㎟	−3C	x1	(ラック)	ＵＰＳ電源
EM−KPEES0.75㎟	−3P	x4	(ラック)	１Ｍ−２、ＦＰＵ−１、発電機、浄化槽盤
EM−CEE1.25㎟	−3C	x2	(ラック)	３Ｐ×２
EM−CEES1.25㎟	−7C	x1	(ラック)	ＴＨＥ１
−X−				
EM−光ファイバーケーブル		x1	(コロガシ)	幹線
EM−LANケーブル		x2	(コロガシ)	幹線×２
EM−CE8㎟	−3C	x1	(コロガシ)	ＵＰＳ電源
EM−HP1.2mm	−1P	x3	(コロガシ)	動力給電状態、自家発商用切替、自家圧電圧確立
EM−KPEES0.75㎟	−3P	x4	(コロガシ)	１Ｍ−２、ＦＰＵ−１、発電機、浄化槽盤
EM−CEE1.25㎟	−3C	x2	(コロガシ)	３Ｐ×２
EM−CEES1.25㎟	−7C	x1	(コロガシ)	ＴＨＥ１
EM−CEES1.25㎟	−2C	x1	(コロガシ)	ＧＳ

−あ−			
EM−CE8㎟	−4C	x1	(E39)
−い−			
EM−CE8㎟	−4C	x3	(E63)

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, Inc.

履歴	完成図作成（受注者名）	完成図承認	法適合確認欄	設適合確認欄	製作日	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約コード	図面番号	管理建築士
ver.20221201	日付	日付	構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	2024.03	一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆	一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希	（仮称）福智町総合体育館新築設計業務	108557−02	MA−29	一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆
	監理技術者	監理者	構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	ファイル名 ○○○○○	日付 2024.03	担当者 山邉 正也	図面名称 自動制御設備 1階平面図	縮尺 A1:1/150 A3:1/300		
	担当者	担当者									



-A-				
EM-LANケーブル		x2	(ラック)	幹線×2
EM-CE8㎟	-3C	x1	(ラック)	UPS電源
EM-KPEES0.75㎟	-10P	x1	(ラック)	1M-2
EM-CEE1.25㎟	-3C	x1	(ラック)	3P
EM-CEES1.25㎟	-7C	x1	(ラック)	THE1
EM-HP1.2㎜	-1P	x2	(ラック)	動力給電状態、自家発商用切替
EM-CEE2㎟	-2C	x2	(ラック)	連動×2
EM-CEES1.25㎟	-2C	x3	(ラック)	集中×2、GS
-B-				
EM-LANケーブル		x2	(ラック)	幹線×2
EM-CE8㎟	-3C	x1	(ラック)	UPS電源
EM-KPEES0.75㎟	-3P	x7	(ラック)	受変電、RM-1～3、AHP-1×3
EM-KPEES0.75㎟	-10P	x1	(ラック)	AHP-1
EM-CEE1.25㎟	-3C	x2	(ラック)	TEW1×2
EM-CEES1.25㎟	-6C	x1	(ラック)	THED2
EM-CEES1.25㎟	-7C	x1	(ラック)	THE1
EM-CEE2㎟	-2C	x2	(ラック)	連動×2
EM-CEES1.25㎟	-2C	x1	(ラック)	集中
-C-				
EM-CE3.5㎟	-3C	x1	(ラック)	電源
EM-KPEES0.75㎟	-10P	x2	(ラック)	2M-1
EM-CEE2㎟	-2C	x4	(ラック)	INT×2、連動×2
-D-				
EM-LANケーブル		x1	(ラック)	幹線
EM-CE8㎟	-3C	x1	(ラック)	UPS電源
EM-KPEES0.75㎟	-3P	x3	(ラック)	受変電、RM-1、RM-2
EM-KPEES0.75㎟	-10P	x1	(ラック)	2M-1
EM-CEES1.25㎟	-7C	x1	(ラック)	THE1
EM-CEE2㎟	-2C	x2	(ラック)	連動×2
-E-				
EM-LANケーブル		x1	(コロガシ)	幹線
EM-CE8㎟	-3C	x1	(コロガシ)	UPS電源
EM-KPEES0.75㎟	-3P	x3	(コロガシ)	受変電、RM-1、RM-2
EM-KPEES0.75㎟	-10P	x1	(コロガシ)	2M-1
EM-CEE2㎟	-2C	x2	(コロガシ)	連動×2
-F-				
EM-CEES1.25㎟	-2C	x1	(コロガシ)	集中
-G-				
EM-CE3.5㎟	-3C	x1	(E25)	電源
EM-KPEES0.75㎟	-20P	x1	(E51)	2M-2
-H-				
EM-CEE2㎟	-2C	x2	(E31)	連動×2
-I-				
EM-CEE2㎟	-2C	x4	(E51)	連動×4
-J-				
EM-LANケーブル		x1	(コロガシ)	幹線
EM-KPEES0.75㎟	-3P	x4	(コロガシ)	RM-3、AHP-1×3
EM-KPEES0.75㎟	-10P	x3	(コロガシ)	1M-2、2M-1、AHP-1
EM-CEE1.25㎟	-3C	x2	(コロガシ)	TEW1×2
EM-CEES1.25㎟	-6C	x1	(コロガシ)	THED2
EM-CEE2㎟	-2C	x4	(コロガシ)	連動×4
-K-				
EM-LANケーブル		x1	(ラック)	幹線
EM-KPEES0.75㎟	-3P	x4	(ラック)	RM-3、AHP-1×3
EM-KPEES0.75㎟	-10P	x3	(ラック)	1M-2、2M-1、AHP-1
EM-CEE1.25㎟	-3C	x2	(ラック)	TEW1×2
EM-CEES1.25㎟	-6C	x1	(ラック)	THED2

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成（受注者名）
日付
監理技術者
担当者

完成図承諾
日付
監理者
担当者

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田　和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田　和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号〜第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西　重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邊　正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築設計業務
業務契約コード 108557-02
図面名称 自動制御設備　2階平面図
縮尺 A1:1/150 A3:1/300
図面番号 MA-30
管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

機器凡例

シンボル	記号	配線	配管 (屋内)	配管 (屋外)
○	RS	EM-CEES1.25φ -2C × 1	(PF22)	
○	HS	EM-CEE2φ -6C × 1	(PF28)	
○	集中コントローラ	EM-CEES1.25φ -2C × 1	(PF22)	
○	THE1	EM-CEES1.25φ -7C × 1	(PF28)	
○	TED1	EM-CEE1.25φ -3C × 1	(E25)	
○	TED3	EM-CEE2φ -3C × 1	(E25)	
○	THED2	EM-CEES1.25φ -6C × 1		(G28)
○	CO2	EM-CEES1.25φ -4C × 1	(E25)	
○	TEW1	EM-CEE1.25φ -3C × 1	(E25)	
○	TEW1	EM-CEE1.25φ -3C × 1		(G22)
□	ME2V1	EM-CEE1.25φ -2C × 1	(E19)	
		EM-CEES1.25φ -2C × 1	(E25)	
□	BAV1	EM-CEE2φ -4C × 1	(E25)	
□	SVW1	EM-CEE2φ -2C × 1	(E25)	
□	ME3V4	EM-CEE2φ -3C × 1	(E25)	
Ø	ME3D	EM-CEE2φ -3C × 1	(E25)	
○	dP1	EM-CEE2φ -2C × 1	(E25)	
⊗	dPE1	EM-CEES1.25φ -2C × 1	(E25)	
◉	フロート	EM-CEE1.25φ -2C × 1	(PF22)	
◉	3P	EM-CEE1.25φ -3C × 1		(G22)
◉	3P	EM-CEE1.25φ -3C × 1	(PF22)	
◉	5P	EM-CEE1.25φ -5C × 1	(E25)	
⊗	FM	EM-CEE2φ -3C × 1	(E25)	
		EM-CEES1.25φ -2C × 1	(E25)	
◪	加湿器	EM-CEE2φ -2C × 1	(E25)	
◪	全熱交換器	EM-CEE2φ -2C × 1	(E25)	

記号凡例

平面図記号	内容
	床隠蔽配管
	露出配管
	天井内ケーブル配線
	ケーブルラック配線
	フリーアクセス内配線
	地中埋設配管
⊠ (WP)	プルボックス (WPは防水仕様)
⊠ HH	ハンドホール (600口×900)
◯	ボックス付マンホール

〈特記〉
- 天井内はケーブルコロガシとし、室内サーモ・スイッチ類及び盤への立ち下りは配管を使用する。
- 地中埋設配管の埋設用溝の掘削埋め戻しは別途工事とする。
- CRはケーブルラックを示す。(サイズは図示による)
- ケーブルラックはセパレータ付とする。
- ケーブルラック上はケーブル配線とする。
- ケーブルラックから盤(本工事)への立下りはケーブルラックとする。
- ケーブルラックから他社盤(別途工事)への立下りは配管とする。
- 屋上ケーブルラックはメッシュシート・ケーブルラックカバー付とする。(サイズはラックと同サイズ)
- フリーアクセス内はケーブル配線とする。
- SSは発停用の配線、INTはインターロック用の配線を示す。

HEX凡例

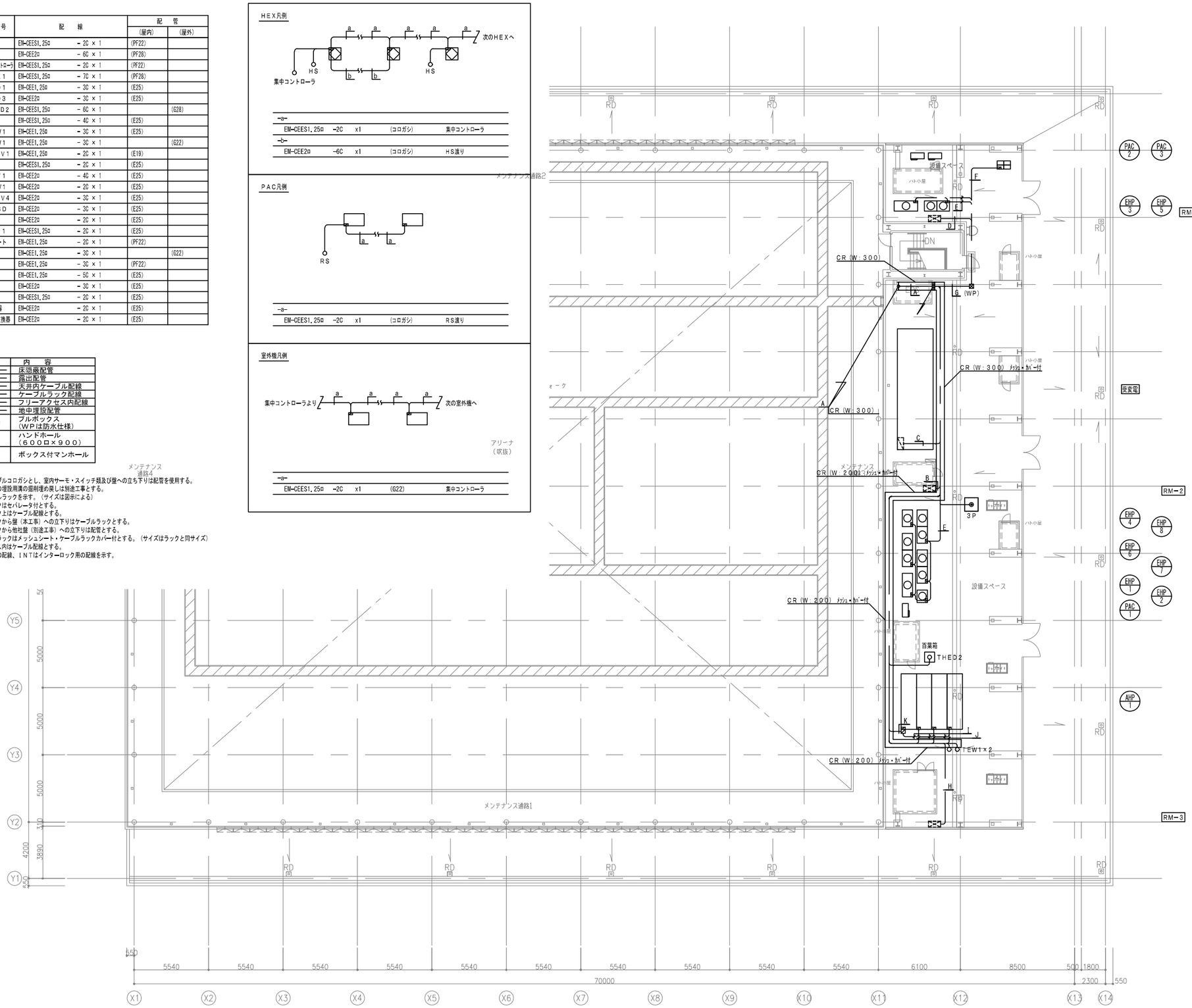
-a-				
EM-CEES1.25φ	-2C	x1	(コロガシ)	集中コントローラ
-b-				
EM-CEE2φ	-6C	x1	(コロガシ)	HS渡り

PAC凡例

-a-				
EM-CEES1.25φ	-2C	x1	(コロガシ)	RS渡り

室外機凡例

-a-				
EM-CEES1.25φ	-2C	x1	(G22)	集中コントローラ



-A-				
EM-KPEES0.75φ	-3P	x7	(ラック)	受変電、RM-1～3、AHP-1×3
EM-KPEES0.75φ	-10P	x1	(ラック)	AHP-1
EM-CEE1.25φ	-3C	x3	(ラック)	3P、TEW1×2
EM-CEES1.25φ	-6C	x1	(ラック)	THED2
EM-HP1.2mm	-1P	x2	(ラック)	動力給電状態、自家発商用切替
EM-CEES1.25φ	-2C	x2	(ラック)	集中、GS
-B-				
EM-KPEES0.75φ	-3P	x1	(ラック)	RM-2
-C-				
EM-KPEES0.75φ	-3P	x1	(G28)	受変電
EM-HP1.2mm	-1P	x2	↑	動力給電状態、自家発商用切替
-D-				
EM-KPEES0.75φ	-3P	x1	(G22)	RM-1
-E-				
EM-CEES1.25φ	-2C	x1	(G22)	集中
-F-				
EM-CEES1.25φ	-2C	x1	(G22)	GS
-G-				
EM-KPEES0.75φ	-3P	x1	(G22)	RM-1
EM-CEES1.25φ	-2C	x3	(G36)	集中×2、GS
-H-				
EM-KPEES0.75φ	-3P	x1	(G22)	RM-3
-I-				
EM-CEES2φ	-3C	x1	(G22)	チラー渡り
-J-				
EM-KPEES0.75φ	-3P	x1	(G22)	AHP-1
-K-				
EM-KPEES0.75φ	-10P	x1	(G36)	AHP-1

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴	完成図作成 (受注者名)	完成図承認	法適合確認欄	法適合確認欄	製作日	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約コード	図面番号	管理建築士
ver.20221201	日付	日付	構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	2024.03	一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆	一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希	(仮称)福智町総合体育館新築設計業務	108557-02	MA-31	一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆
	監理技術者	監理者	構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	ファイル名 ○○○○○	日付 2024.03	担当者 山邊 正也	図面名称 自動制御設備 2階+4800平面図	縮尺 A1:1/150 A3:1/300		
	担当者	担当者									

機器番号	機器名称	台数	機器仕様	電動機（60HZ） 相 φ	電圧 V	動力 kW	起動方式	コンクリート基礎	非常電源	設置場所	備考
WHG-1	ガス給湯器	1	型式 ：屋外据置マルチ型(即出湯・高効率型)凍結予防運転時消費電力	1	100	1.366	L-S	○	-	R階　屋上機器置場	
			能力 ：150 号 （50号×3台）								
			ガス消費量 ：275.7 kW（LPG）								
			付属品 ：リモコンスイッチ、専用コード、配管カバー、マルチ配管、								
			化粧板、自立据置台、即出湯ポンプユニット、チャッキ弁、								
			その他標準付属品一式								
WHE-1	電気湯沸器	1	型式 ：台下床置飲雑両用型 （減圧弁内蔵）	1	100	1.5	L-S	-	-	1階　事務室給湯	
			貯湯量 ：12 L								
			付属品 ：タイマー、ブローキャッチャー、逃し弁、逃しホース、								
			安全装置、止水栓、配管キット、固定金具、省エネ機能付、								
			その他標準付属品一式								
PD-1	湧水排水ポンプ	2組	型式 ：雑排水用水中ポンプ （減圧弁内蔵）	3	200	0.4x2	L-S	-	-	ピット	
PD-2		（2台）	運転方式 ：自動交互、非常時同時運転								
			仕様 ：50 φ × 100 L/min × 8 m								
			付属品 ：制御盤、その他標準付属品一式、								
FPU-1	消火ポンプユニット	1	型式 ：屋内消火ポンプユニット （消防認定品）	3	200	7.5	L-S	○	○	1階　消火SP	
			仕様 ：50 φ × 65 φ 300 L/min × 66 m								
			付属品 ：制御盤、呼水槽、流量計、防振架台、フート弁、								
			その他標準付属品一式								
FT-1	消火補給水槽	1	型式 ：SUS製	-	-	-	-	○	-	R階　屋上機器置場	
			容量 ：500 L								
			参考寸法 ：1000 × 1000 × 1000 H								
			付属品 ：内外タラップ(SUS製)、								
			アングル架台H=1500H(溶融亜鉛メッキ)								
			その他標準付属品一式								
HB-1	屋内消火栓	3	型式 ：1号消火栓(埋込型)	-	-	-	-	-	-	1階　廊下3	指定色塗装
			参考寸法 ：600 × 240 × 1350 H								
			付属品 ：赤色表示灯、総合盤付、ホース30m、噴霧ノズル、								
			その他標準付属品一式								
HB-2	屋内消火栓	8	型式 ：1号消火栓(消火器BOX併設埋込型)	-	-	-	-	-	-	各所	指定色塗装
		1F（3）	参考寸法 ：1050 × 200 × 1350 H								
		2F（5）	付属品 ：赤色表示灯、総合盤付、ホース30m、噴霧ノズル、								
			消火器BOX、その他標準付属品一式								
HB-3	屋内消火栓	1	型式 ：1号消火栓(SUS製屋外露出型)	-	-	-	-	-	-	R階　屋上機器置場	指定色塗装
			参考寸法 ：600 × 240 × 1350 H								
			付属品 ：赤色表示灯、総合盤付、ホース30m、噴霧ノズル、								
			その他標準付属品一式								
WS-1	冷水器	2	型式 ：床置型	1	100	0.3	L-S	-	-	1階　ホール	別途工事
										2階　ホール	

機器番号	機器名称	台数	機器仕様	電動機（60HZ） 相 φ	電圧 V	動力 kW	起動方式	コンクリート基礎	非常電源	設置場所	備考
TGB-1	LPGバルクタンク	1	型式 ：地上設置 バルク貯槽ユニット(横型)	-	-	-	-	○	-	屋外	
			充填容量 ：500kg								
			付属品 ：電気式強制気化装置(30kg/H)	3	200	4.2	L-S	○	-	屋外	
			制御盤、調整弁ユニット、その他標準付属品一式								
TJ-1	浄化槽	1	型式 ：495人槽　80m3/日	3	200	5.728	L-S	-	○	屋外	

特記事項

1.表中の能力は必要能力とする。

2.コンクリート基礎は建築工事とする。

3.機器の性能値は下記による。

ガス給湯機 :JIS S 2109

貯湯式電気温水器 :JIS C 9219

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴

ver.20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承認
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邉 正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事
業務契約コード 108557-02
図面名称 給排水衛生設備 機器表
縮尺 A1:— A3:—

図面番号 MP-01

管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

器具表

器具名称	器具型番（TOTO参考）	付属品（TOTO参考）	消費電力（1φx100V）	合計	1階 選手用更衣室1	1階 選手用更衣室2	1階 医務	1階 審判更衣室1	1階 審判用WC	1階 審判更衣室2	1階 更衣室(女)	1階 WWC	1階 HWC1	1階 MWC	1階 更衣室(男)	1階 給湯(事務室)	1階 清掃員控室	2階 MWC2	2階 HCWC	2階 WWC1	屋外 MWC	屋外 WWC	屋外 HWC	屋外 廊下	屋外 屋外	備考
洋風大便器(床置)	CFS498B	TCF5534AUY(温水洗浄便座)	314W	38	2	2						5		3				8		17						
洋風大便器(床置)	CFS498BCK	TCF5841AUP(温水洗浄便座)、EWC283CR(背もたれ)	1260W	2									1						1							
洋風大便器(床置)	CS597BMS	SH597BAR(手洗付密結タンク)、TCF589AU(温水洗浄便座)	314W	1					1																	
洋風大便器(床置)	CS597BCD	(普通便座)、SH598BAYR(手洗付密結タンク)、HE38(リモコン)		4																	1	3				
洋風大便器(床置)	CS597BCD	(普通便座)、SH598BAYR(手洗付密結タンク)、HE38(リモコン)、EWC283CR(背もたれ)		1																			1			
壁掛小便器	UFS900R			29								6						21			2					
壁掛洗面器	L250CM	TLE28SS1A(自動水栓)、TLDP2105JA(壁排水金具)、TS126AR(水石鹸入れ)		1			1																			
壁掛洗面器	L270CM	TLG04101J(立水栓)、TLDP2105JA(壁排水金具)、TS126AR(水石鹸入れ)		2				1		1																
壁掛洗面器	LSC722AAPM	TLG04101J(立水栓)、TLDP2105JA(壁排水金具)、TS126AR(水石鹸入れ)		5																	2	3				
アンダーカウンター式洗面器	L531	TLE28SS1A(自動水栓)、TLDP2105JA(壁排水金具)		4							2				2											
アンダーカウンター式洗面器	L531	TLE28SS2A(自動水栓)、TLDP2105JA(壁排水金具)、TLK05202J(水石鹸入れ)		4	2	2																				
アンダーカウンター式洗面器	L531	TLE28SS1A(自動水栓)、TLDP2105JA(壁排水金具)、TLK05202J(水石鹸入れ)		24								5		4				6		9						
車いす用壁掛洗面器	L103A	TLE28SS1A(自動水栓)、TLDP2206JA(壁排水金具)、REWF03B1RSM(電気温水器)	600W	3									1						1				1			
オストメイト対応マルチシンク	XPSA71C71WW			1															1							
掃除流し	SK22A	T23AEQ20C(横水栓)、T37SGEP(床排水金具)		3										1				1			1					
シャワー水栓	TMF49CY1	TBW07019J(スライドバー)		6	3	3																				
混合水栓	TKS05301J			1												1										
洗濯パン	PWP740N2W	PJ2009NW(縦引トラップ)		1													1									
洗濯水栓	TW11R			1													1									
横水栓	T28AUNH13			4	1	1					1				1											
屋外散水栓	T28KUH13			13																				1	12	
棚付二連紙巻器	YH702			45	2	2			1			5	1	3				8	1	17		1	3	1		
ハンドドライヤー	TYC320W		625W	12	1	1					1	1	1	1	1			2	1	2						
コインシャワーユニット	日本レオナード	コーナーパネル型	20W	4							2				2											
	D-64相当品	コントロール基盤、電磁弁、ミキシングバルブ																								
可動式はね上げ手すり	T112HK7R	(建築工事)		5								1		1				1		1			1			
可動式はね上げ手すり	T112HK7R	(建築工事)		2									1						1							
腰掛便器用L型手すり	T112CL10	(建築工事)		5								1		1				1		1			1			
腰掛便器用L型手すり	T112CL11	(建築工事)		2									1						1							
小便器用手すり	T112CU22	(建築工事)		2								1						1								
カウンター洗面器用手すり	T112CP5S	(建築工事)		4								1		1				1		1						
ベビーシート	YKA25N	(建築工事)		3									1						1				1			
ベビーチェアー	YKA15S	(建築工事)		4								1		1				1		1						

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成（成注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承認
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認書
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認書
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

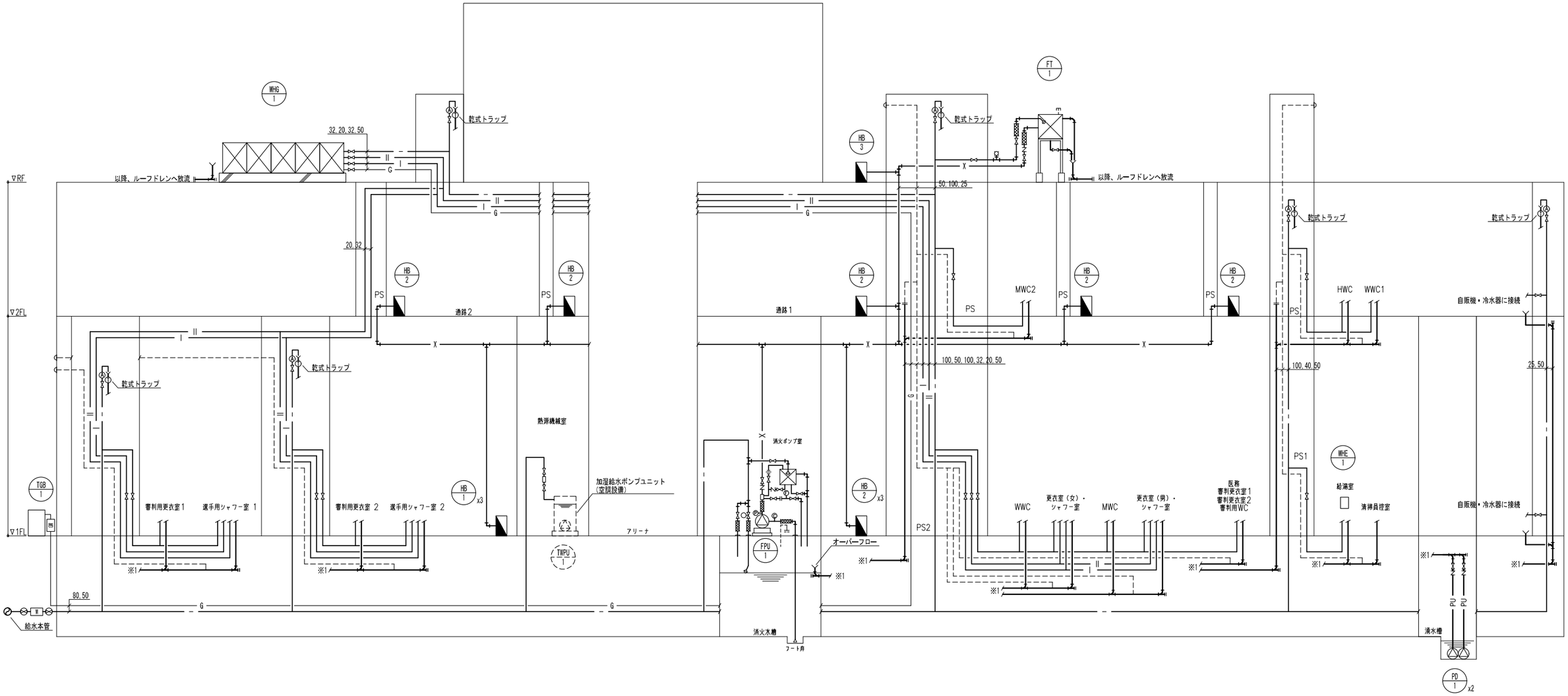
代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邊 正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事
業務契約コード 108557-02
図面名称 給排水衛生設備 器具表
縮尺 A1:— A3:—

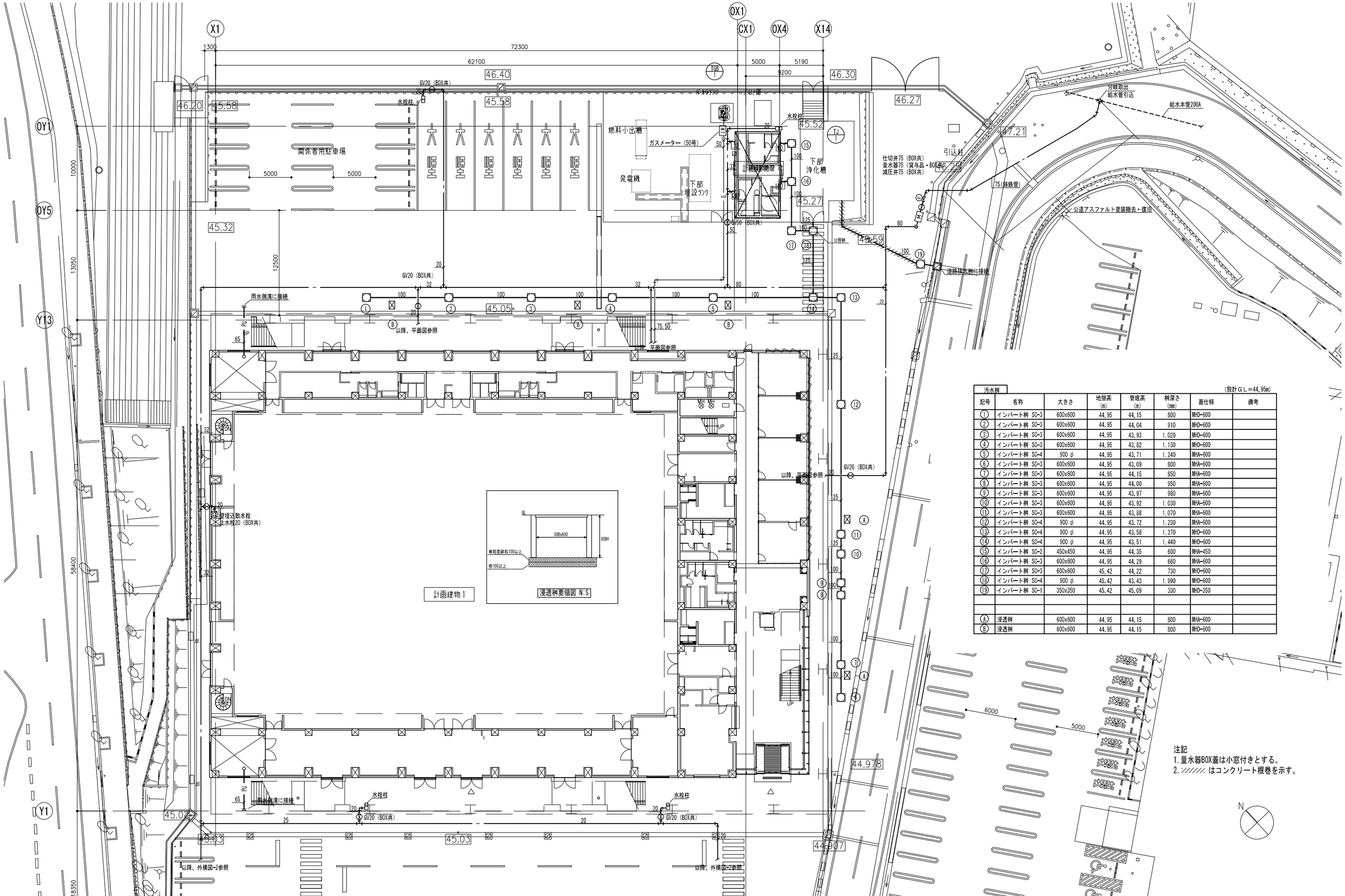
図面番号 MP-02

管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



注記
1.※1は以降、横接続を示す。
2.給湯管の保温はGW保温筒20mmとする。

石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	履歴 ver.20221201	完成図作成（受注者名） 日付 ○○.○○.○○ 整理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 整理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	法適合確認欄 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	製作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 給排水衛生設備 系統図	業務契約コード 108557-02 縮尺 A1:N.S A3:N.S	図面番号 MP-03	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



注記
1. 量水器BOX蓋は小窓付きとする。
2. ////// はコンクリート根巻を示す。

汚水桝

（設計ＧＬ＝44.95m）

記号	名称	大きさ	地盤高 (m)	管底高 (m)	桝深さ (mm)	蓋仕様	備考
①	インバート桝 SC-3	600x600	44.95	44.15	800	MHD-600	
②	インバート桝 SC-3	600x600	44.95	44.04	910	MHD-600	
③	インバート桝 SC-3	600x600	44.95	43.93	1.020	MHD-600	
④	インバート桝 SC-3	600x600	44.95	43.82	1.130	MHD-600	
⑤	インバート桝 SC-4	900 φ	44.95	43.71	1.240	MHA-600	
⑥	インバート桝 SC-3	600x600	44.95	43.09	800	MHA-600	
⑦	インバート桝 SC-3	600x600	44.95	44.15	850	MHA-600	
⑧	インバート桝 SC-3	600x600	44.95	44.00	950	MHA-600	
⑨	インバート桝 SC-3	600x600	44.95	43.97	980	MHA-600	
⑩	インバート桝 SC-3	600x600	44.95	43.92	1.030	MHA-600	
⑪	インバート桝 SC-3	600x600	44.95	43.88	1.070	MHA-600	
⑫	インバート桝 SC-4	900 φ	44.95	43.72	1.230	MHA-600	
⑬	インバート桝 SC-4	900 φ	44.95	43.58	1.370	MHD-600	
⑭	インバート桝 SC-4	900 φ	44.95	43.51	1.440	MHD-600	
⑮	インバート桝 SC-2	450x450	44.95	44.35	600	MHA-450	
⑯	インバート桝 SC-3	600x600	44.95	44.29	660	MHA-600	
⑰	インバート桝 SC-3	600x600	45.42	44.22	730	MHD-600	
⑱	インバート桝 SC-4	900 φ	45.42	43.43	1.990	MHD-600	
⑲	インバート桝 SC-1	350x350	45.42	45.09	330	MHD-350	
Ⓐ	浸透桝	600x600	44.95	44.15	800	MHA-600	
Ⓑ	浸透桝	600x600	44.95	44.15	800	MHD-600	

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成（成注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承認
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認書
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図（仕様書）に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認書
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号
本図（仕様書）に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

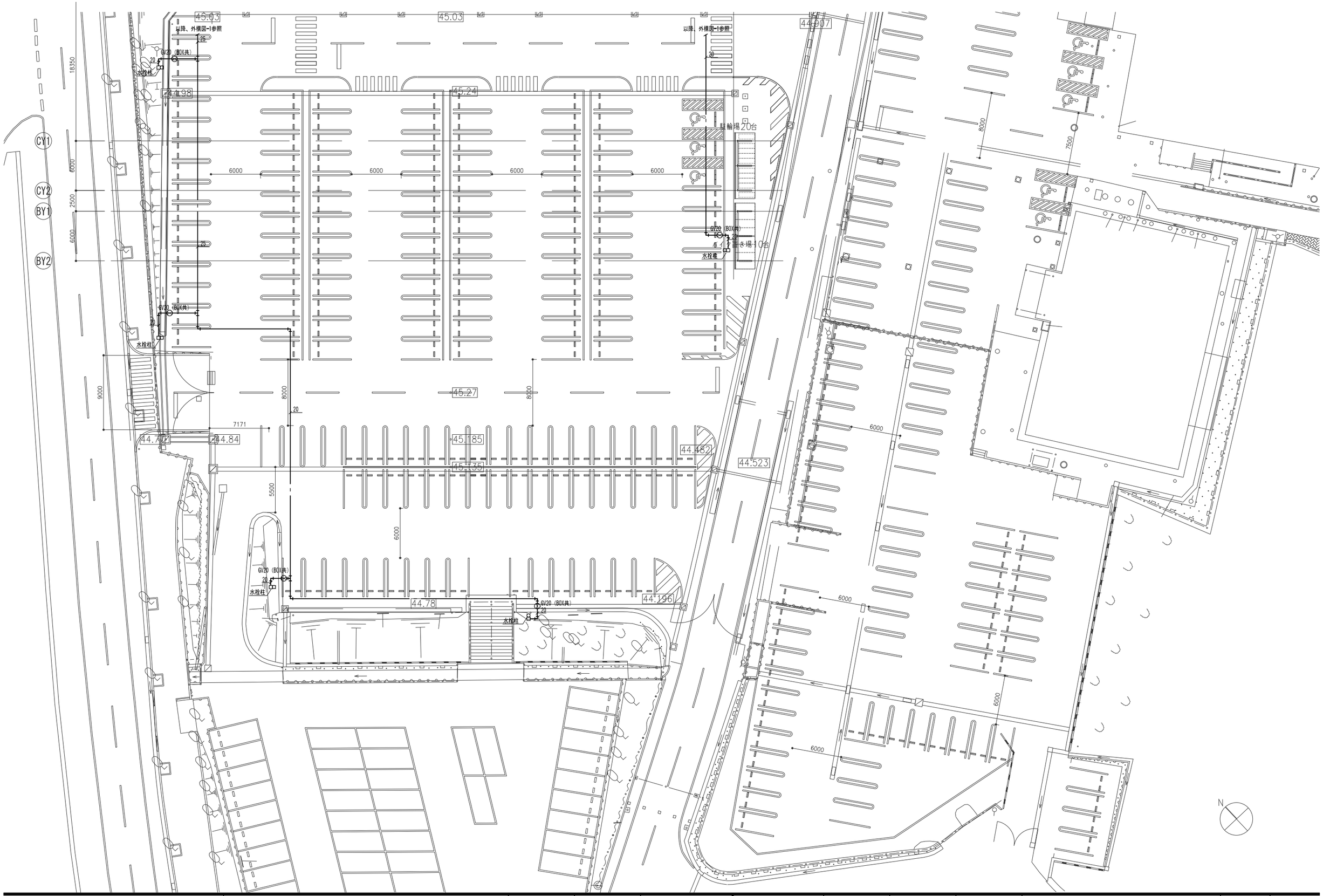
代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邊 正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事
業務契約コード 108557-02
図面名称 給排水衛生設備 外構図－1
縮尺 A1:1/200 A3:1/400

図面番号 MP-04

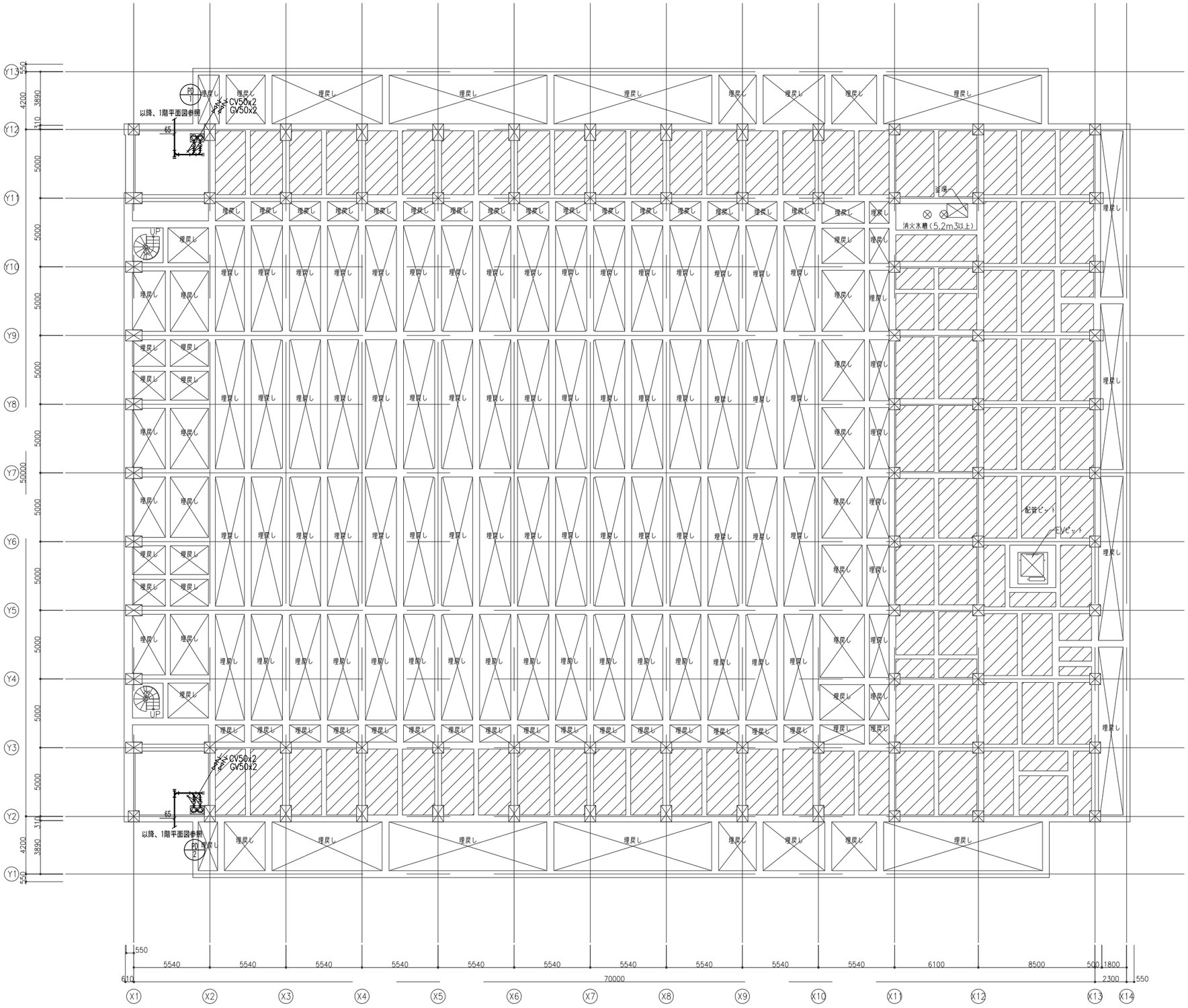
管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

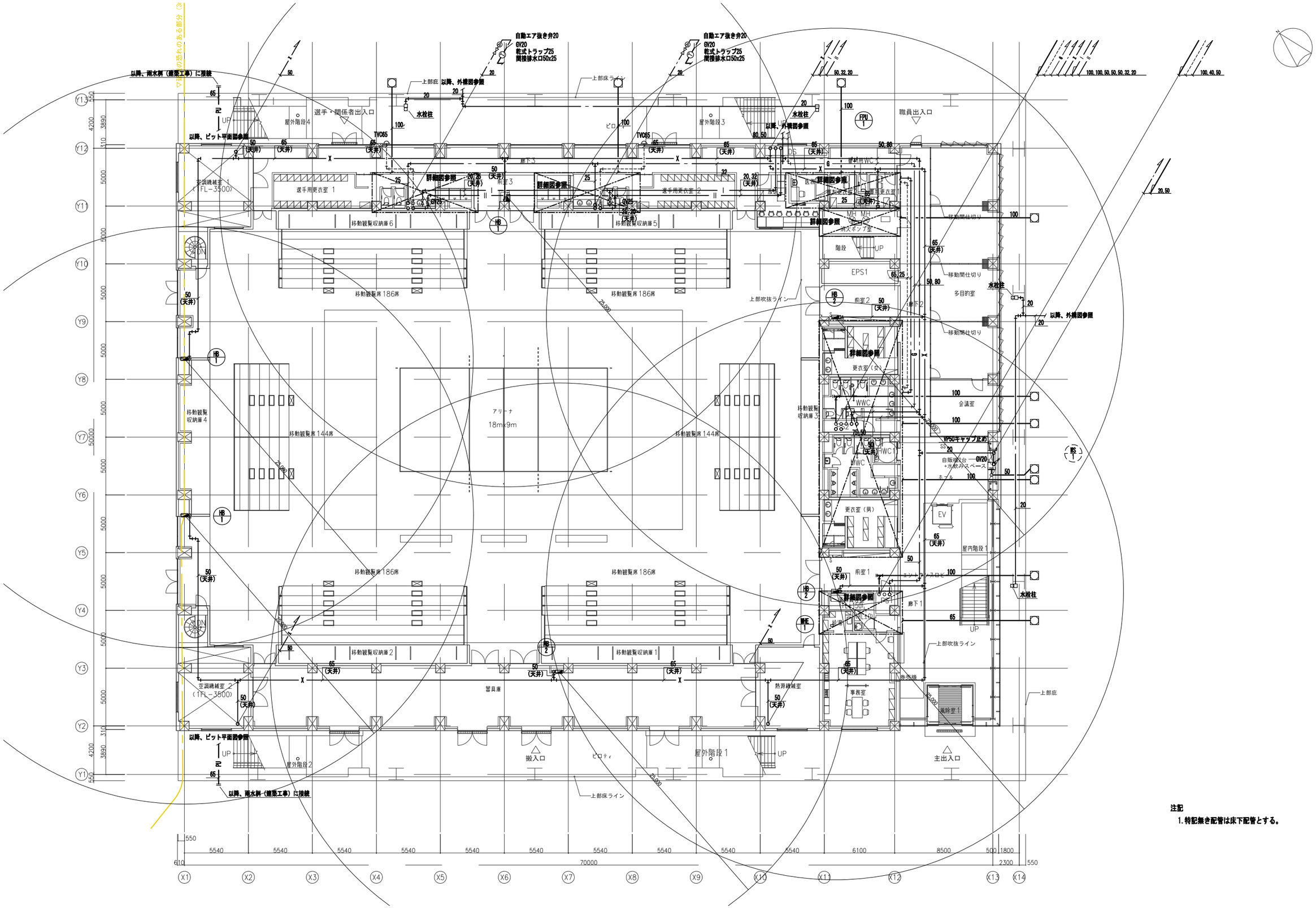
ver.20221201

履歴	完成図作成（提出者名） 日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認書 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図（仕様書）に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	法適合確認書 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図（仕様書）に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	製作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 給排水衛生設備 外構図－2	業務契約コード 108557－02 縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 MP－05	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

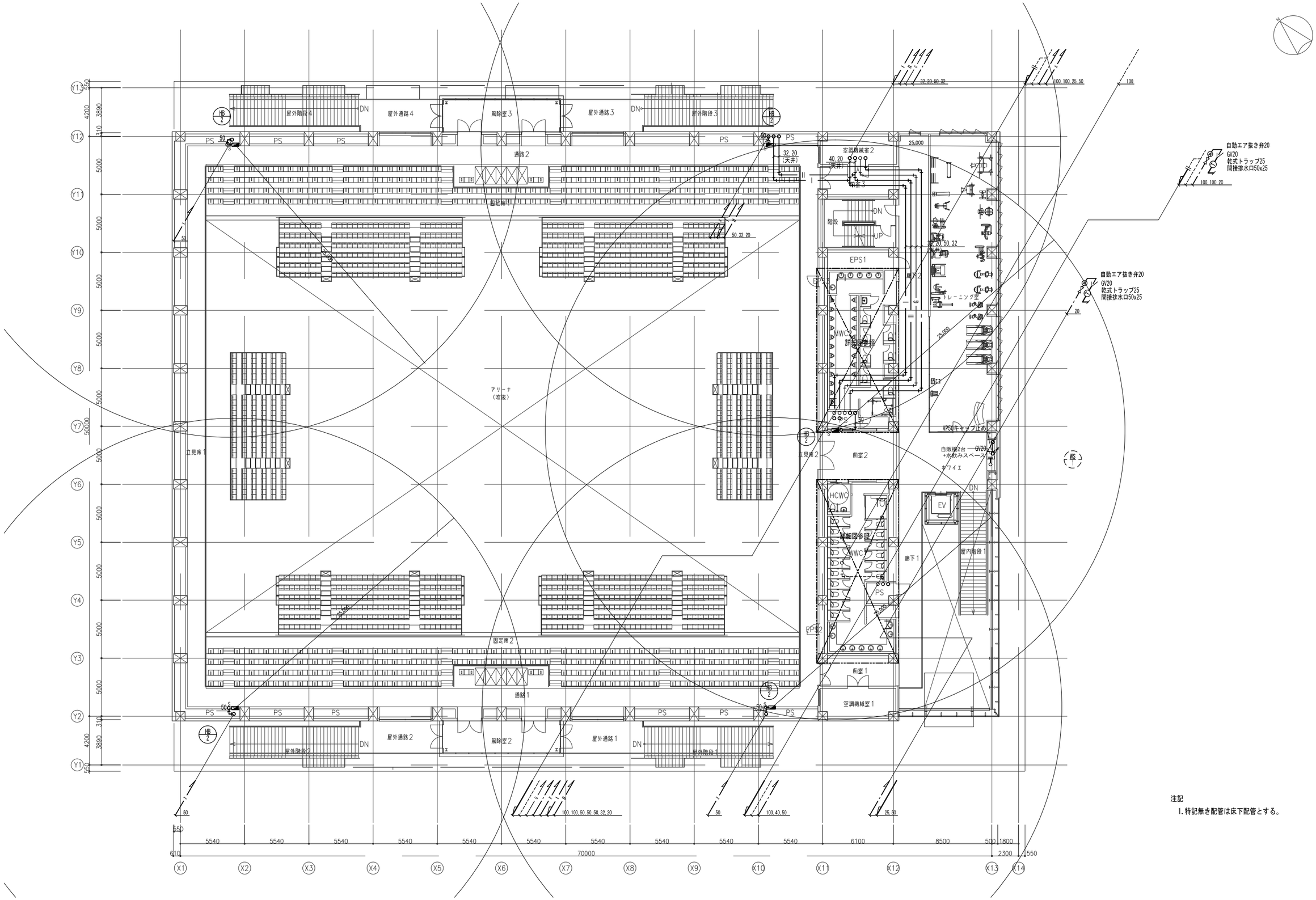
履歴	完成図作成（成注者名）	完成図承諾	法適合確認欄	法適合確認欄	製作日	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約コードF	図面番号	管理建築士
ver.20221201	日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図（仕様書）に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図（仕様書）に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	2024.03 ファイル名 ○○○○○	一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	（仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 給排水衛生設備 ピット平面図	108557−02 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	MP−06	一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



注記

1. 特記無き配管は床下配管とする。

石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	履歴 ver.20221201	完成図作成（受注者名） 日付 ○○.○○.○○ 整理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 整理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	法適合確認欄 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	製作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 給排水衛生設備 1階平面図	業務契約コード 108557−02 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図面番号 MP−07	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

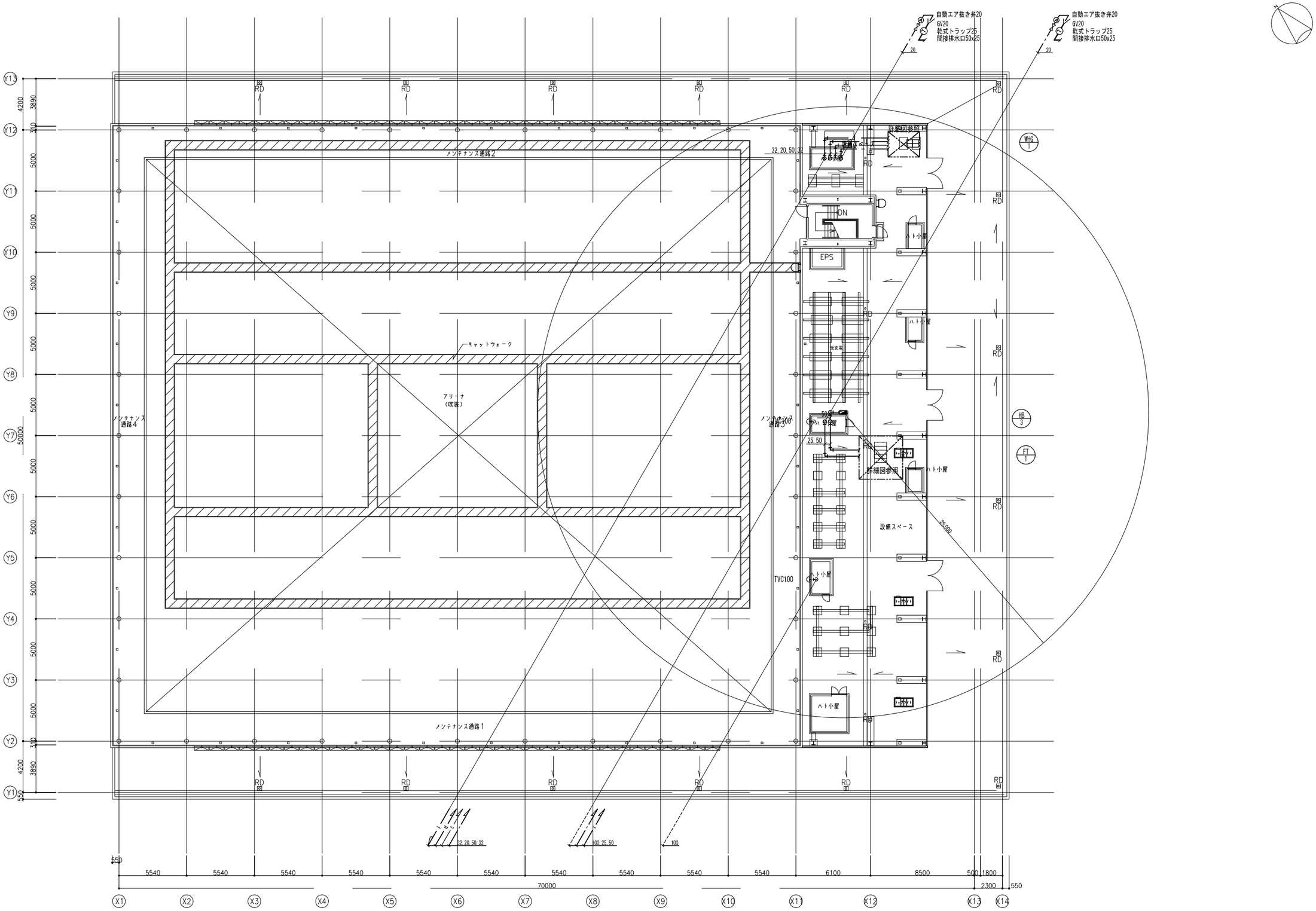


注記

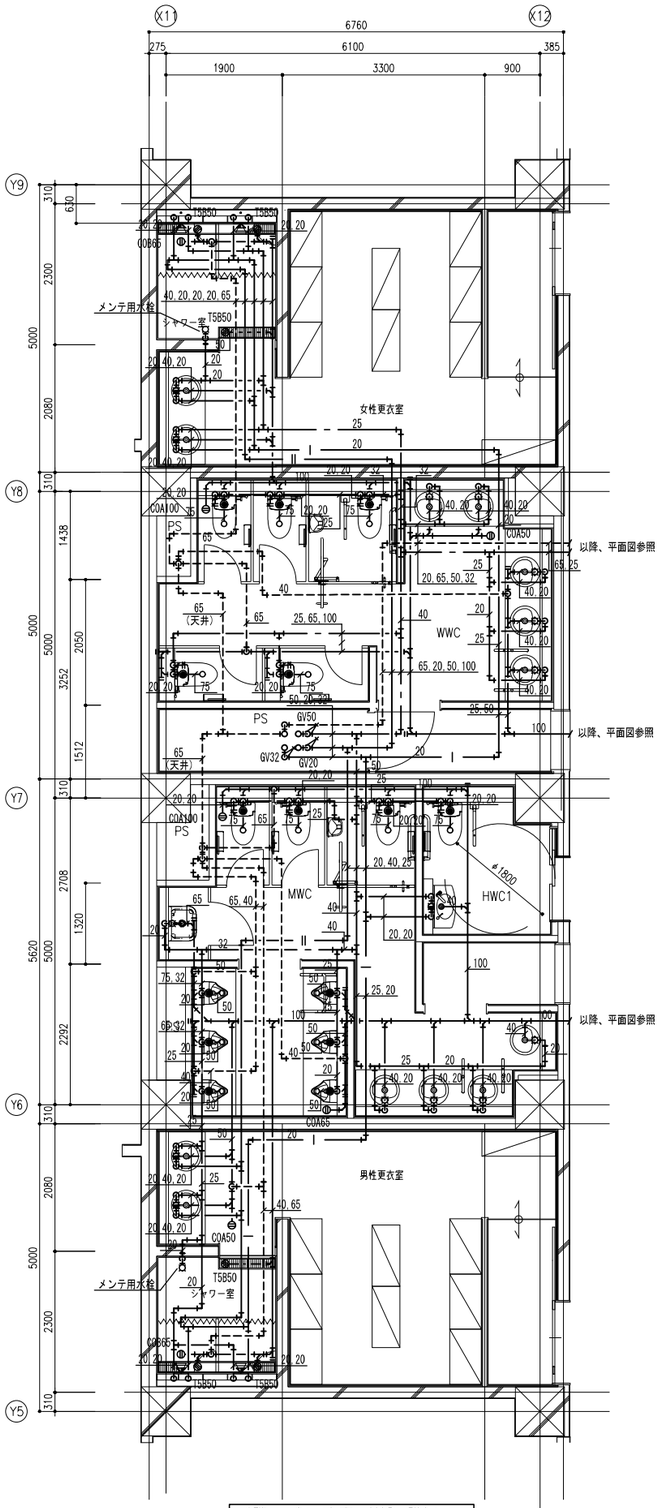
1. 特記無き配管は床下配管とする。

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

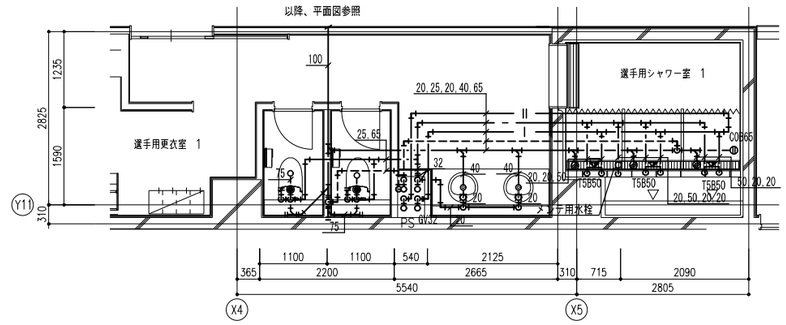
履歴 ver.20221201	完成図作成（受注者名） 日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認書 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図（仕様書）に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	設備適合確認書 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図（仕様書）に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	製作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 給排水衛生設備 2階平面図	業務契約コード 108557-02 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図面番号 MP-08	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



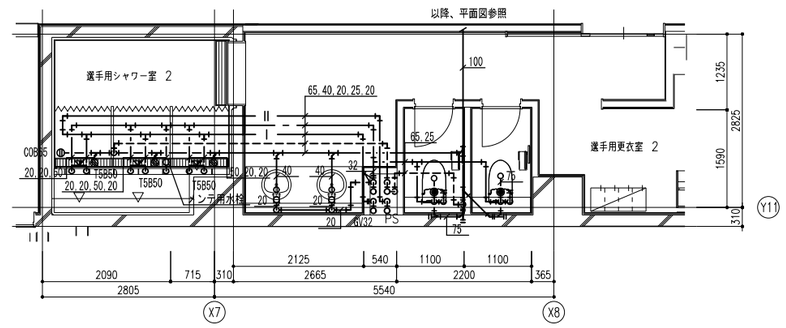
石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	履歴 ver.20221201	完成図作成（受注者名） 日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認書 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	法適合確認書 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○ ○○ 証交付番号 第○○○○号	制作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2024.03	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊 正也	業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 給排水衛生設備 R階平面図	業務契約コード 108557-02 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図面番号 MP-09	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



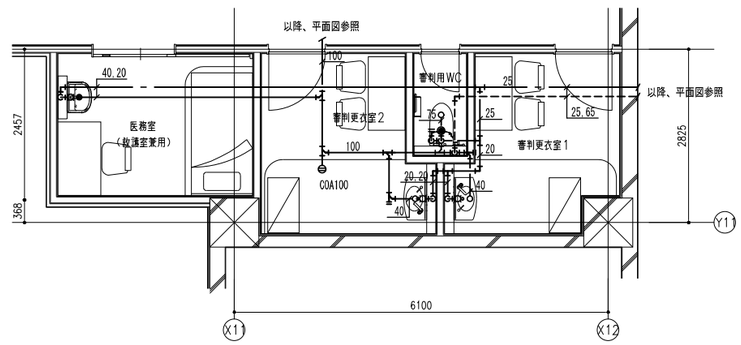
1階　一般更衣室・WC　詳細図



1階　選手更衣室・WC1　詳細図



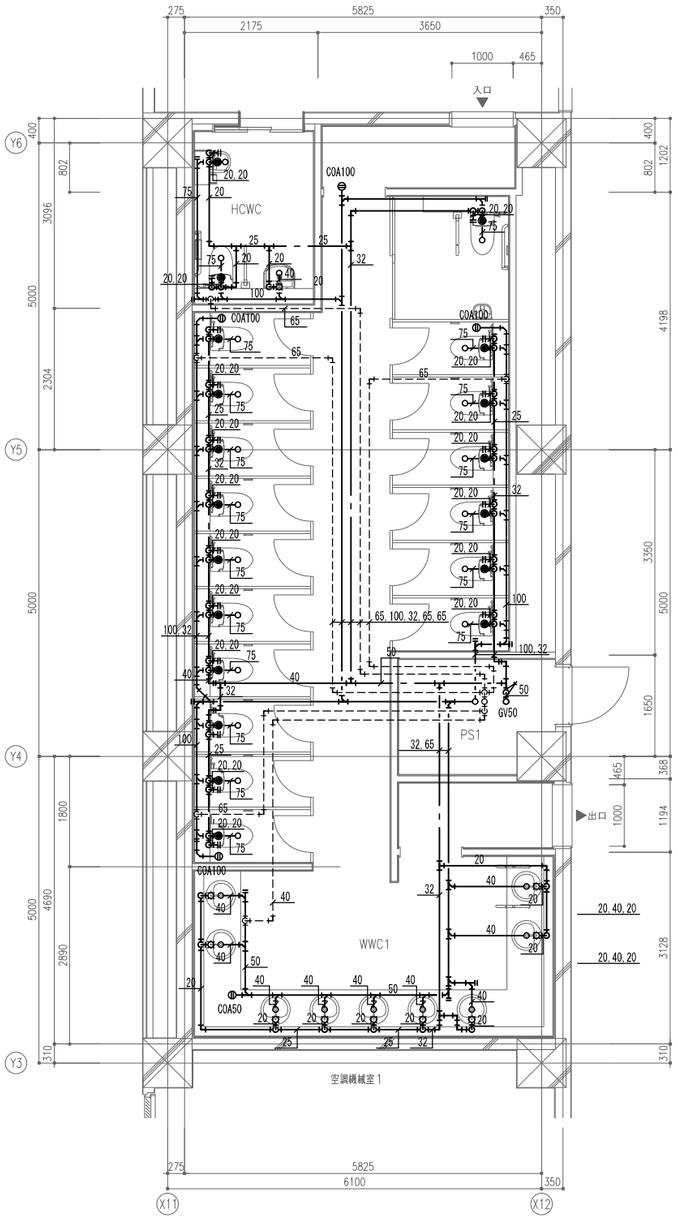
1階　選手更衣室・WC2　詳細図



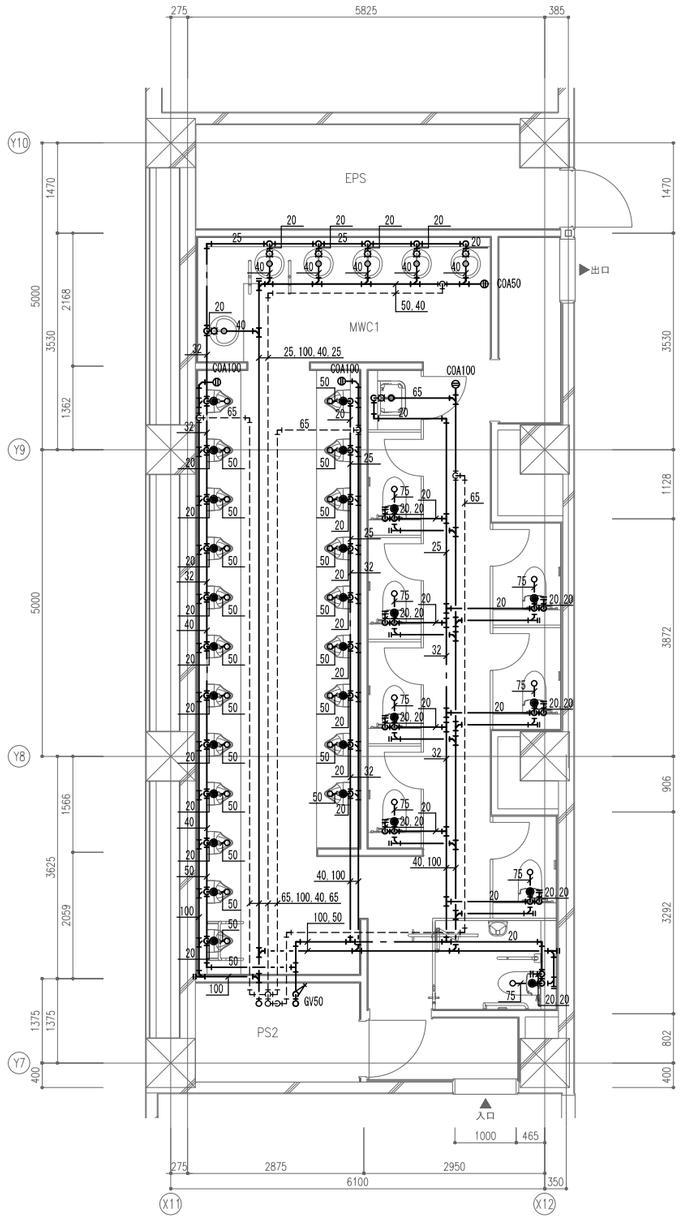
1階　医務室・審判更衣室1,2　詳細図

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴 ver.20221201	完成図作成（受注者名） 日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○　○○ 担当者 ○○　○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○　○○ 担当者 ○○　○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 山田　和生 証交付番号 第11279号 本図（仕様書）に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田　和生 証交付番号 第11279号	法適合確認欄 設備設計一級建築士 ○○　○○ 証交付番号 第○○○○号 本図（仕様書）に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○　○○ 証交付番号 第○○○○号	制作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西　重隆 日付 2024.03	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊　正也	業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事 図面名称 給排水衛生設備　詳細図－1	業務契約コード 108557-02 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 MP-10	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

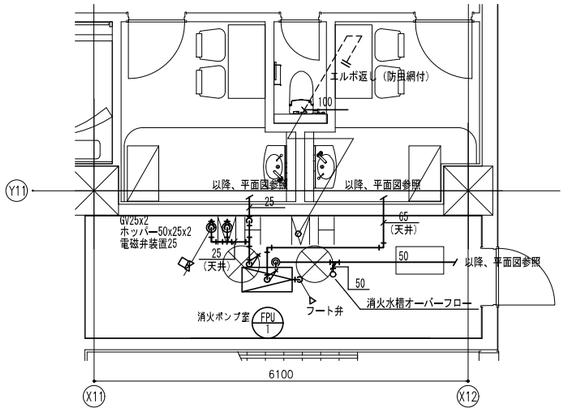


2階　WWC　詳細図



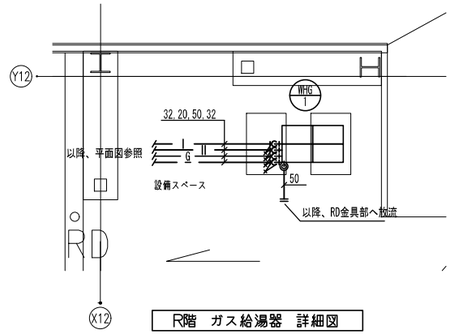
2階　MWC　詳細図

石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	履歴 ver.20221201	完成図作成（受注者名） 日付 ○○.○○.○○ 監理技術者 ○○　○○ 担当者 ○○　○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○　○○ 担当者 ○○　○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 山田　和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田　和生 証交付番号 第11279号	法適合確認欄 設備設計一級建築士 ○○　○○ 証交付番号 第○○○○○号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 ○○　○○ 証交付番号 第○○○○○号	製作日 2024.03 ファイル名 ○○○○○	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西　重隆 日付 2024.03	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邊　正也	業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事 業務契約コード 108557-02 図面名称 給排水衛生設備　詳細図－2 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 MP-11	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



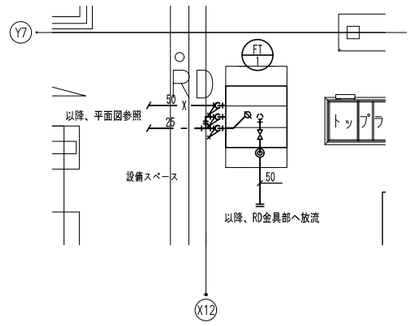
1階　消火ポンプ室　詳細図

FPU-1			x 1組
種　別	弁　　類		個数
消火	GV	65	1
	CV	65	1
	FJ	65	1
給水	GV	20	1
	FJ	20	1
排水	目皿	50	1
	間接排水口	100x50	1



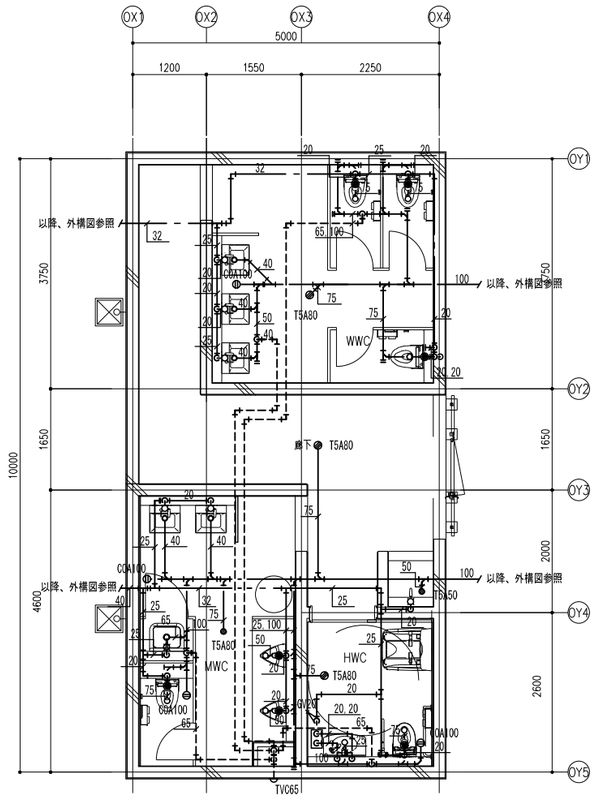
R階　ガス給湯器　詳細図

WHG-1			x 1台
種　別	弁　　類		個数
給水	GV	32	1
	FJ	32	1
給湯	GV	32	1
	FJ	32	1
	GV	20	1
	FJ	20	1
ガス	GC	50	1
排水	間接排水口	100x50	1

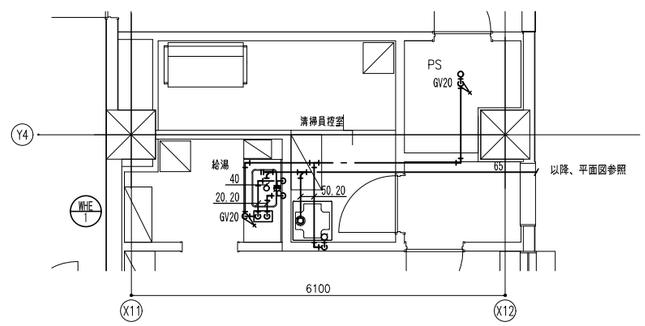


R階　消火補給水槽　詳細図

FT-1			x 1組
種　別	弁　　類		個数
給水	GV	25	2
	FJ	25	2
	BT	25	1
消火	GV	50	1
	FJ	50	1
	CV	50	1
排水	GV	50	1
	間接排水エロ	100x50	1



屋外WC　詳細図

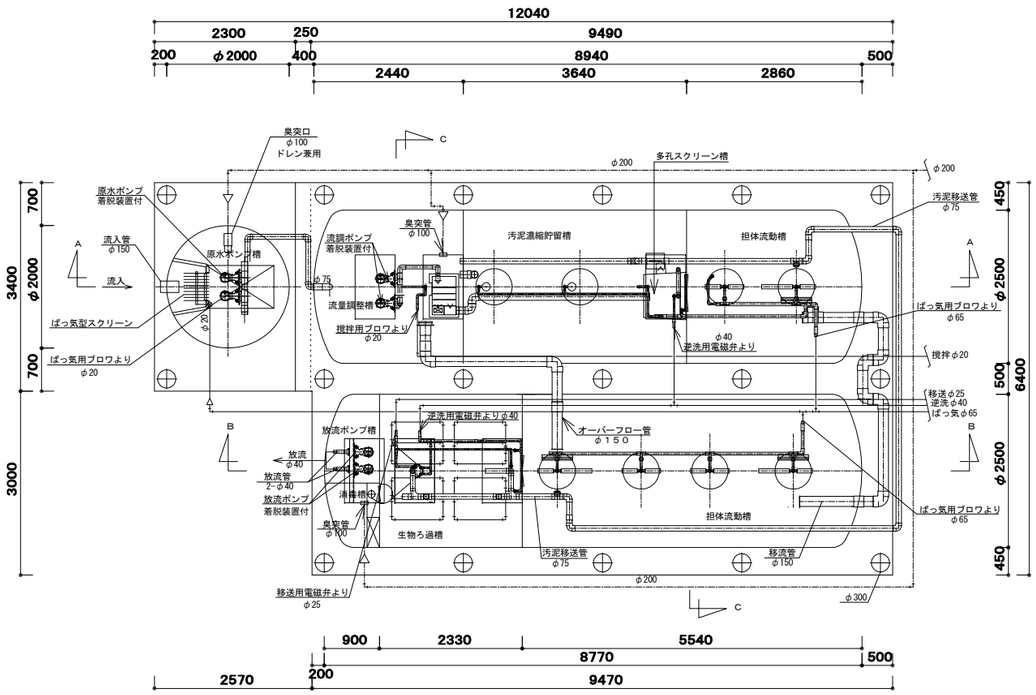


1階　給湯室　詳細図

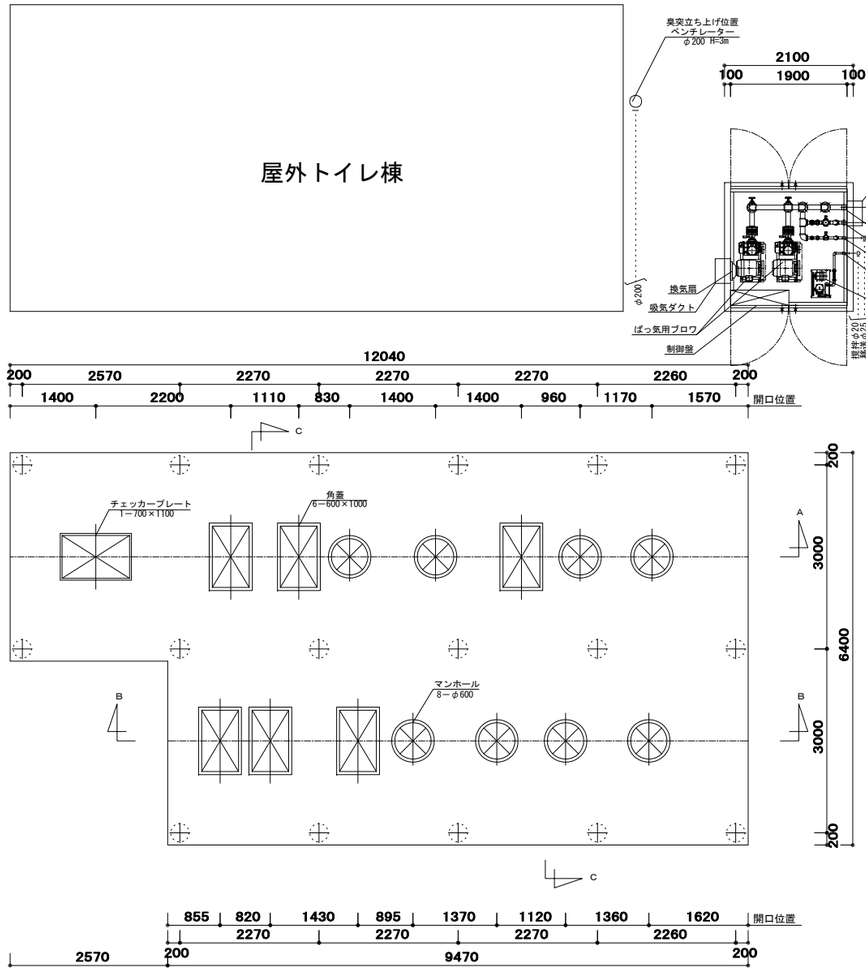
石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

ver.20221201

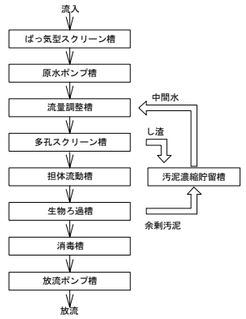
履歴	完成図作成（受注者名）	完成図承認	法適合確認書	法適合確認書	製作日	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約コード	図面番号	管理建築士
	日付 ○○.○○.○○	日付 ○○.○○.○○	構造設計一級建築士 山田　和生	設備設計一級建築士 ○○　○○	2024.03	一級建築士	一級建築士	（仮称）福智町総合体育館新築工事	108557-02	MP-12	一級建築士
	監理技術者 ○○　○○	監理者 ○○　○○	証交付番号 第11279号	証交付番号 第○○○○号	ファイル名	大臣登録第280701号	大臣登録第365367号	図面名称	縮尺		大臣登録第280701号
	担当者 ○○　○○	担当者 ○○　○○	本図（仕様書）に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	本図（仕様書）に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	○○○○○	西　重隆	三田井知希	給排水衛生設備　詳細図－3	A1:1/50 A3:1/100		西重隆
			構造設計一級建築士 山田　和生 証交付番号 第11279号	設備設計一級建築士 ○○　○○ 証交付番号 第○○○○号	日付 2024.03	担当者 山邊　正也					



平　面　図　　S＝1／50



頂版開口図　　S＝1／50



フローシート

建築基準法第６８条の２６第１項の規定に基づき、同法施行令第３５条第１項の大臣認定による流量調整担体流動生物ろ過方式三次処理	
処理対象人員	４９５人
日平均汚水量	８０．０m^3／日
流入ＢＯＤ	２６０mg／Ｌ
放出ＢＯＤ	２０mg／Ｌ
容　量　表　（m^3）	
ばっ気型スクリーン槽	０．４６４
原水ポンプ槽	３．２５５
流量調整槽	８．０２５
汚泥濃縮貯留槽	１３．７３５
多孔スクリーン槽	０．７３１
担体流動槽	３４．７０２
生物ろ過槽	１０．０３７
消毒槽	０．９９１
放流ポンプ槽	１．０００

機器仕様表

機器名	口径	出力 kw	相・電圧	吐出量 m^3/min	台数
ばっ気用ブロワ	６５Ａ	３．７０	三相・２００Ｖ	２．６２	２
撹拌用ブロワ	２０Ａ	０．２０	三相・２００Ｖ	０．１５	１
原水ポンプ(着脱)	５０Ａ	０．４０	三相・２００Ｖ	０．２４	２
流調ポンプ(着脱)	５０Ａ	０．２５	三相・２００Ｖ	０．１６８	２
放流ポンプ(着脱)	４０Ａ	０．２５	三相・２００Ｖ	０．１８０	２
移送用電磁弁	２５Ａ	０．０１	単相・２００Ｖ		１
逆洗用電磁弁	４０Ａ	０．０４８	単相・２００Ｖ		１

参考型式：ダイキ浄化槽　ＲＢＣ-４９５Ｂ１型

参考認定番号：8-20K-H-001-1

スラブ荷重はＴ－１４とする。

マンホール及び角蓋は、防臭型ロック式とする。

チェッカープレートは、防臭型ロック式及び溶融亜鉛メッキの上タールエポ仕上げとする。

臭突工事は、本工事とする。（臭突排気風量4.16m^3/分）

臭突横引き配管は、上り勾配施工とする。

流入・放流配管は、浄化槽工事外とする。

浄化槽流入部付近に給水栓を設けること。但し、浄化槽工事外とする。

円筒槽の補強リングは、ＦＲＰ製とする。

かさ上げ100mmです。かさ上げは300mm以下と決められています。

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○　○○
担当者 ○○　○○

完成図承諾
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○　○○
担当者 ○○　○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田　和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田　和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

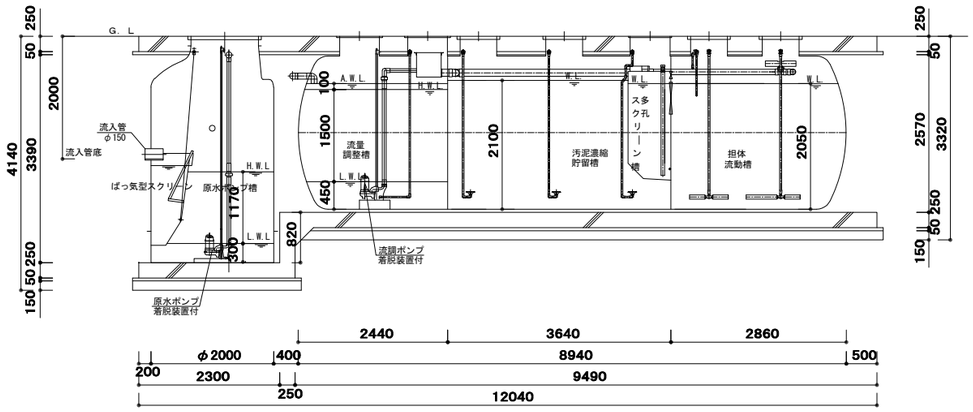
代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西　重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邉　正也

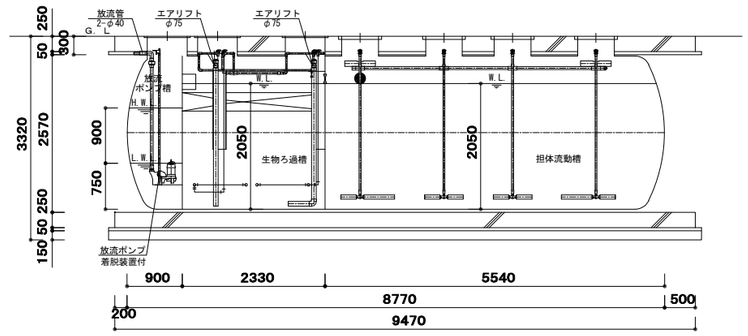
業務名称 (仮称) 福智町総合体育館新築工事
業務契約コード I08557-02
図面名称 浄化槽設備　平面図
縮尺 A1:1/50 A3:1/100

図面番号 MJ-01

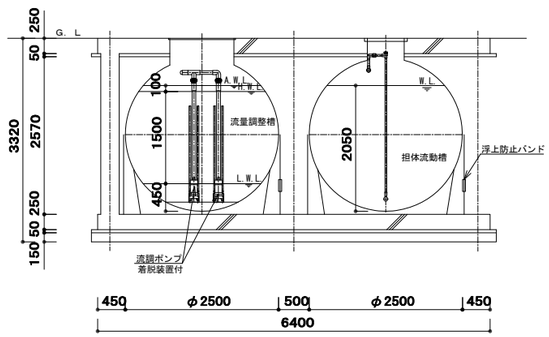
管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆



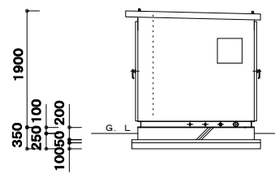
A－A断面図　S＝1／50



B－B断面図　S＝1／50



C－C断面図　S＝1／50



機械室断面図　S＝1／50

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver.20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○　○○
担当者 ○○　○○

完成図承諾
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○　○○
担当者 ○○　○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田　和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田　和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

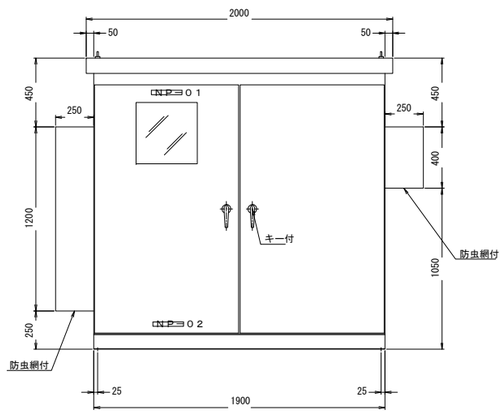
代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西　重隆
日付 2024.03

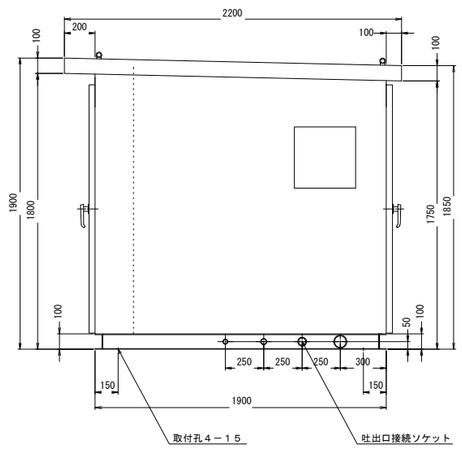
設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邉　正也

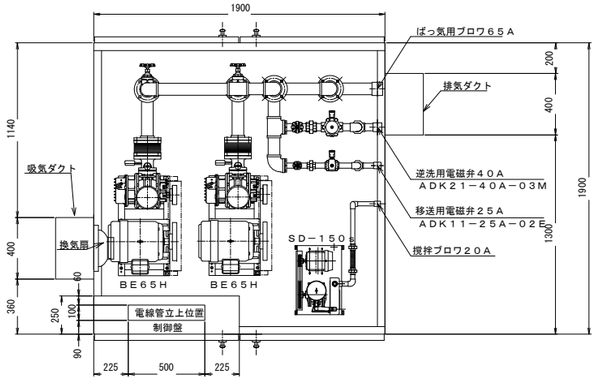
業務名称 (仮称) 福智町総合体育館新築工事
業務契約コード I08557-02
図面名称 浄化槽設備　断面図
縮尺 A1:1/50 A3:1/100

図面番号 MJ-02

管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆







※配管図は、参考図とする。

本 体 仕 様

１．構 造	屋 外 自 立 防 水 型
２．材 料	ＳＰＨＣ　ｔ＝２．３
	１００×５０　チャンネル
３．塗装色	５Ｙ７/１
４．防音材	内部グラスウール３２Ｋ（２５ｔ）

特 記 事 項

１．ブロワ電磁弁は、配管を含む。

２．ブロワは、防振ゴムにて取付。

３．換気扇は、サーモを付属する。

４．吸排気ダクト内はグラスウール３２Ｋ（２５ｔ）付

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver. 20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承諾
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邉 正也

業務名称 (仮称) 福智町総合体育館新築工事
業務契約コード I08557-02
図面名称 浄化槽設備 機械室詳細図
縮尺 A1:1/20 A3:1/40

図面番号 MJ-03

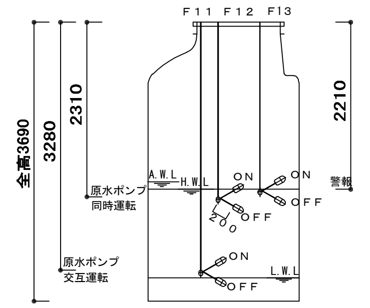
管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

動作表

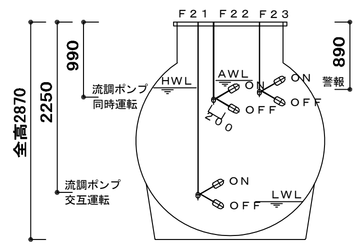
機器NO.	機器名称	警報 満水	警報 故障 漏電	警報 故障 過負荷	機器選択 手動	機器選択 自動	機器選択 自動（自交）	故障時移行	備考
Ｍ１	ＮＯ．１ばっ気用ブロワ		○	○	○		○	○	タイマ設定による自動交互運転。 ただし、逆洗時間帯は切替を行わず、逆洗終了時に切替え。
Ｍ２	ＮＯ．２ばっ気用ブロワ		○	○					
Ｍ３	撹拌用ブロワ		○	○	○				入−切
Ｍ４	ＮＯ．１原水ポンプ	○	○	○	○		○	○	＊機器番号選択時、原水ポンプ槽Ｌ以上検出にて選択機運転。Ｌ未満にて停止。 ＊交互選択時、原水ポンプ槽Ｌ以上検出にて1台交互運転。Ｌ未満で停止にて、次回１台運転時、他方の機器を運転。（自動交互） ＊交互選択時、原水ポンプ槽Ｈ以上検出中は2台同時運転。 ＊原水ポンプ槽Ａ以上で満水警報。
Ｍ５	ＮＯ．２原水ポンプ		○	○					
Ｍ６	ＮＯ．１流調ポンプ	○	○	○	○		○	○	＊逆洗工程終了後の沈殿中および、逆洗工程中の汚泥移送・逆洗電磁弁運転中は停止。逆洗工程中は水位に関係なく運転。 逆洗工程終了後の沈殿工程で　流量調整槽H以上を検出すれば逆洗工程を一時中断し、H以下になるまで運転。 ＊機器番号選択時、流量調整槽Ｌ以上検出にて選択機運転。Ｌ未満にて停止。 ＊交互選択時、流量調整槽Ｌ以上検出にて1台交互運転。Ｌ未満で停止にて、次回１台運転時、前回とは他方の機器を運転。 （自動交互）＊交互選択時、流量調整槽Ｈ以上検出中は2台同時運転。＊流量調整槽ＡＷＬ以上で満水警報。
Ｍ７	ＮＯ．２流調ポンプ		○	○					
Ｍ８	ＮＯ．１放流ポンプ	○	○	○	○		○	○	＊機器番号選択時、放流ポンプ槽Ｌ以上検出にて選択機運転。Ｌ未満にて停止。 ＊交互選択時、放流ポンプ槽Ｌ以上検出にて1台交互運転。Ｌ未満で停止にて、次回１台運転時、前回とは他方の機器を運転。（自動交互） ＊交互選択時、放流ポンプ槽Ｈ以上検出中は2台同時運転。 ＊放流ポンプ槽Ａ以上で満水警報。
Ｍ９	ＮＯ．２放流ポンプ		○	○					
Ｍ１０	臭突ファン		○	○	○				切−入
ＳＶ１	移送用電磁弁		○		○	○			＊逆洗時間帯の汚泥移送動作中にタイマ設定時間運転。 ＊逆洗時間帯外の通常運転中に、タイマ設定による間欠運転。ただし、間欠オフ時間に「０」設定にて連続運転。
ＳＶ２	逆洗用電磁弁				○	○			＊逆洗時間帯の逆洗動作中にタイマ設定時間運転。

タイマ設定

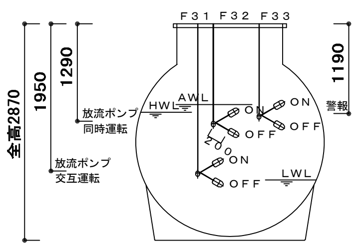
タイマ種類	初期設定	役割	備考
ブロワ交互運転 （24Hタイマ）	起点時刻設定　０：００ サイクル１２時間毎(1～24)	ブロワの交互運転用	タイマー設定時間にブロワを交互に動作させます。（ブロワの故障予防） 通常設定を変更する必要はありません
切替(通常/逆洗) （24Hタイマ）	1:00～4:00「ＯＮ」 （３項目設定可能）	通常運転と逆洗運転の切替をします	「ＯＮ」の間に逆洗運転が行われます。
汚泥移送(通常) （ツインタイマ）	5分「ＯＮ」 175分「ＯＦＦ」	通常運転での汚泥移送を行います	「ＯＮ」の間に汚泥移送が行われます。 「ＯＦＦ」の時間と合わせて３時間おきとなっています。
沈殿(通常) （ソリッドタイマ）	30分「ＯＮ」 ※60分まで設定できること	逆洗運転終了後、流入による汚泥流出を抑える為に槽内汚泥を沈殿させます	「ＯＮ」の間、流調ポンプを停止させ生物ろ過槽内汚泥の沈殿を行います。 但し、流量調整槽の水位がHWLに達した場合ポンプが起動します。 ※このタイマは通常運転時に切り替わった時点から３０分間起動するタイマです。
汚泥移送(逆洗) （ツインタイマ）	10分「ＯＮ」 15分「ＯＦＦ」	逆洗運転時の汚泥移送を行います	「ＯＮ」の間汚泥移送が行われます。 「ＯＦＦ」の間１０分間逆洗が行われます。残りの５分で水位を回復させますので必ず、 「ＯＦＦ」時間－「逆洗」時間＝５分となるように設定して下さい。
逆洗 （ソリッドタイマ）	10分「ＯＮ」	逆洗運転時に逆洗を行います	「ＯＮ」の間生物ろ過槽内をばっ気し、ろ材の逆洗を行います。 逆洗は汚泥移送（逆洗）タイマが「ＯＦＦ」の間に行います。 ※このタイマは逆洗運転時に汚泥移送（逆洗）タイマが「ＯＦＦ」に切り替わった時点から１０分間起動するタイマです。



原水ポンプ槽（フロート：ＲＦ－５）



流量調整槽（フロート：ＲＦ－５）



放流ポンプ槽（フロート：ＲＦ－５）

フロート位置参考図

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver. 20221201

完成図作成（受注者名）
日付 〇〇.〇〇.〇〇
監理技術者 〇〇　〇〇
担当者 〇〇　〇〇

完成図承諾
日付 〇〇.〇〇.〇〇
監理者 〇〇　〇〇
担当者 〇〇　〇〇

法適合確認欄
構造設計一級建築士　山田　和生
証交付番号　第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士　山田　和生
証交付番号　第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士　〇〇　〇〇
証交付番号　第〇〇〇〇号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士　〇〇　〇〇
証交付番号　第〇〇〇〇号

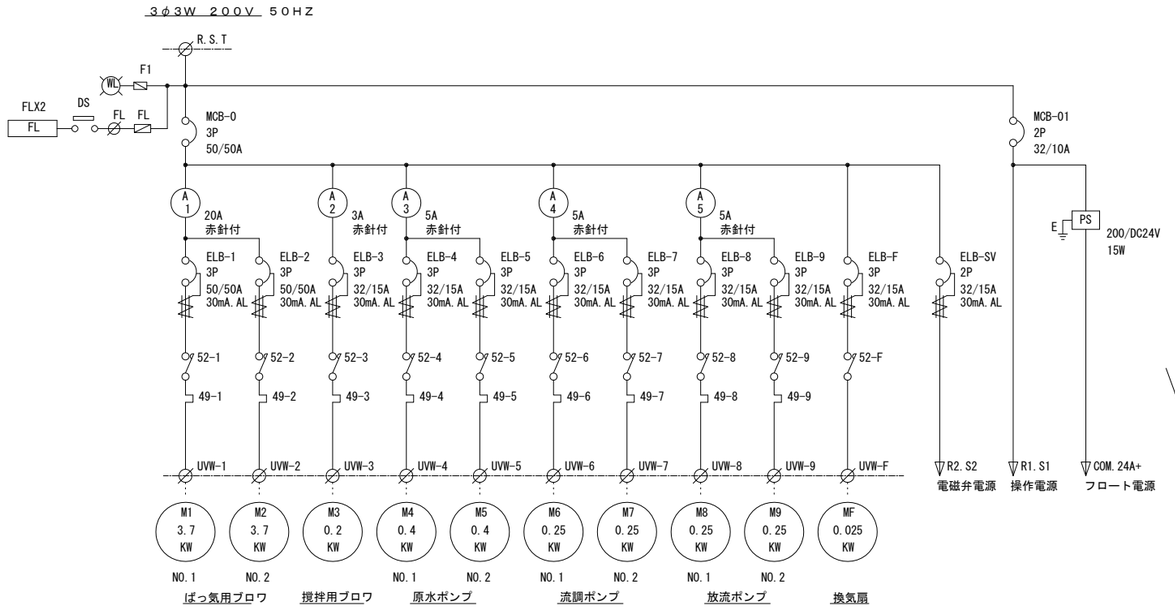
製作日 2024.03
ファイル名 〇〇〇〇〇

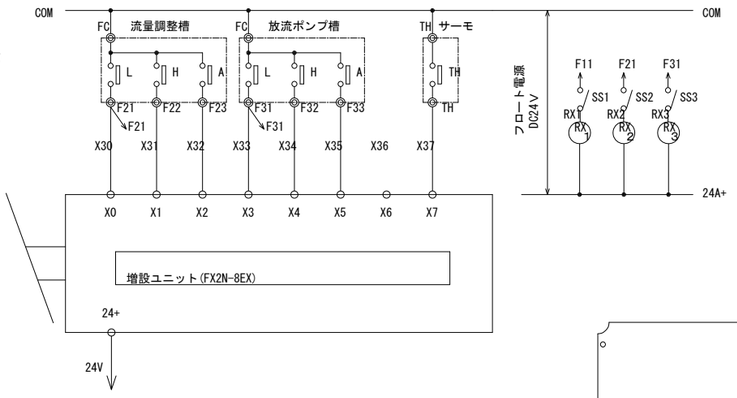
代表設計者
一級建築士
大臣登録第280701号
西　重隆
日付 2024.03

設計者
一級建築士
大臣登録第365367号
三田井知希
担当者 山邉　正也

業務名称 （仮称）福智町総合体育館新築工事
業務契約コード I08557-02
図面名称 浄化槽設備　　電気動作図
縮尺 A1:1/50　A3:1/100
図面番号 MJ-04

管理建築士
一級建築士
大臣登録第280701号
西重隆

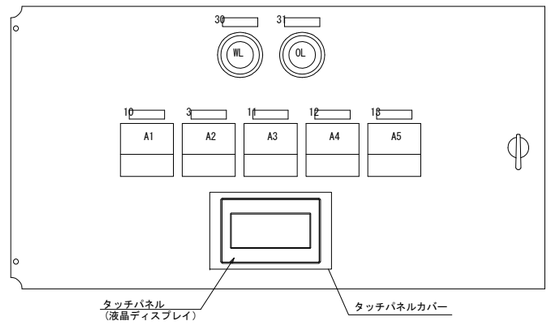


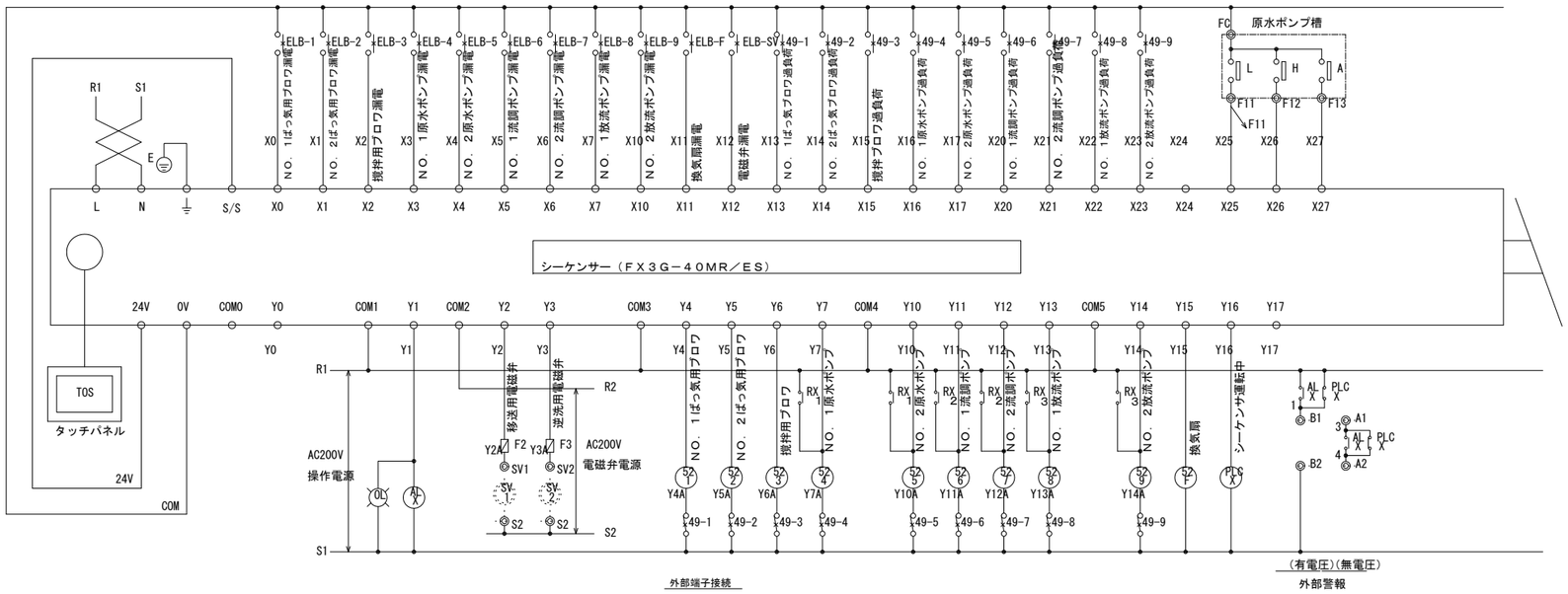


銘 板 表

記号	名 称
NP-01	汚水処理制御盤
NP-02	株式会社ダイキアクシス
1	ＮＯ．１ばっ気用ブロワ
2	ＮＯ．２ばっ気用ブロワ
3	撹拌用ブロワ
4	ＮＯ．１原水ポンプ
5	ＮＯ．２原水ポンプ
6	ＮＯ．１流調ポンプ
7	ＮＯ．２流調ポンプ
8	ＮＯ．１放流ポンプ
9	ＮＯ．２放流ポンプ
10	ばっ気用ブロワ
11	原水ポンプ
12	流調ポンプ
13	放流ポンプ
14	換気扇
20	主幹
21	操作電源
22	電磁弁電源
30	電源
31	一括警報
SS1.2.3	非常 入 切

中扉詳細図





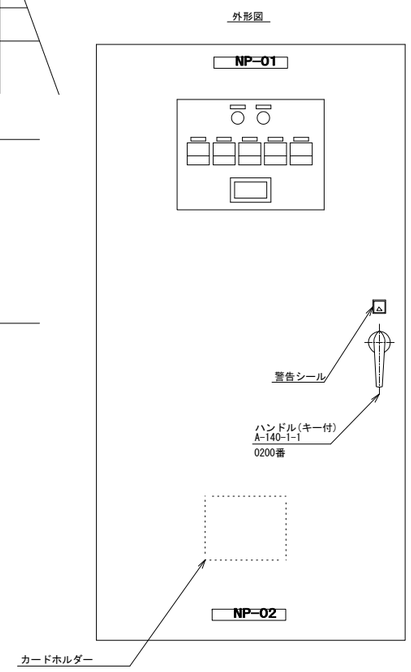
外部端子接続

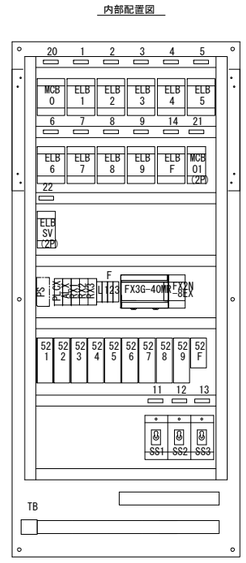
TB2

SV1	S2	SV2	S2	FC	F11	F12	F13	FC	F21	F22	F23	FC	F31	F32	F33	B1	B2	A1	A2	TH	TH	FL	FL		
移送用		逆洗用		原水ポンプ槽				流量調整槽				放流ポンプ槽				有電圧		無電圧							
電磁弁				フロート												警報				サーモ		蛍光灯		予備	

TB1

R	S	T	E	Ee	U1	V1	W1	Ee	U2	V2	W2	U3	V3	W3	Ee	U4	V4	W4	Ee	U5	V5	W5	U6	V6	W6	Ee	U7	V7	W7	U8	V8	W8	Ee	U9	V9	W9	UF	VF	WF	Ee
					NO.1				NO.2							NO.1				NO.2			NO.1				NO.2			NO.1				NO.2						
入力電源				短絡	ばっ気用ブロワ							撹拌用ブロワ				原水ポンプ							流調ポンプ							放流ポンプ							換気扇			





石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver. 20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○.○○.○○
監理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承諾
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○ ○○
証交付番号 第○○○○号

製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

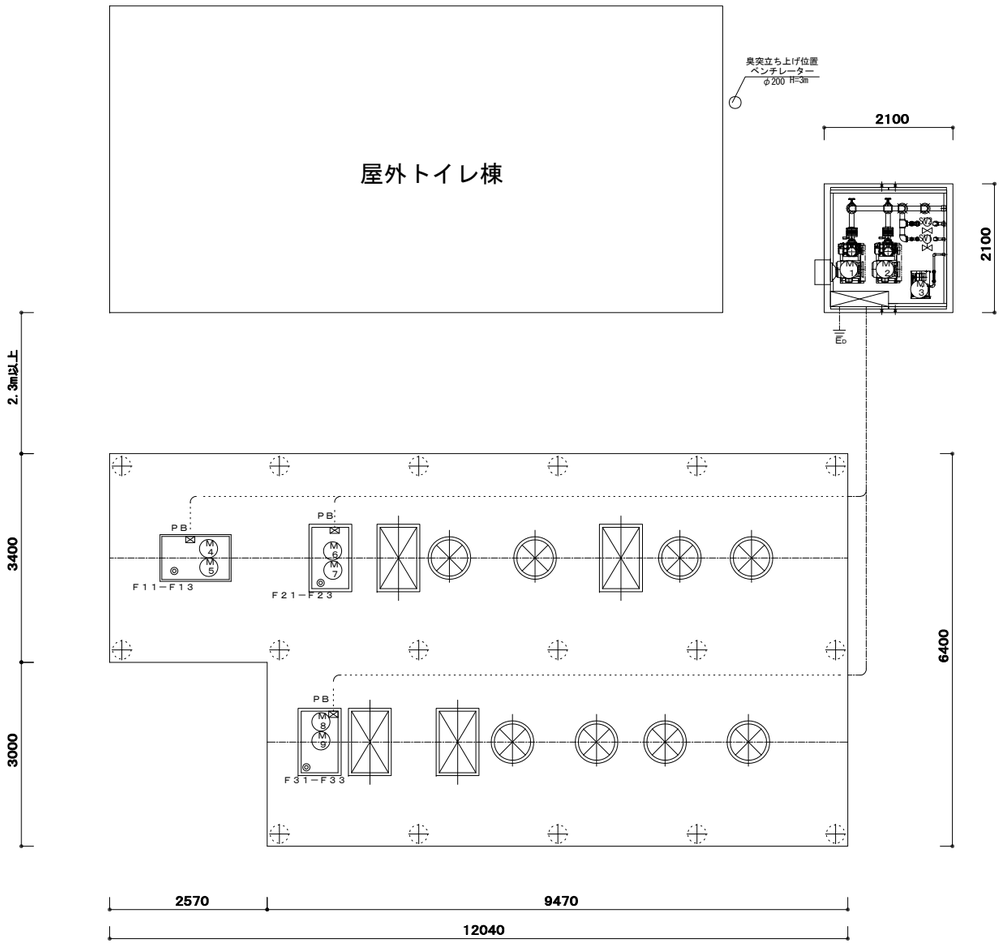
代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重陵
日付 2024.03

設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希
担当者 山邉 正也

業務名称 (仮称) 福智町総合体育館新築工事
業務契約コード 108557-02
図面名称 浄化槽設備 制御盤図
縮尺 A1: - A3: -

図面番号 MJ-05

管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重陵



二次側配線図　　S＝1／50

ケーブル間の接続部は充分な防水処理を行うこと。
電線管端末部にはコーキング処理を行うこと。
一次側電源引込み工事及び外部警報配管配線
工事は別途工事とする。

符号	機　器　名　称	容量（kW）	使用ケーブル、電線管	
M1	ＮＯ．１ばっ気用ブロワ	３．７０　kW	機械室設備に含む	
M2	ＮＯ．２ばっ気用ブロワ	３．７０　kW	機械室設備に含む	
M3	撹拌用ブロワ	０．２０　kW	機械室設備に含む	
M4	ＮＯ．１原水ポンプ	０．４０　kW	ＣＶ　２ mm^2　－４ 心	（ＰＦ２２）
M5	ＮＯ．２原水ポンプ	０．４０　kW	ＣＶ　２ mm^2　－４ 心	（ＰＦ２２）
M6	ＮＯ．１流調ポンプ	０．２５　kW	ＣＶ　２ mm^2　－４ 心	（ＰＦ２２）
M7	ＮＯ．２流調ポンプ	０．２５　kW	ＣＶ　２ mm^2　－４ 心	（ＰＦ２２）
M8	ＮＯ．１放流ポンプ	０．２５　kW	ＣＶ　２ mm^2　－４ 心	（ＰＦ２２）
M9	ＮＯ．２放流ポンプ	０．２５　kW	ＣＶ　２ mm^2　－４ 心	（ＰＦ２２）
SV1	移送用電磁弁　２５Ａモールドコイル ターミナルキャップ付	０．０１　kW	機械室設備に含む	
SV2	逆洗用電磁弁　４０Ａモールドコイル ターミナルキャップ付	０．０４８ kW	機械室設備に含む	
◉ Ｆ１１−Ｆ１３	原水ポンプ槽　フロートスイッチ		ＣＶＶ１．２５ mm^2 －４ 心	（ＰＦ２２）
◉ Ｆ２１−Ｆ２３	流量調整槽　フロートスイッチ		ＣＶＶ１．２５ mm^2 －４ 心	（ＰＦ２２）
◉ Ｆ３１−Ｆ３３	放流ポンプ槽　フロートスイッチ		ＣＶＶ１．２５ mm^2 －４ 心	（ＰＦ２２）
ＥＤ	Ｄ種接地工事		Ｅ　５．５ mm^2	（ＰＦ１６）
ＰＢ	１５ϕ^2 ｘ１００，ＶＥ（ＷＰ）			

石本建築事務所
ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴
ver. 20221201

完成図作成（受注者名）
日付 ○○. ○○. ○○
監理技術者 ○○　○○
担当者 ○○　○○

完成図承諾
日付 ○○. ○○. ○○
監理者 ○○　○○
担当者 ○○　○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士　山田　和生
証交付番号　第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士　山田　和生
証交付番号　第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号 第○○○○号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 ○○　○○
証交付番号 第○○○○号

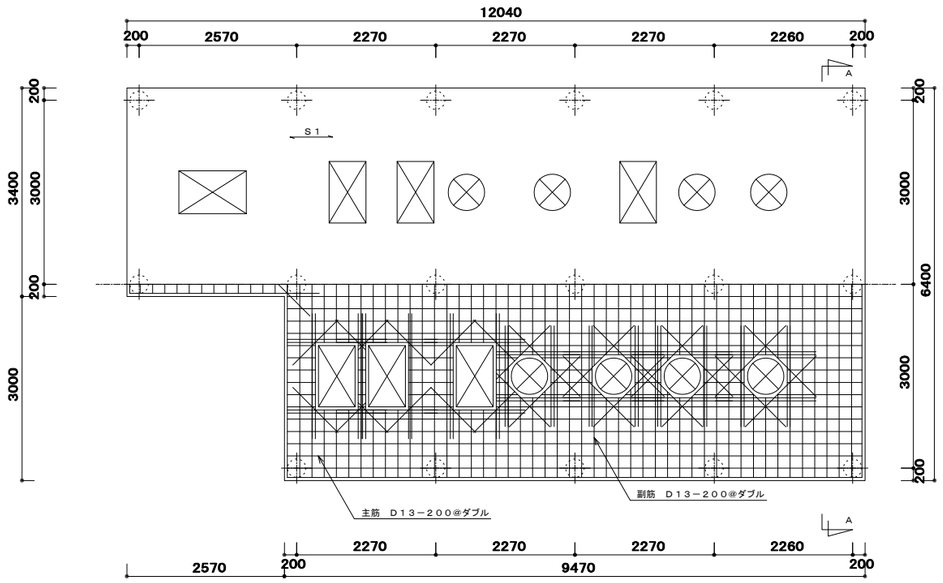
製作日 2024.03
ファイル名 ○○○○○

代表設計者
一級建築士
大臣登録第280701号
西　置隆
日付 2024.03

設計者
一級建築士
大臣登録第365367号
三田井知希
担当者 山邉　正也

業務名称 (仮称）福智町総合体育館新築工事
業務契約コード 108557-02
図面名称 浄化槽設備　2次側動力配線図
縮尺 A1:1/50 A3:1/100
図面番号 MJ-06

管理建築士
一級建築士
大臣登録第280701号
西置隆



頂版スラブ配筋図　　Ｓ＝１／５０　　主筋方向

共通事項

凡　例	・－－－－Ｄ１０　　x　－－－－Ｄ１３　　o　－－－－Ｄ１６
鉄　筋	ＳＤ－２９５　使用とする。
コンクリート	Ｆｃ＝２１　　Ｎ／ｍｍ ２ とする。
スラブ荷重	Ｔ－１４
地 耐 力	７０　ｋＮ／ｍ２とする。
そ の 他	詳細は現場係員の指示による。

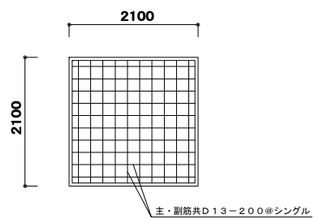
スラブリスト

スラブ	スラブ厚	位置	主　筋	副　筋	備　考
Ｓ１	２５０	全断面	Ｄ１３－２００@	Ｄ１３－２００@	ダブル
ＦＳ１	２５０	全断面	Ｄ１３－２００@	Ｄ１３－２００@	ダブル

スラブ筋等の重ねつぎて長さは小径の４０ｄ以上とする。

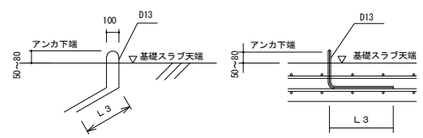
主筋　　６－Ｄ１３
帯筋　　Ｄ１０@１００

柱配筋詳細図　　Ｓ＝１／３０



機械室基礎厚：２００mm

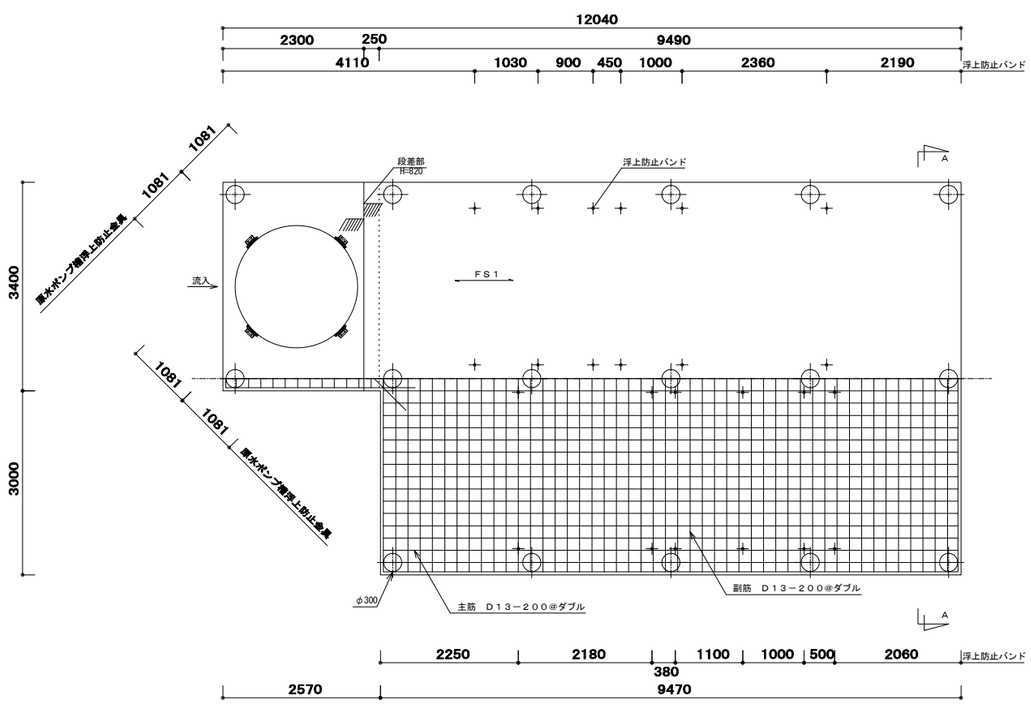
機械室基礎配筋図　　Ｓ＝１／５０　　主筋方向



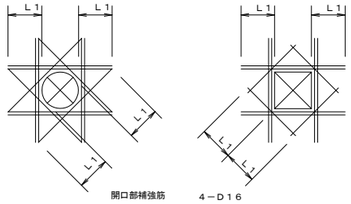
断面図

浮上防止具アンカー図

定着長さ　Ｌ３＝４０ｄ　下端筋に定着のこと

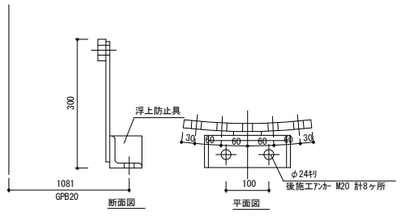


基礎スラブ配筋図　　Ｓ＝１／５０　　主筋方向

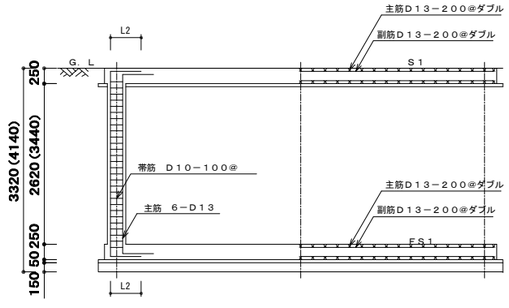


開口部補強筋　　４－Ｄ１６
斜め筋　　２－Ｄ１６
定着長さ　　Ｌ１＝４０ｄ

開口部補強筋

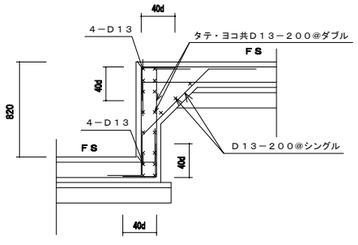


原水ポンプ槽浮上防止具図



定着長さ　　Ｌ２＝３５ｄ

Ａ―Ａ断面配筋図　　Ｓ＝１／５０



基礎　スラブ　段差部配筋詳細

石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	履歴 ver. 20221201	完成図作成（受注者名） 日付 〇〇. 〇〇. 〇〇 監理技術者 〇〇　〇〇 担当者 〇〇　〇〇	完成図承諾 日付 〇〇. 〇〇. 〇〇 監理者 〇〇　〇〇 担当者 〇〇　〇〇	法適合確認欄 構造設計一級建築士 山田　和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田　和生 証交付番号 第11279号	法適合確認欄 設備設計一級建築士 〇〇　〇〇 証交付番号 第〇〇〇〇号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 〇〇　〇〇 証交付番号 第〇〇〇〇号	製作日 2024.03 ファイル名 〇〇〇〇〇	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西　重隆 日付 2024.03	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井知希 担当者 山邉　正也	業務名称 (仮称) 福智町総合体育館新築工事 図面名称 浄化槽設備　配筋図	業務契約コード I08557-02 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 MJ-07	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆